4-078-918-**04** (1)

# DST-BX100
## BS DIGITAL TUNER
**DIGITAL Hi-Vision**

# BS Digital

 BSデジタルチューナー　取扱説明書 

**お買い上げいただきありがとうございます。**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**この取扱説明書でのBS放送の表記について**

**BS(またはBSデジタル)**
2000年12月に本放送が開始のBSデジタル放送です。
例：BS放送、BSチャンネル、BSテレビ、BSラジオ、BSデータなど

**BSアナログ**
従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル(NHK衛星第一/第二、NHKハイビジョン、WOWOW）と、独立音声ラジオ放送(St. GIGA)です。
例：BSアナログ放送、BSアナログチューナー内蔵テレビ、BSアナログチューナー内蔵ビデオなど

**ハイビジョン放送**
BSアナログでのBS9チャンネル(NHKハイビジョン)の放送です。
BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送HDではありません。

## 準備

**チューナーの接続と準備**


**準備1：付属品を確かめる** ........ 4
**準備2：BSアンテナをつなぐ** ........ 5
マンションなどの共同受信システムのときは ........ 7
**準備3：ビデオをつなぐ** ........ 8
**準備4：テレビをつなぐ** ........ 9
BSデジタルの画質について ........ 9
テレビのつなぎかたを選ぶ ........ 10
テレビをつなぐ ........ 11
**準備5：電話回線につなぐ** ........ 18
電話回線の使用状況に合わせてつなぐ ........ 18
**準備6：テレビの横縦比に画像を合わせる** ........ 21
**準備7：BSアンテナの設定をする** ........ 24
BSアンテナ電源を設定する ........ 24
BSアンテナの向きを調整する ........ 25
お住まいの地域に設定する ........ 26
**準備8：BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を入れて登録する** ........ 28
**準備9：電話回線を設定する** ........ 30
**準備10：各局に視聴を申し込む** ........ 31
BS**チャンネルを手動で設定する** ........ 32
⑪ボタン、⑫(選局)ボタンに好みのBSチャンネルを登録する ........ 32
チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する ........ 33
**本機のリモコンでテレビも操作する** ........ 35
メーカー登録番号を設定する ........ 35
テレビを操作する ........ 35
**暗証番号を設定する** ........ 36
**視聴年齢制限を設定する** ........ 37

チューナーの接続と準備


**オーディオ機器をつなぐ** ..... 39
5.1ch(チャンネル)入力対応のオーディオ機器をつなぐ ..... 39
MDデッキをつなぐ ..... 40
その他のオーディオ機器(2ch入力対応)をつなぐ ..... 40


## 操作

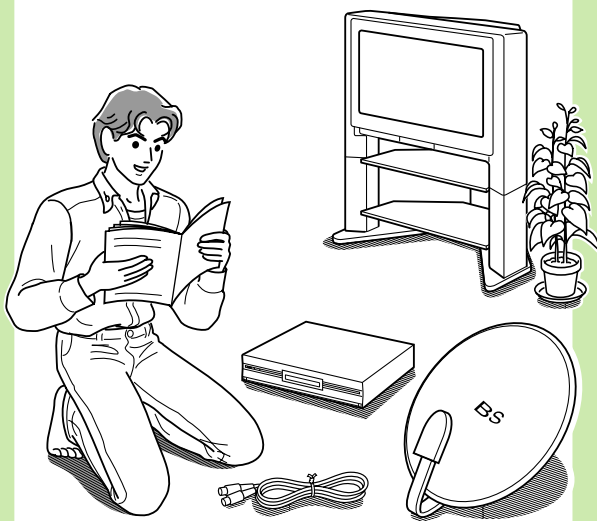
番組を見る／聞く


**BSデジタル放送って何？** ..... 41
**BSテレビを見る** ..... 44
視聴年齢制限付き番組を選んだときは ..... 46
番組説明を見る[番組説明ボタン] ..... 46
画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］ ..... 47
緊急放送のお知らせが出たときは ..... 48
**BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見る［d(連動データ)ボタン］** ..... 49
**BSラジオを聞く** ..... 50
**BS独立データを見る** ..... 52
**ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る** ..... 54
ペイ・パー・ビュー(PPV)の購入概算額を見る ..... 56
**番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］** ..... 57
**音声や映像、データを切り換える** ..... 59
二重音声を選ぶ[二重音声ボタン] ..... 59
第二音声や第二映像、第二データなどを選ぶ[信号切換] ..... 59
BSデジタル放送の音声について ..... 61
**マルチビュー放送を見る［映像ボタン］** ..... 62
**字幕放送を見る［BS字幕ボタン］** ..... 63
**放送局などからのお知らせを見る** ..... 64

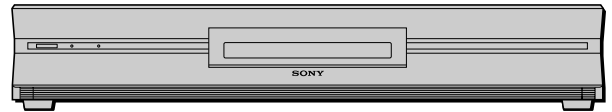
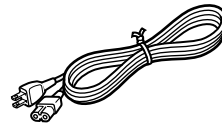

その他

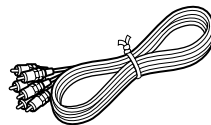
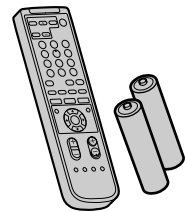
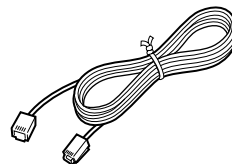

**故障かな？と思ったら** ..... 65
BSについて ..... 65
メニューやリモコンについて ..... 67
その他 ..... 67
リセットボタンについて ..... 68
電源スタンバイ時のデータ取得について ..... 68
**自動で衛星ダウンロードする機能について** ..... 69
**主な仕様** ..... 71
**保証書とアフターサービス** ..... 72
**用語集** ..... 72
**各部の名前** ..... 74
**メニュー一覧** ..... 77
**索引** ..... 79

# チューナーの接続と準備

ここでは、本機とBSアンテナ、テレビ、ビデオとのつなぎかた、およびテレビに合わせた本機の設定や、BSデジタルを見るための設定などを説明しています。
準備1〜10（☞4〜31ページ）まで済ませれば、BSデジタルを見ることができます。
オーディオ機器などをつなぐときは、39ページをご覧ください。

## 準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。（　）内の数字は個数です。

BSデジタルチューナーDST-BX100（1）

電源コード（1）

モジュラーテレホンコードカプラー（1）

映像/音声コード（1）

リモコン（1）、単3形乾電池（2）

テレホンコード（10m）（1）

BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（1）と B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）

取扱説明書（1）

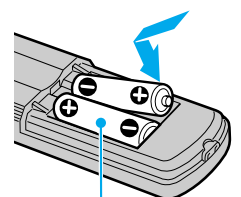
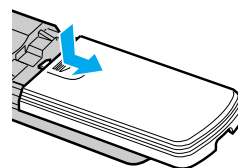
安全のために（1）

ソニーご相談窓口のご案内（1）

ソニー用お客様ご登録カード（1）

保証書（1）

### リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりするとショートの原因になり、発熱することがあります。

# 準備2：BSアンテナをつなぐ

BSアンテナを本機に直接つなぎます。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞7ページをご覧ください。

**本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。**
BSコンバーター電源のショートを防ぐためにも、下記の手順で接続してください。
①サテライト用同軸ケーブルをつなぐ。
②接続がすべて終わった後に、電源コードをつなぐ。
③本機の電源を入れる。

BSアンテナへ

推奨BSアンテナ
SAN-40BK1
SAN-40B1
SAN-50B1
（いずれも別売り）

サテライト用同軸ケーブル（室外用防水型:別売り）

コンバーター電源 DC15V(4W)

BS IF 入力

BS IF入力端子へ

本機後面

### BSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは

下の接続をすると、ビデオのBSアナログチューナーも使えるため、ビデオでBSアナログを録画しながら、本機で他のBSデジタルを見ることができます。

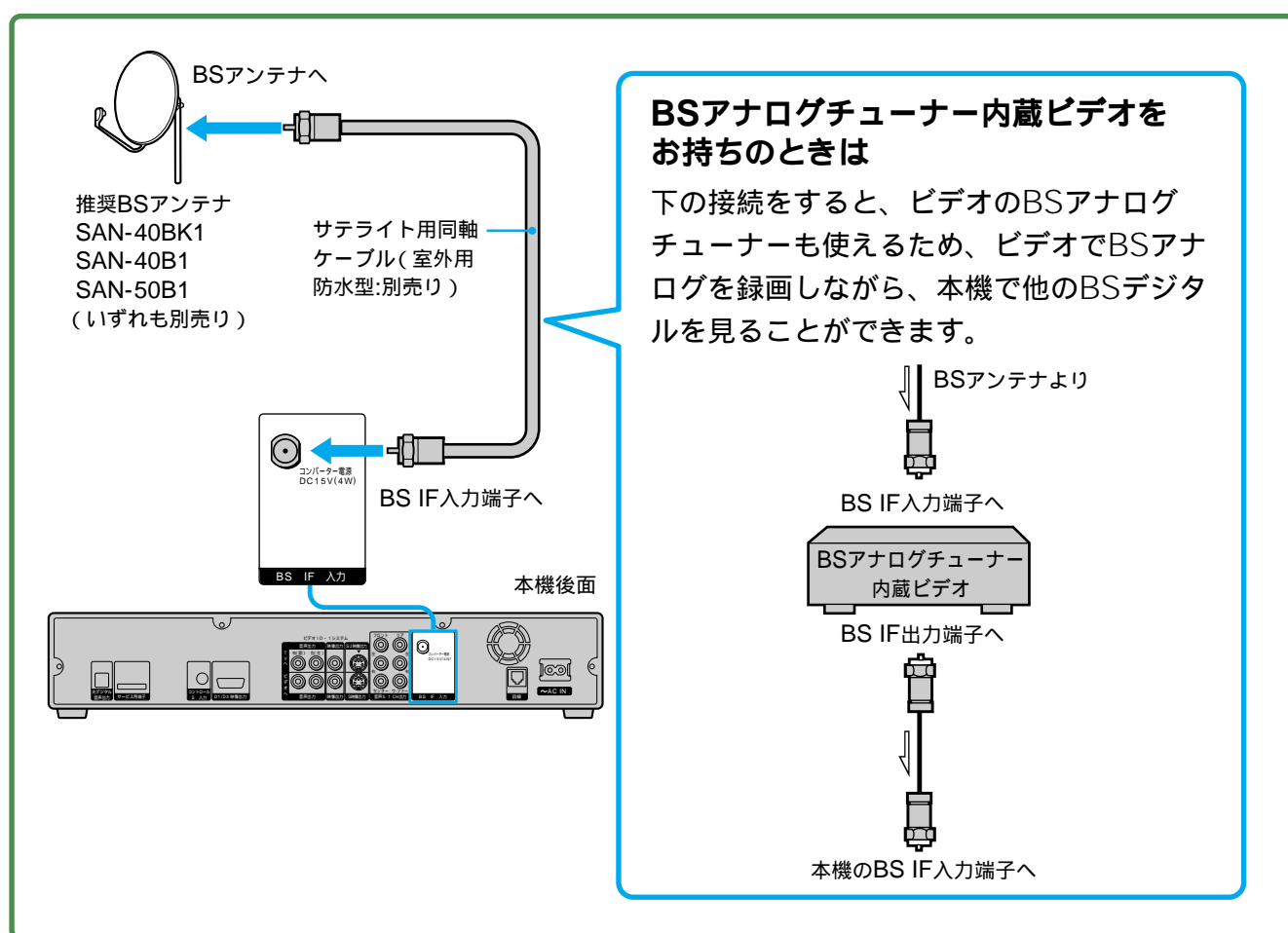
BSアンテナより

BS IF入力端子へ

BSアナログチューナー内蔵ビデオ

BS IF出力端子へ

本機のBS IF入力端子へ

**ご注意**

- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。** BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートする原因となります。
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社（☞41ページ）の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞25ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは（☞6ページ）、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSアナログチューナー内蔵ビデオでも、本機の電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

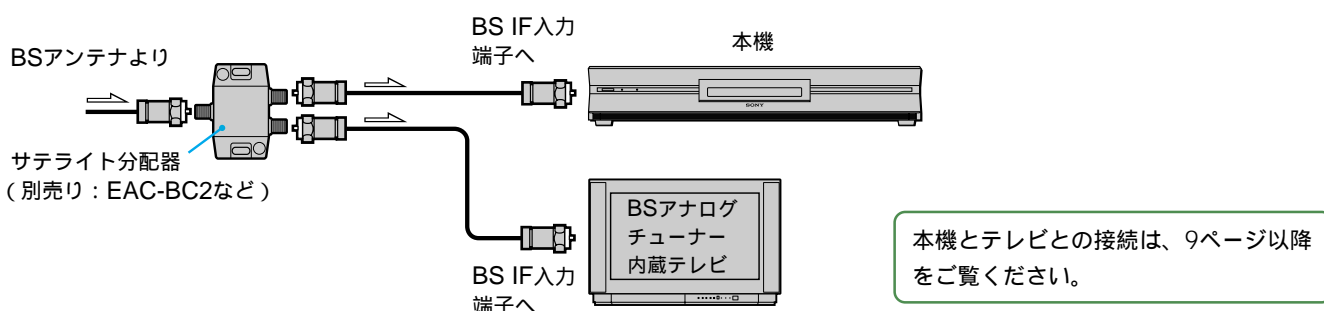
## 準備2：BSアンテナをつなぐ（つづき）

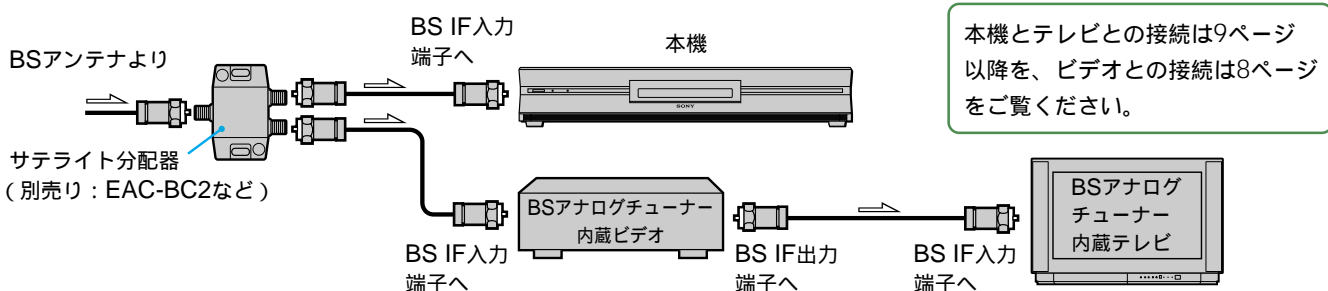
### すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

お持ちのBSアンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。
ただし、一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

### BSアナログチューナー内蔵テレビをお持ちのときは

別売りのサテライト分配器EAC-BC2などを使うと、テレビでBSアナログを受信できます。

本機とテレビとの接続は、9ページ以降をご覧ください。

### BSアナログチューナー内蔵ビデオとBSアナログチューナー内蔵テレビの両方をお持ちのときは

別売りのサテライト分配器EAC-BC2などを使うと、ビデオとテレビでBSアナログを受信できます。

本機とテレビとの接続は9ページ以降を、ビデオとの接続は8ページをご覧ください。

### 「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

「（初期設定）」メニューの「BS設定」で、「BSアンテナ設定」が自動的に「切」になります。

**1 いったん本機の電源を切る。**

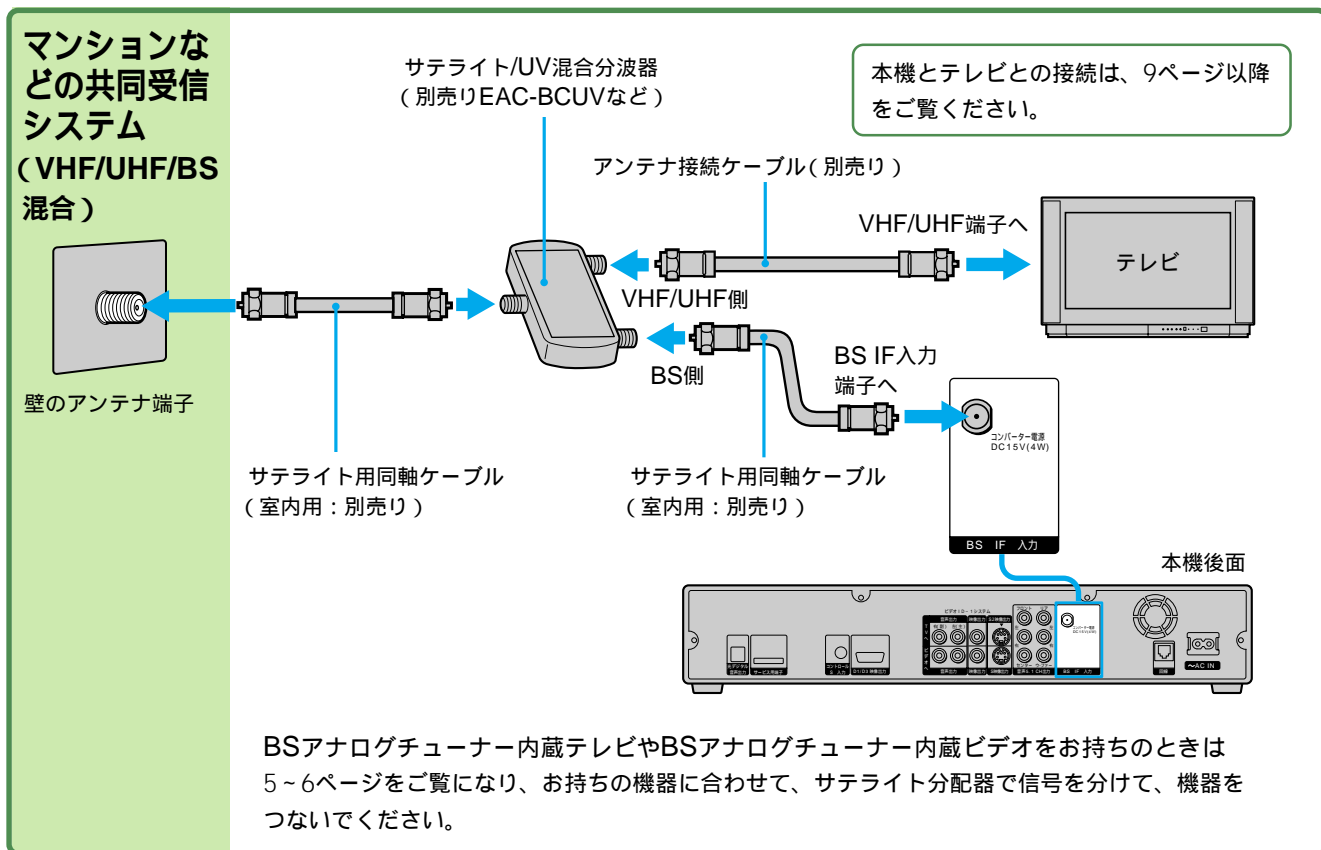
**2 サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。**

**3 再び電源を入れた後、「（初期設定）」メニューの「BS設定」で、「BSアンテナ設定」を「入」または「オート」に設定する。**（☞24ページ）

# マンションなどの共同受信システムのときは

壁のアンテナ端子ひとつでBS放送とテレビ放送を受信できる共同受信システムのときは、下の接続図のように、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。
また、「(初期設定)」メニューの「BS設定」で「BSアンテナ設定」を「切」にしてください。(☞24ページ)

**ちょっと一言**
マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に確認してください。

**BSアナログチューナー内蔵テレビやBSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは**
5〜6ページをご覧になり、お持ちの機器に合わせて、サテライト分配器で信号を分けて、機器をつないでください。

## CSデジタル放送を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定(☞24ページ)を行ってください。

### 「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源(コンバーター電源)を確認してください」という表示が出たら

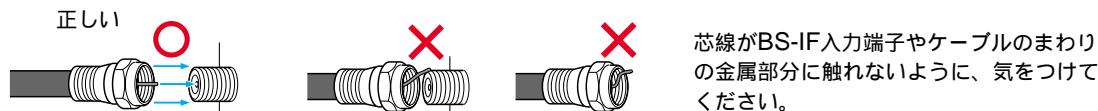
「(初期設定)」メニューの「BS設定」で、「BSアンテナ設定」が自動的に「切」になります。以下の操作をしてください。

**1 いったん本機の電源を切る。**

**2 同軸ケーブルやアンテナコネクターの芯線などがショートしていないか確認する。**

芯線がBS-IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

# 準備3：ビデオをつなぐ

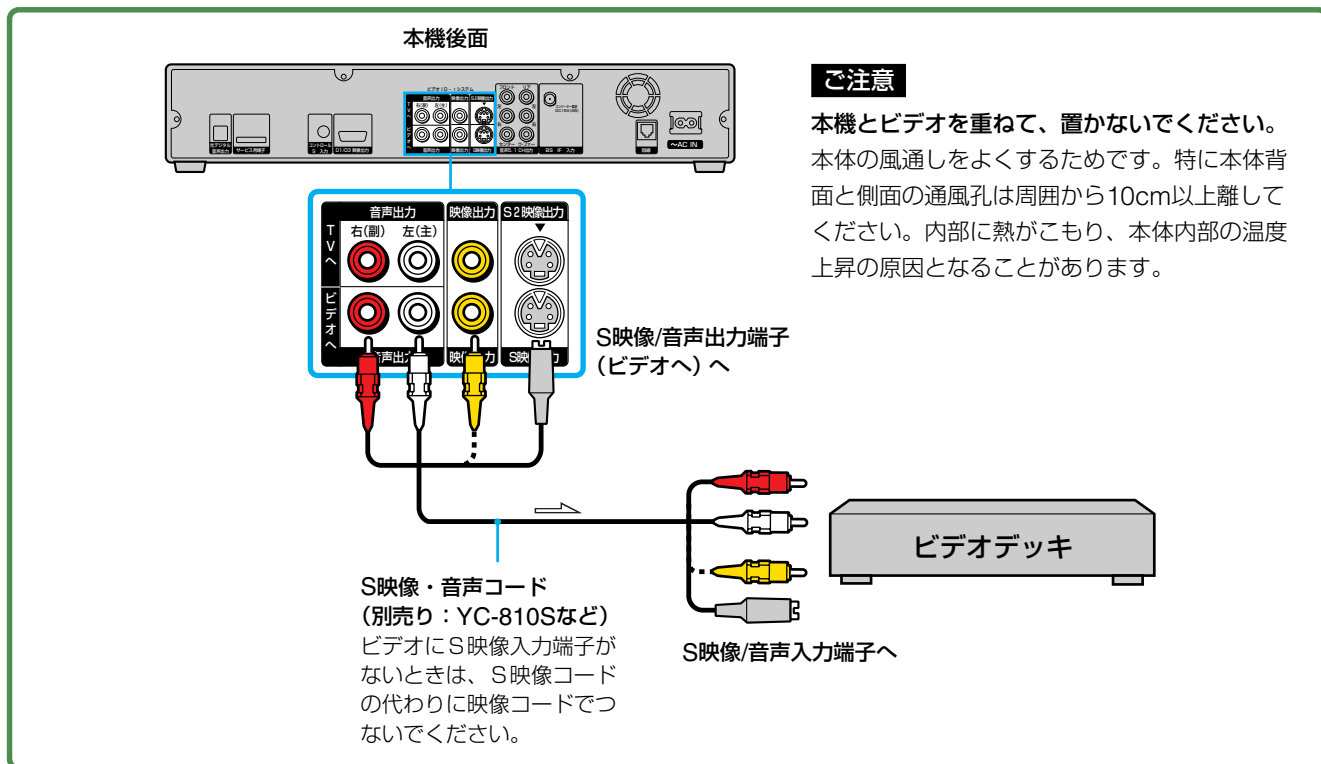
本機でBSデジタル放送を見ながら、見ているチャンネルをビデオに録画するための接続です。
現行のテレビ放送と同じ画質（525i）に変換された信号でお手持ちのビデオに録画できます。
本機の電源を切ったり、チャンネルを切り換えたりすると、正しく録画できません。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**本機のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだときのご注意**

- デジタルハイビジョン放送HDも標準テレビ放送SDも、すべて525iに変換して出力されます。
- 以下の信号は出力されないため、記録できません。
  - 本機の画面表示や番組表
  - 字幕放送の字幕（☞63ページ）
  - 画面上に出る文字スーパー放送
  - 文字スーパーやBSデータでの効果音（ピンポーンとかブーなど）
- 以下の操作を録画中に行うと、信号が切り換わったり、画像や音声が出力されなくなったりします。そのため、正しく録画できないことがあるので、ご注意ください。
  - 番組表から番組説明を見る（☞46ページ）
  - 「降雨対応放送受信」の設定を切り換える（☞46ページ）
  - 第二音声や第二映像、第二データなどに信号を切り換える（☞59ページ）
  - マルチビュー放送の主副番組を切り換える（☞62ページ）
  - BSアンテナレベルの調整など、受信中のチャンネルが消えてしまうメニュー操作を行う
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。
- 二か国語番組など二重音声番組のとき、本機裏面の音声出力端子**（ビデオへ）**からは、二重音声ボタンで音声を切り換えても、つねに、左（主）から主音声、右（副）から副音声が出力されます。
  ビデオで二重音声番組を記録したときは、再生時にビデオのリモコンで聞きたい音声を選ぶことができます。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  誤って、音声出力端子（ビデオへ）をテレビにつなぐと、二重音声ボタンを押しても、主音声と副音声が同時に出てしまうため、つながないでください。なお、音声出力端子**（TVへ）**では、二重音声ボタンで音声を切り換えると、出力される音声（テレビのスピーカーから聞こえる音声）も一緒に切り換わります（☞59ページ）。

**録画防止機能について**

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

**ご注意**

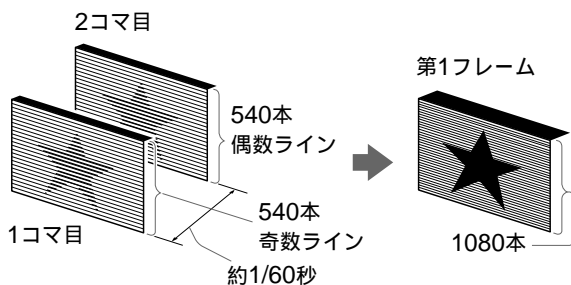
**本機とビデオを重ねて、置かないでください。**
本体の風通しをよくするためです。特に本体背面と側面の通風孔は周囲から10cm以上離してください。内部に熱がこもり、本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

# 準備4：テレビをつなぐ

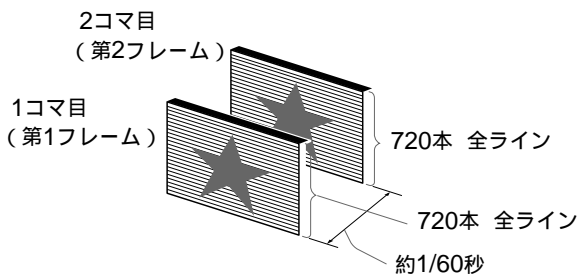
**本機は周囲から離し、風通しのよいところに設置してください**

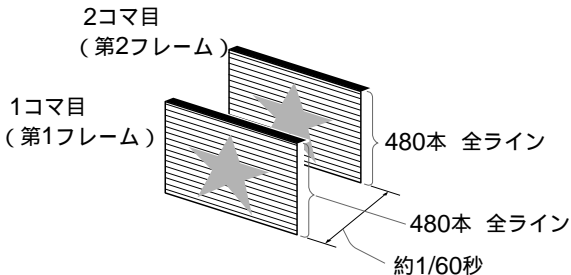
風通しを良くするためです。特に本体背面と側面の通風孔は周囲から10cm以上離してください。内部に熱がこもり、本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

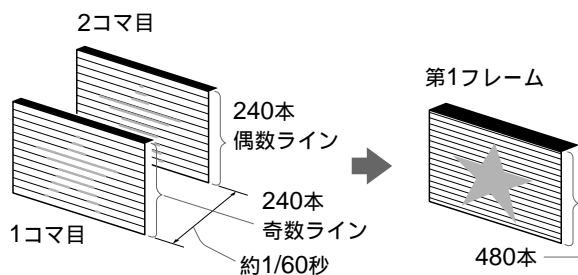
## BSデジタルの画質について

BSデジタルには、高画質のデジタルハイビジョン放送HDと、現行テレビと同等の画質の標準テレビ放送SDの2種類があります。
それぞれの放送に2つずつ、以下のように**全部で4種類の画像方式があります。**
本機では、すべての画像方式を受信できますが、お手持ちのテレビや接続コードの種類によって、本機からテレビに出力する画像方式を切り換える必要があります。お手持ちのテレビに合わせたつなぎかたや、本機の設定については、「テレビのつなぎかたを選ぶ」（☞10ページ）をご覧ください。

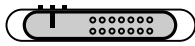
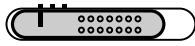
### 1125i（1080i）の デジタルハイビジョン放送 HD

1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）の画像方式。

### 750p（720p）の デジタルハイビジョン放送 HD

750本（720本）の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。
本機では、750pの画像方式を1125iの画像方式に変換して出力します。

### 525p（480p）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

### 525i（480i）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）の画像方式。現行のテレビやBSアナログと同等の解像度です。

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
* の詳しい説明は、用語集（☞72～73ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

## テレビのつなぎかたを選ぶ

お手持ちのテレビの映像入力端子によって、本機とテレビの映像/音声端子のつなぎかたと、本機前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチの設定が異なります。よりよい画質でお楽しみいただくために、お手持ちのテレビのタイプに合わせて、本機とつないでください。
なお、テレビがA～Fのどのタイプか分からないときは、テレビのメーカーのお客様窓口またはテレビのお買い上げ店にお問い合わせください。

| ステップ1：テレビの映像入力端子を調べて、テレビのつなぎかたを、タイプA～Fから選ぶ。 | ステップ2：映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを設定する。<br>本機裏面のD1/D3映像出力端子から出力する信号を設定します。 | ステップ3：テレビをつなぐ。<br>つなぎかたについて詳しくは、下記のページをご覧ください。 |
| --- | --- | --- |
| A D4またはD3映像入力端子があるとき<br>B HD/DVD入力端子（Y PB/CB PR/CR）があるハイビジョンテレビなどのとき | 「D3」にする<br>D1 D3 1125i固定 | 別売りのD端子ケーブル*やD端子ピンケーブル*を使って、デジタルハイビジョン放送HDも標準テレビ放送SDも、オリジナル画像を生かした高画質のまま楽しめます。<br>A ☞11ページ<br>B ☞12ページ |
| C ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）があるハイビジョンテレビなどのとき** | 「1125i固定」にする<br>D1 D3 1125i固定 | 別売りのD端子ピンケーブル*を使って、1125iのデジタルハイビジョン放送HDはオリジナル映像を生かした高画質のまま、その他の放送もすべて1125iに変換して気軽に楽しめます。<br>C ☞13ページ |
| D DVD入力端子（Y/CB/CR）があるとき<br>E D1映像入力端子があるとき<br>F S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき | 「D1」にする<br>D1 D3 1125i固定 | 別売りのD端子ピンケーブル*または付属の映像/音声コードを使って、デジタルハイビジョン放送HDも標準テレビ放送SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。<br>D ☞15ページ<br>E ☞16ページ<br>F ☞17ページ |

**ご注意**

- 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。
- ビデオ一体型テレビをモニターとして本機とつないで視聴すると、テレビによってコピーガードが付いた番組が映らないことがあります。このときは、本機をビデオ一体型テレビのテレビ側の入力端子に直接つないでください。なお、ビデオ側の入力端子しかないテレビでは、コピーガードの付いた番組は視聴できません。

* 別売りのD端子ケーブルやD端子ピンケーブルがなくても、付属の映像/音声コードを使って、お手持ちのテレビの映像入力端子につなげます。
「F S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき」（☞17ページ）をご覧になり、テレビをつないでください。

** 該当するソニー製テレビの型名は、☞13ページをご覧ください。

# テレビをつなぐ

## A D4またはD3映像入力端子があるとき

：映像・音声信号の流れ

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

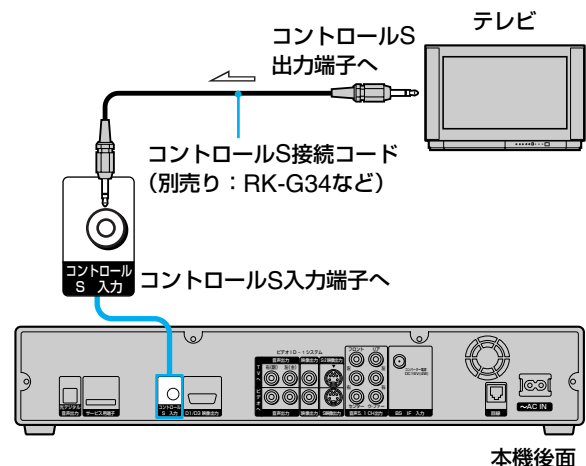
### テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを「D3」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

| | 本機が受信するBSデジタル信号 | 本機裏面のD1/D3映像出力端子からテレビに出力する信号*2 |
|---|---|---|
| HD デジタルハイビジョン放送 | HD (1125i) | HD (1125i) |
| | HD (750p) | HD (1125i) |
| SD 標準テレビ放送 | SD (525p) | SD (525p) |
| | SD (525i) | SD (525i) |

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

### コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

別売りのコントロールS接続コード（RK-G34など）を使って、本機のコントロールS入力端子と、テレビのコントロールS出力端子をつないでください。
本機のリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。
ただし、テレビの主電源が入っていない（スタンバイ/オフタイマーランプが点灯していない）ときは、本機に向けて操作してください。

テレビによっては、テレビのリモコンで本機を操作できます。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

次のページにつづく

## 準備4：テレビをつなぐ（つづき）

### B HD/DVD入力端子（Y PB/CB PR/CR）があるハイビジョンテレビなどのとき

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD/DVD」や「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを「D3」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

| | 本機が受信するBSデジタル信号 | | 本機裏面のD1/D3映像出力端子からテレビに出力する信号*2 |
|---|---|---|---|
| HD デジタルハイビジョン放送 | HD (1125i) | → | HD (1125i) |
| | HD (750p) | → | HD (1125i) |
| SD 標準テレビ放送 | SD (525p) | → | SD (525p) |
| | SD (525i) | → | SD (525i) |

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

### コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

11ページをご覧ください。

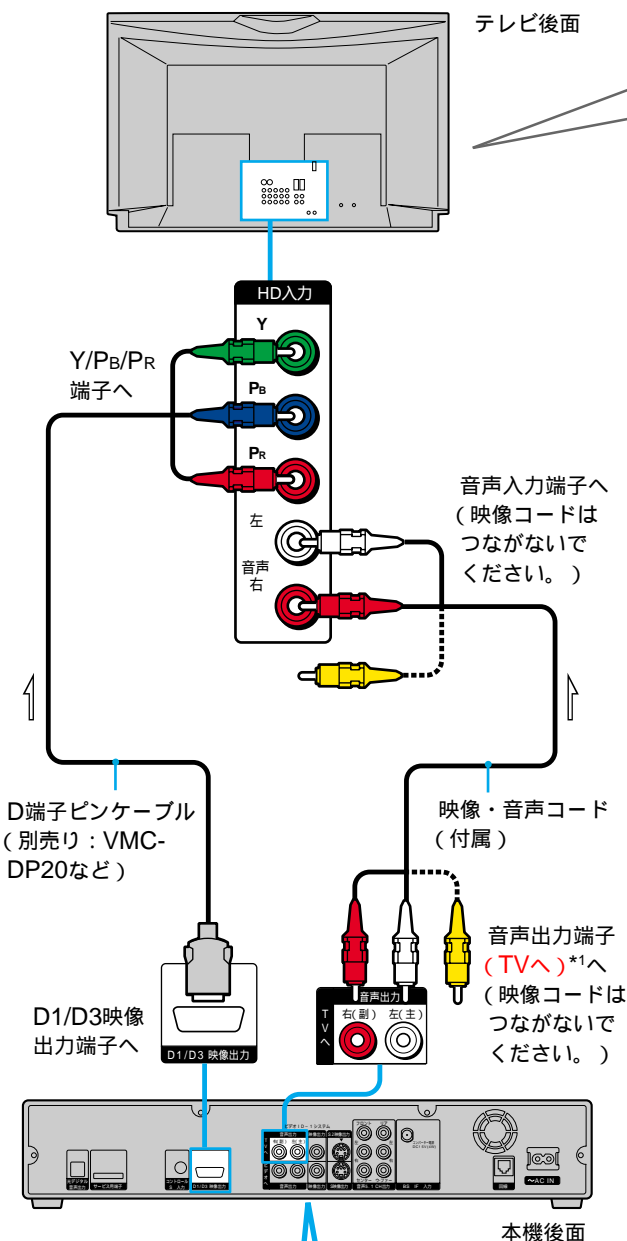
## C ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）があるハイビジョンテレビなどのとき

：映像・音声信号の流れ

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD/DVD」や「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

該当するソニー製テレビは下記です。
- ハイビジョンテレビ（96年以前発売の下記モデル）：KW-28HD1、KW-28HD2、KW-28HD5、KW-32HD1、KW-32HD5、KW-2810HD、KW-3200HD、KW-3210HD、KW-3220HD
- モニター：KX-32HV50

### テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを「1125i固定」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

| | 本機が受信するBSデジタル信号 | 本機裏面のD1/D3映像出力端子からテレビに出力する信号*2 |
|---|---|---|
| HD デジタルハイビジョン放送 | HD (1125i) | HD (1125i) |
| | HD (750p) | HD (1125i) |
| SD 標準テレビ放送 | SD (525p) | HD (1125i) |
| | SD (525i) | HD (1125i) |

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

**ご注意**

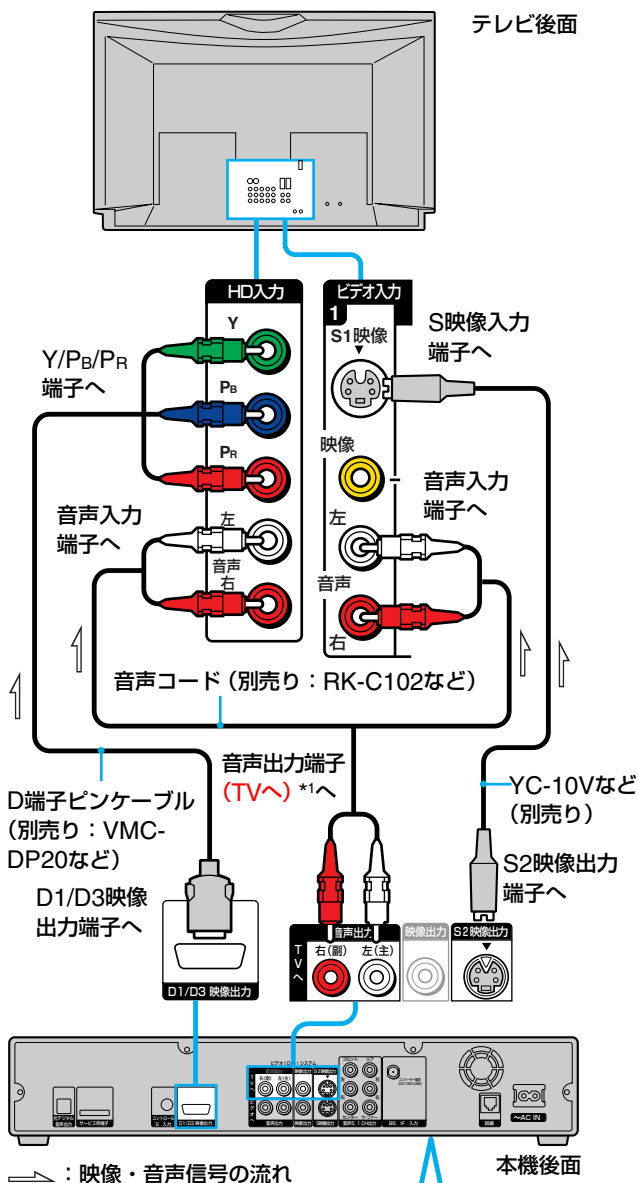
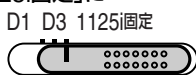
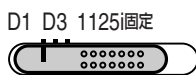
標準テレビ放送SDのBSデータを、このページの右上に記載されているハイビジョンテレビやモニターで見ると、下のイラストのように画面のまわりに額縁のように黒い帯が出たり、画像の縦横比が正しく表現されません。
また、標準テレビ放送SDの字幕スーパーや字幕が正しい位置に表示されないことがあります。
これらの放送を正しく映したいときは、「ハイビジョンテレビでBSデータを正しく映すには」（☞14ページ）の接続と設定を行ってください。

**コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは**

11ページをご覧ください。

## 準備4：テレビをつなぐ（つづき）

### ハイビジョンテレビでBSデータを正しく映すには

13ページの接続の代わりに、下の接続と設定を行ってください。標準テレビ放送SDのBSデータが、画面のまわりに額縁のように黒い帯が出ることなく、画像の横縦比を正しく表現できます。
また、標準テレビ放送SDの文字スーパーや字幕も正しい位置に表示されます。
ただし、ご覧になるBSデジタルの画質によって、テレビ側で、本機につないだ入力を切り換える必要があります。

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### デジタルハイビジョン放送HDを見るときは

1 本機前面の映像出力切り換えスイッチを「1125i固定」にする。

2 テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### 標準テレビ放送SDを見るときは

1 本機前面の映像出力切り換えスイッチを「D1*2」にする。

2 テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「ビデオ1」など）に切り換える。詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

*2 映像出力切換スイッチが「1125i固定」のときは、画面の上下の一部が欠けて表現されます。

### テレビに出力される信号について

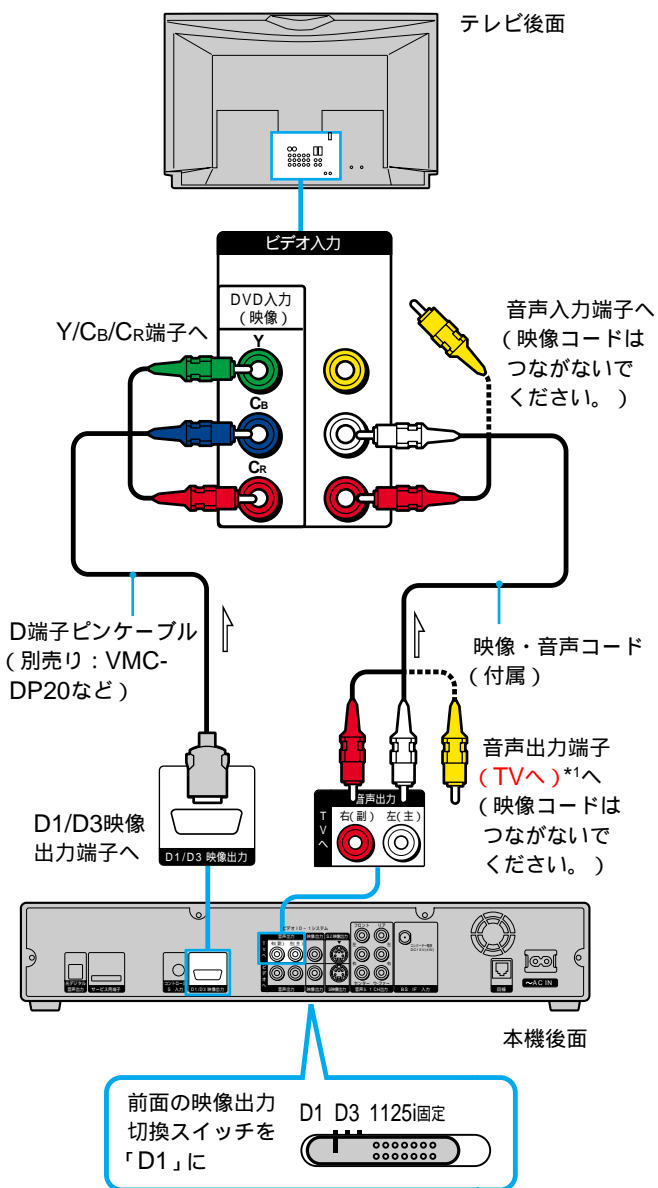
映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを、BSデジタルの画質によって切り換えることで、次のように変換されてテレビに出力されます。

| | 本機が受信するBSデジタル信号 | 本機裏面のD1/D3映像出力端子からテレビに出力する信号*3 |
|---|---|---|
| HD デジタルハイビジョン放送 | HD (1125i)<br>HD (750p) | HD (1125i) |
| SD 標準テレビ放送 | SD (525p)<br>SD (525i) | SD (525i) |

*3 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

## D DVD入力端子（Y/CB/CR）があるとき

**ちょっと一言**

DVD入力端子（Y/CB/CR）があるソニー製テレビには、D1映像端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。より高画質な画像をお楽しみいただけます。（☞16ページ）

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「DVD入力」や「ビデオ入力」など）に切り換える。

詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**テレビに出力される信号について**

映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを「D1」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

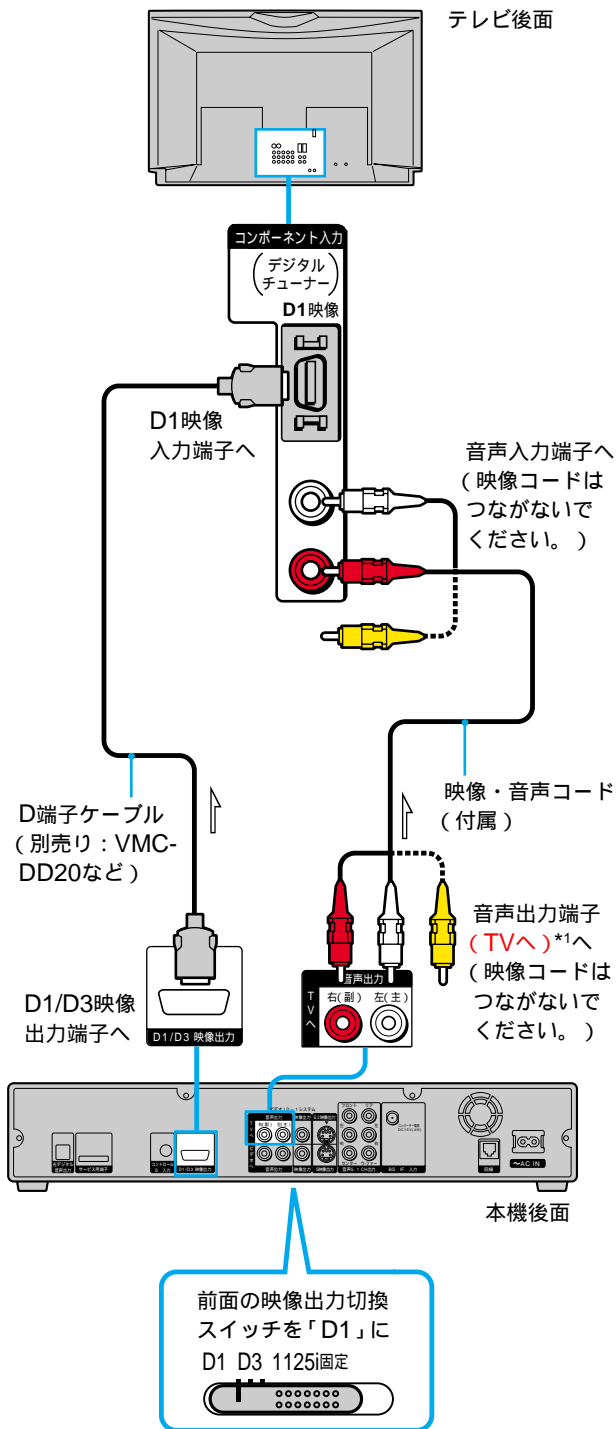
**コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは**

11ページをご覧ください。

# 準備4：テレビをつなぐ（つづき）

## E D1映像入力端子があるとき

**ちょっと一言**

D1映像端子があるソニー製テレビには、Y/CB/CR入力端子も備えているものがありますが、D1映像入力端子につないでください。より高画質な画像をお楽しみいただけます。

：映像・音声信号の流れ

*1 誤って音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと、二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### テレビに出力される信号について

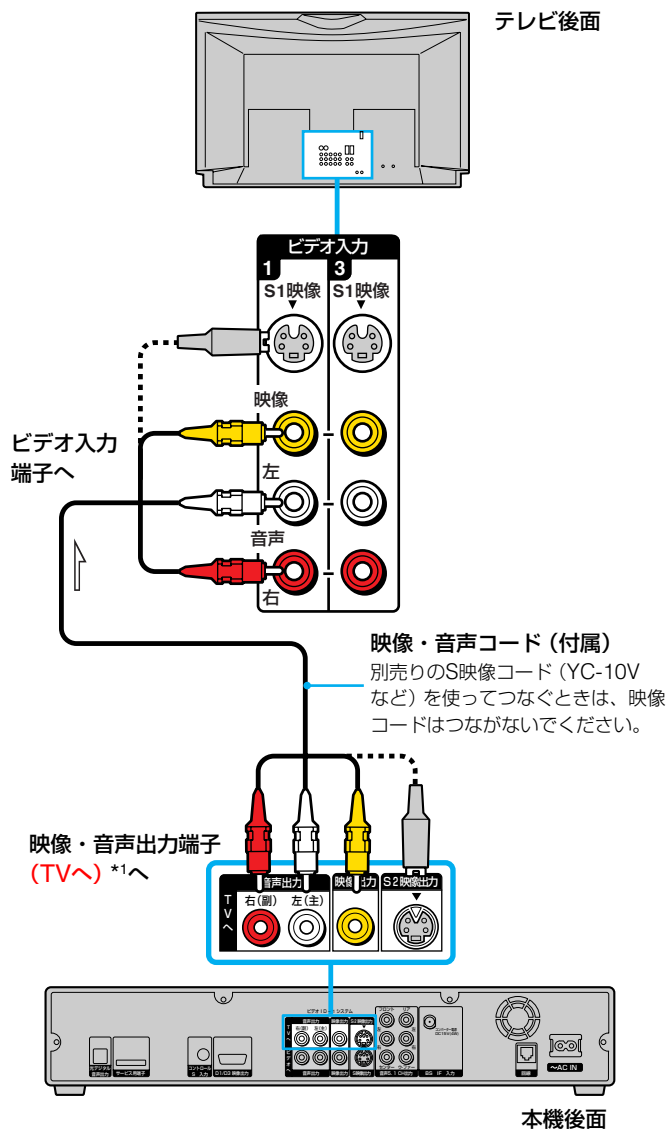
映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチを「D1」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

| | 本機が受信するBSデジタル信号 | 本機裏面のD1/D3映像出力端子からテレビに出力する信号*2 |
|---|---|---|
| HD デジタルハイビジョン放送 | HD（1125i） | SD（525i） |
| | HD（750p） | |
| SD 標準テレビ放送 | SD（525p） | |
| | SD（525i） | |

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

### コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

11ページをご覧ください。

## F S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき

*1 誤って映像・音声出力端子（ビデオへ）につないでしまうと：
– 本機の画面表示や番組表などの信号が出力されません。出力されない信号については、☞8ページをご覧ください。
– 二重音声ボタンを押してもテレビのスピーカーから聞こえる音声が切り換わりません（☞59ページ）。

### BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「ビデオ1」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### テレビに出力される信号について

前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチの位置に関係なく、次のように変換されてテレビに出力されます。

*2 本機裏面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されます。

**コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは**

11ページをご覧ください。

# 準備5：電話回線につなぐ

次のときのために、**必ず本機を電話回線につなぐ必要があります。**

- BSデジタル用ICカード（B-CASカード）に記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するため
- ペイ・パー・ビュー（PPV）契約をして、番組単位で購入するときのため（☞54ページ）
- BSデータを見ているときに放送局と通信を行うとき（表示窓に「通話」と表示されます。）（☞49、52ページ）

**ご注意**

次の電話回線には、つなげません。

- 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
- 携帯電話および、PHS、自動車電話
- 船舶電話
- 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき

**ちょっと一言**

**番組購入・契約状況などの情報の送受信について**

- 購入情報などの送受信中には、本機の表示窓に「通話」と表示されます。

  **本体表示窓**

  | 通話 |
  |---|

- 本機が電源スタンバイ（電源ランプが赤く点灯のとき）のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときに、電話がかかってきたときは、話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに別売りの自動転換機TL-P20を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP20（2口用）をご使用ください。
  また、このときに緊急に電話をかけたいときなどは、本機の電源コードを抜いて、電源を切ってください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

## 電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

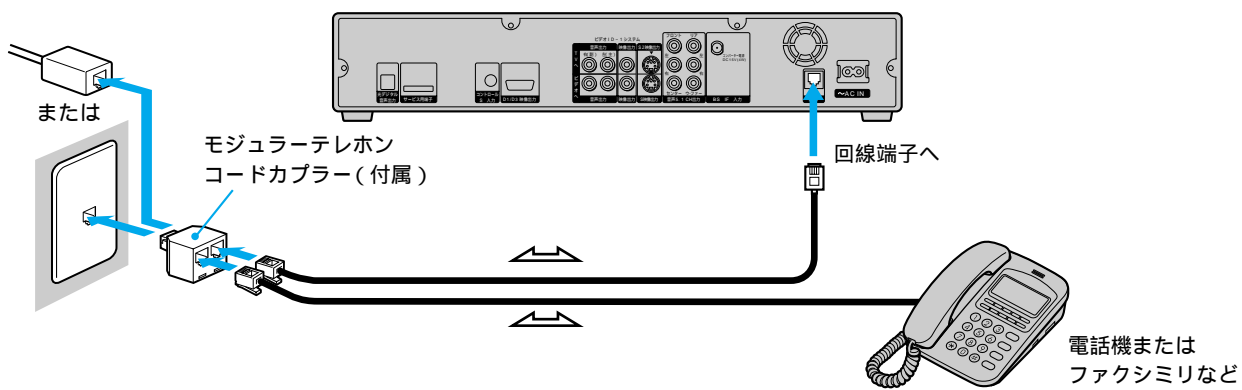
お住まいの電話回線の状況を次ページから選んで、つないでください。
また、**壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは「その他のとき」（☞20ページ）をご覧ください。**

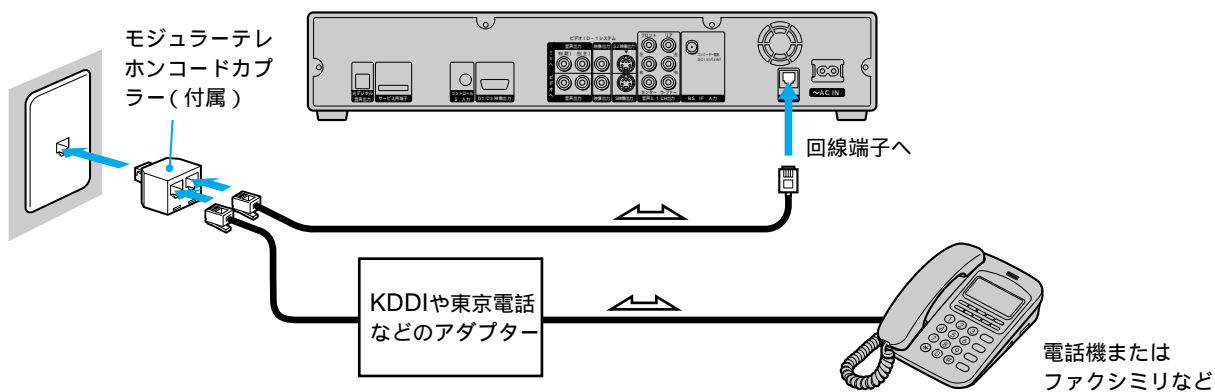
**モジュラージャック**

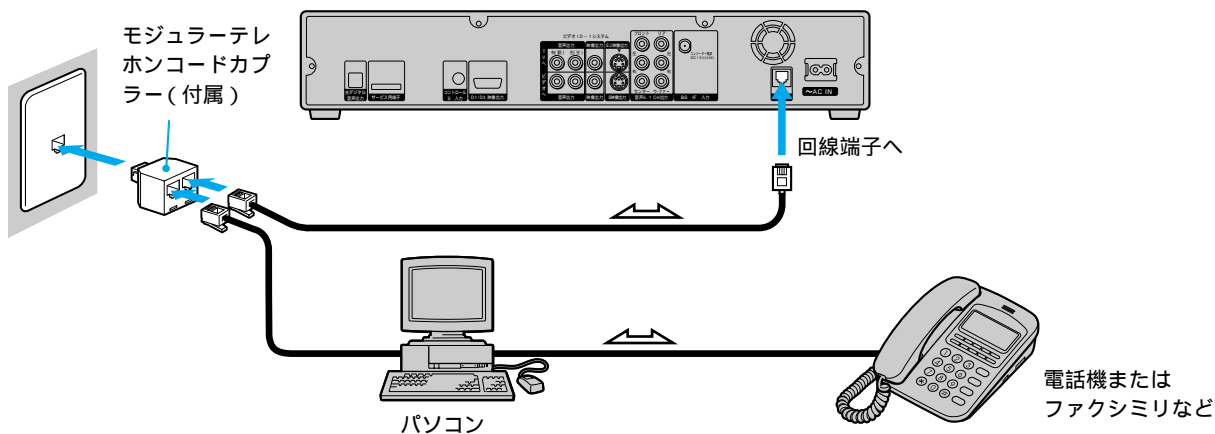
**ご注意**

ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

：信号の流れ

## 壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき



## 壁の電話コンセントからKDDIや東京電話（TTNet）などのアダプターを通して電話をつないでいるとき


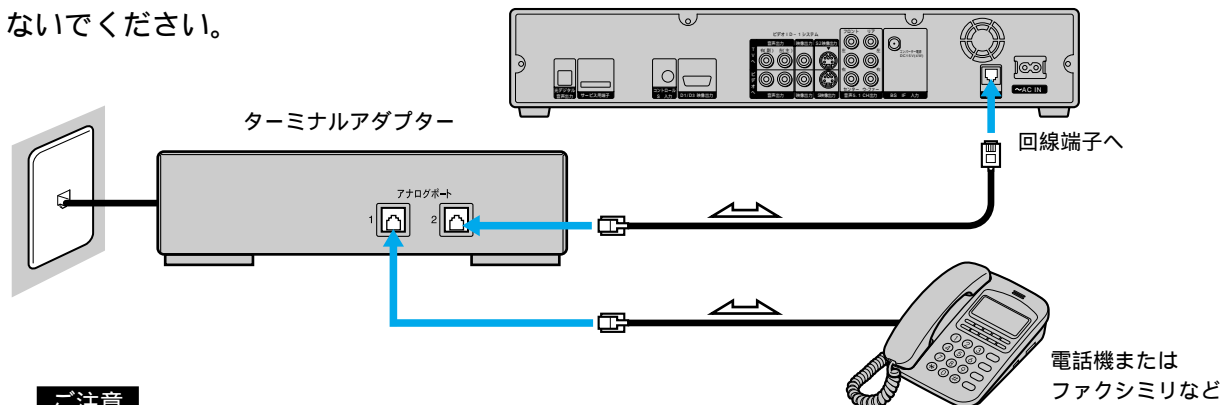

## 壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき



**ちょっと一言**

パソコンなどの通信や、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの高速データ通信用自動転換器SMD-AP20（2口用）やSMD-AP30（3口用）を使ってください。

## 準備5：電話回線につなぐ（つづき）

### ISDN回線を使っているとき

お手持ちのターミナルアダプターやダイアルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。

**ご注意**

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください。（☞30ページ）
- 別売りのコードレス通信ユニットCTU-50とは併用できません。また、別売りのコードレス通信ユニットSPP-TU1と併用するときは、うまく通信できないことがあります。

### その他のとき

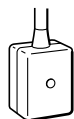
**壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき**

3ピンプラグ式

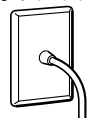
電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターTL-30をつないでください。

**壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき**

ローゼット式

別売りのモジュラーアダプター（TL-36など）でつなげます。
この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

**壁の電話コンセントが直付けタイプのとき**

直付けタイプ

「工事担任者」資格者（NTT116番）に、モジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

**壁の電話コンセントと本機を使う場所が離れているとき**

別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1などが使えます（☞30ページ）。ただし、KDDIや東京電話などのアダプターとは併用できません。

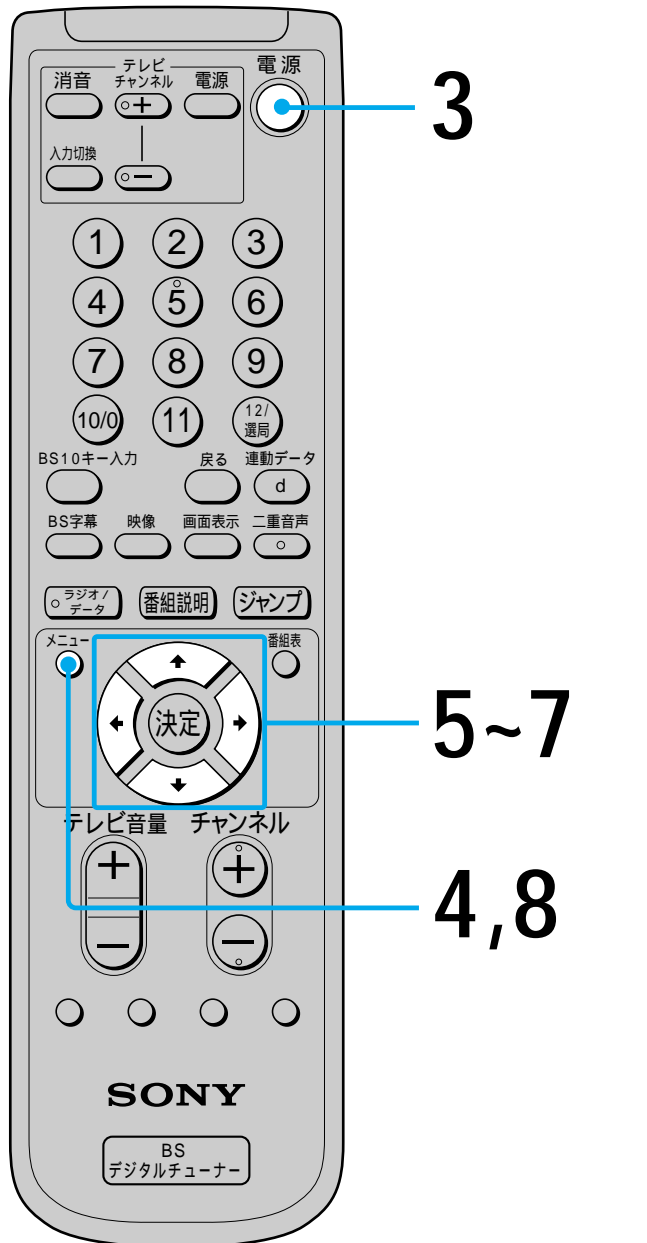
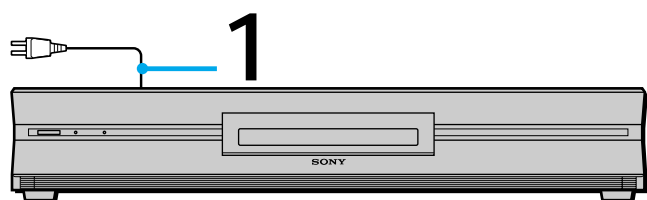
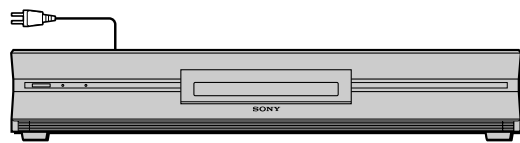
**壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき**

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP30（3口用）を使ってください。

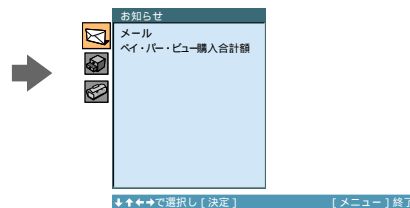
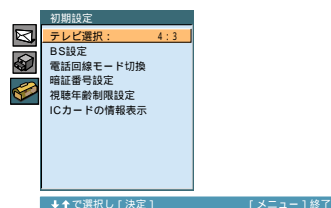
**壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）のとき**

専門業者による工事が必要です。

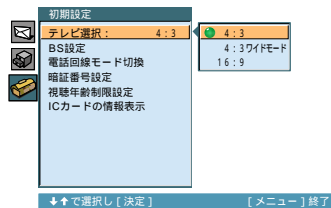
# 準備6：テレビの横縦比に画像を合わせる

本機とテレビの電源を入れた後、テレビの横縦比に合った画像が映るように設定します。
テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**1** 本機付属の電源コードを壁のコンセントにつなぐ。

**2** テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

**3** 電源ボタンを押す。

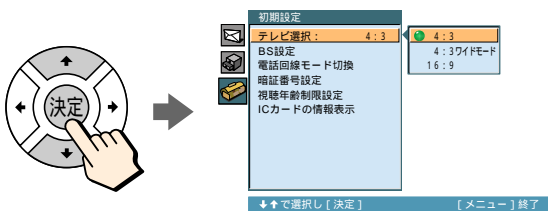
**4** メニューボタンを押す。

**5** ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。

**6** 「テレビ選択」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

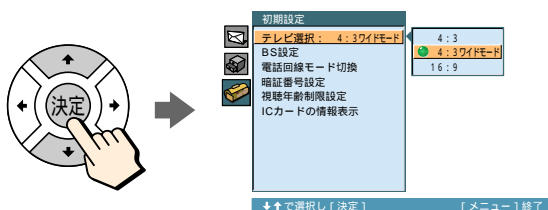
**選ばれていないときは**
**↑/↓で選び、決定ボタンを押す。**

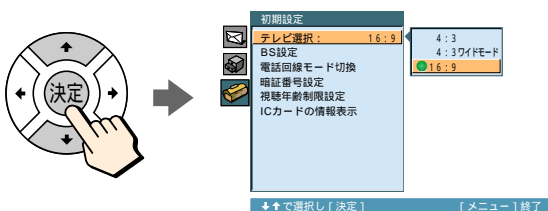
次のページにつづく

## 準備6：テレビの横縦比に画像を合わせる（つづき）

## 7 お使いのテレビのタイプを選ぶ。

**テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*がないときは**

**↑/↓で「4:3」を選び、決定ボタンを押す。**

**テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*があるときは**

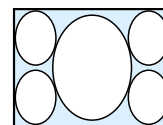
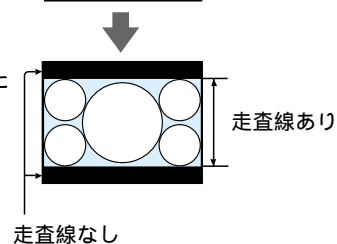
**↑/↓で「4:3ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。**

**ワイドテレビ（横縦比16:9）のときは**

**↑/↓で「16:9」を選び、決定ボタンを押す。**

**ちょっと一言**

テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*があるかないかは、テレビの取扱説明書で確認してください。

## 8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

**＊ワイドモードとは**

下のイラストのように、BSデジタルやDVDプレーヤー、ビデオカメラなどで、あらかじめ縦長に圧縮（スクィーズ）して記録された横縦比4:3映像を、元の16:9のワイド画像で見ることができるテレビの機能です。画面上下の黒帯を除いた映像部分に水平走査線を集めるため、16:9のワイド画像をよりオリジナルに近い画質で楽しめます。

**ご注意**

本機前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチが「D3」のときは「4:3」を、「1125i固定」のときは「4:3」と「4:3ワイドモード」を選べません。

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定もあわせて行ってください。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
BSデジタルの画質（HDとSD）については、9ページもご覧ください。

## テレビ画面での画像の見えかた一覧

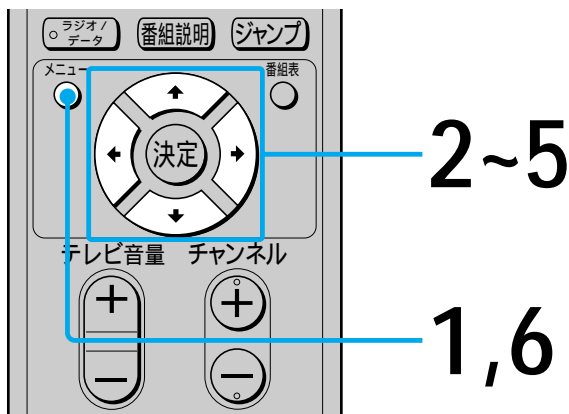
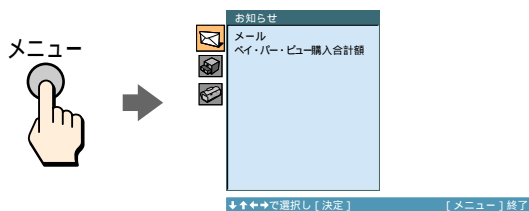
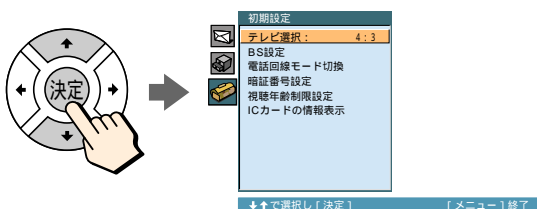
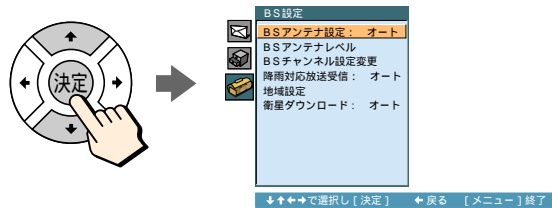
| オリジナルの映像 | 「テレビ選択」の設定によるテレビ画面での画像の見えかた | | |
|---|---|---|---|
| | 「16:9」を選んだとき | 「4:3ワイドモード」を選んだとき | 「4:3」を選んだとき |
| **デジタルハイビジョン放送 HD の16:9映像** | 1) | 1) 走査線なし / 走査線を密にしてより高画質にします。 | 1) |
| **標準テレビ放送 SD の16:9映像** | 2) | 走査線なし / 走査線を密にしてより高画質にします。 | |
| **標準テレビ放送 SD のレターボックス4:3映像**（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9） | 2)、3) | | |
| **デジタルハイビジョン放送 HD のサイドパネル16:9映像**（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3） | 1) | 1) | 1) |
| **標準テレビ放送 SD の4:3映像** | 2) | | |
| **標準テレビ放送 SD のサイドパネル16:9映像**（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3） | 2) | | |

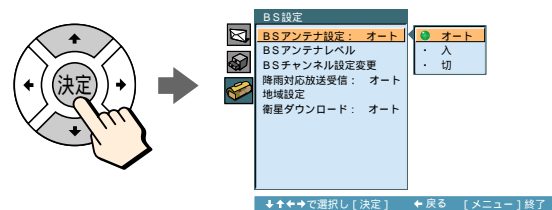
1) 本機前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチが「D1」のときは、標準テレビ放送 SD の画質（525i）に変換されて映ります。
2) 本機前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチが「1125i固定」のときは、デジタルハイビジョン放送 HD の画質（1125i）に変換されて映ります。
3) 本機前面の映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチが「D3」または「D1」のときは、テレビ側のワイド設定よっては、チャンネル表示などが画面からはみ出ることがあります。

# 準備7：BSアンテナの設定をする

BSデジタルを見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きの調整を行ってください。
また、お住まいの地域に特有の放送を受信するために、地域設定を行ってください。

## BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

**1** メニューボタンを押す。

**2** ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。

**3** ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

**4** ↑/↓で「BSアンテナ設定」を選び、決定ボタンを押す。

**5** マンションなどの共同受信システムのときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

### BSアンテナをつないでいるときは

↑/↓で「入」または「オート」を選び、決定ボタンを押す。BSが映ったり消えたりするときは「入」を選んでください。

| 設定 | BSアンテナへの電源供給のしかた |
|---|---|
| ●オート | 本機の電源を入れたときに、本機がBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。本機の電源が切れているときは供給しない。 |
| 入 | 本機の電源が入っているときはつねに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。 |
| 切 | 電源を供給しない。 |

●：お買い上げ時の設定

**6** メニューボタンを押して、メニューを消す。

**ご注意**

- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「入」(または「連動」)にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

# BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナを本機に直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がBSアンテナを動かしながら、レベル表示が最大になるように調整します。
向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

> 一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないことがあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

**ご注意**

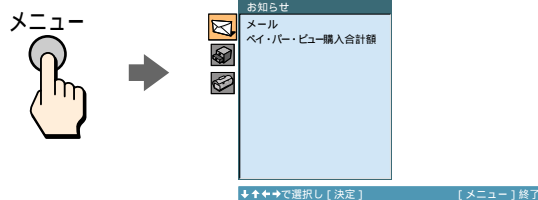
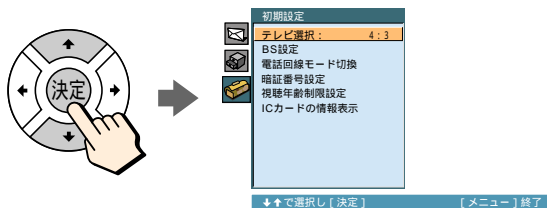
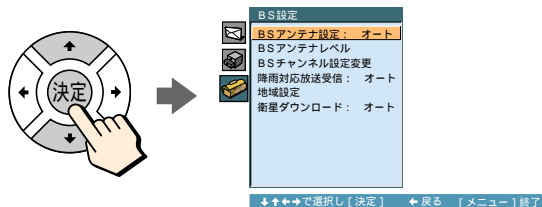
「BSアンテナ設定」が「切」になっているときは、「入」または「オート」にした後、電源を入れ直してください(☞24ページ)。

**一人で調整するときは**

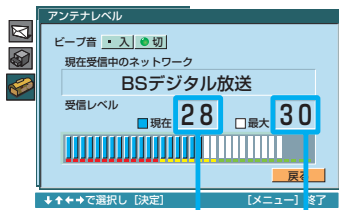
手順4まで行ったのち、「一人で調整するときは」(☞26ページ)の手順にしたがって調整してください。

**ご注意**

「(初期設定)」メニューの「BS設定」で、「BSアンテナ設定」が「切」になっているときは、「入」または「オート」にしてください。(☞24ページ)

## 1 メニューボタンを押す。

## 2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。

## 3 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

## 4 ↑/↓で「BSアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

## 準備7: BSアンテナの設定をする（つづき）

**5** **BSアンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。**
アンテナレベルができるかぎり最大の数値になるように（晴天時は30程度が目安）、アンテナの向きを調整します。
アンテナレベルが30程度で安定したところで、BSアンテナを固定します。

**6** **メニューボタンを押して、メニューを消す。**
BSの画面が映ります。画面がきれいに映らない場合は、お買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。

### 音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

**1** 手順4のあと、↑/↓で「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

**2** ←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。

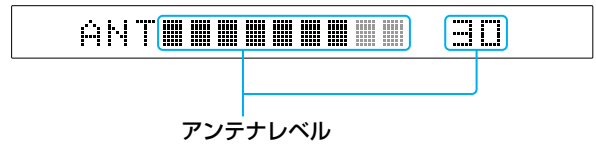
**3** 手順5で最も高い音階の音になるよう、BSアンテナを調整する。

### 一人で調整するときは

調整は本体表示窓のアンテナレベル表示を見ながら行います。

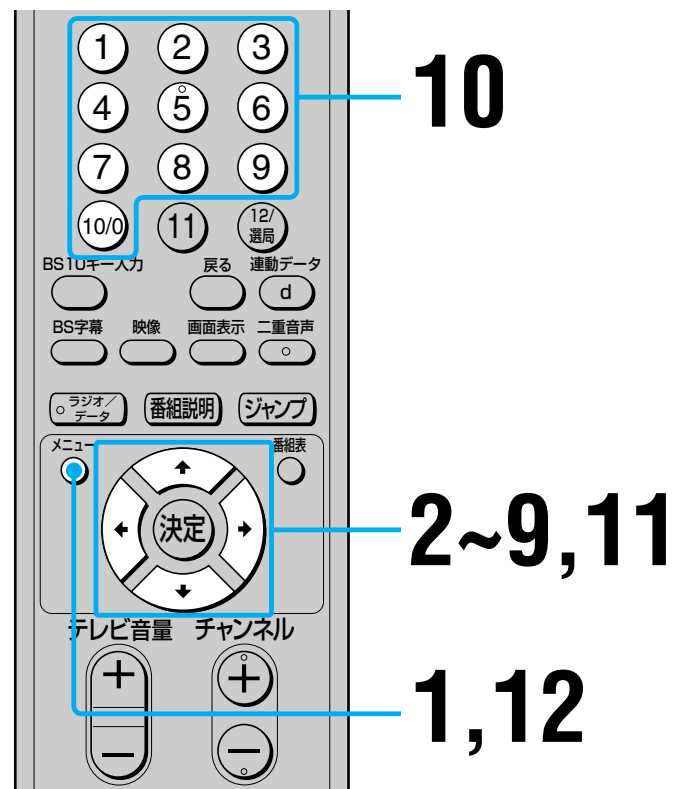
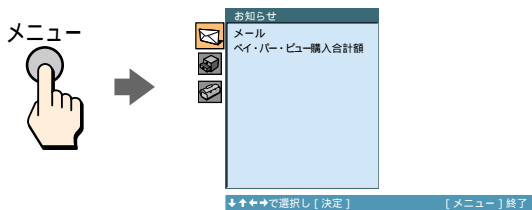
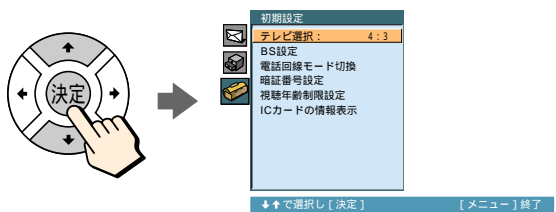
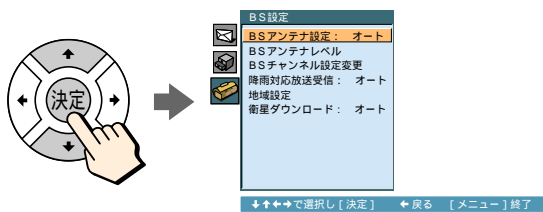
**1** テレビ画面に「BSアンテナレベル」の画面（25ページの手順4の画面）が表示されている状態のまま、本機の電源を入れたままで、電源コードを抜く。

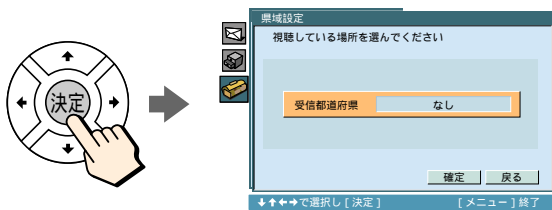
**2** アンテナ設置場所に本機を移動する。

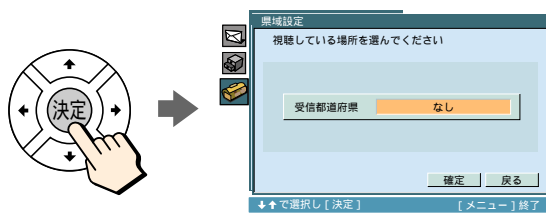
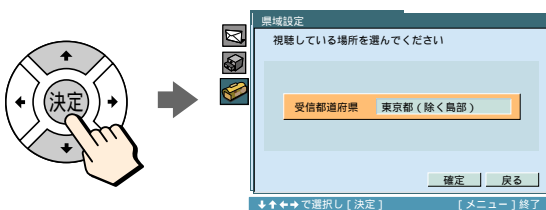
**3** 別売りの延長コードなどを利用して本機の電源を入れ、数秒間待つ。
表示窓にアンテナレベルが表示されます。

**4** 表示窓のアンテナレベル表示を見ながら、BSアンテナを動かして調整する。
アンテナレベルが少しでも大きくなるように（晴天時は30程度が目安）、アンテナの向きを調整します。
アンテナレベルが30程度で安定したところで、BSアンテナを固定します。

**5** メニューボタンを押して、メニューを消す。

## お住まいの地域に設定する

BSデジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。

**1** **メニューボタンを押す。**

**2** **↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

**3** **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **↑/↓で「地域設定」を選び、決定ボタンを押す。**

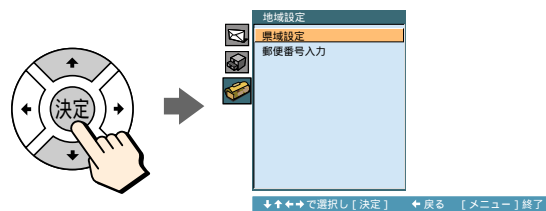
**5** **「県域設定」が選ばれていることを確認した後、決定ボタンを押す。**

**6** **決定ボタンを押す。**

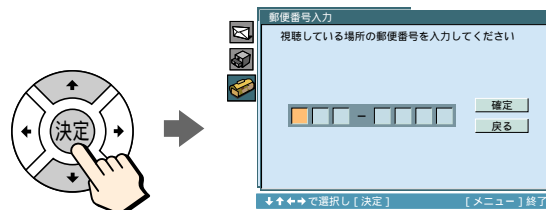
都道府県名の表示欄がオレンジ色になります。

**7** **↑/↓で、お住まいの都道府県名を選び、決定ボタンを押す。**

**ちょっと一言**

「東北海道」と「西北海道」は下記の地域です。

「東北海道」：宗谷、上川、留萌、網走、根室、釧路、十勝の各支庁

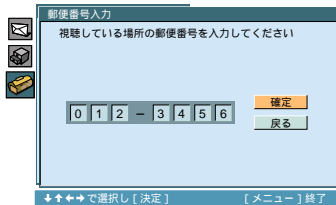
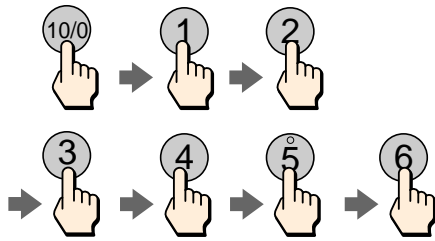
「西北海道」：石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、桧山の各支庁

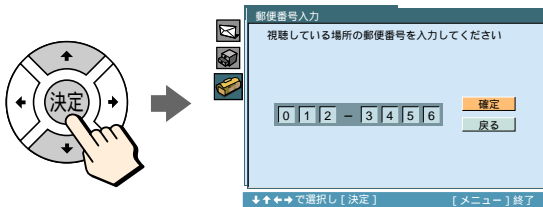
**8** **↑/↓で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

**9** **↓で「郵便番号入力」を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

## 準備7: BSアンテナの設定をする（つづき）

**10** **①〜⑩までの数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号7ケタを入力する。**

「0」を入力するときは、⑩ボタンを押す。
郵便番号を間違えたときは←で戻り、入力しなおしてください。

**例）郵便番号が**　012-3456

**ご注意**
お住まいの地域の郵便番号７ケタを正しく入力してください。まちがった郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信したりするためです。

**11** **「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

**12** **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

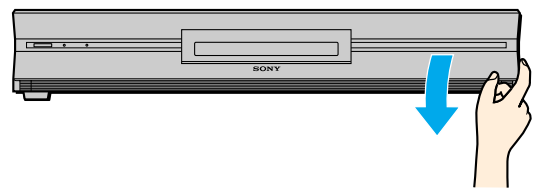
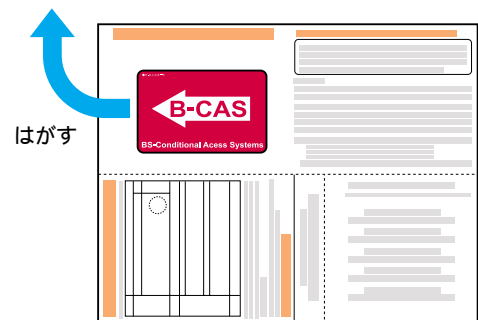
**ちょっと一言**
郵便番号を入力するときは、リモコンと本体の↑/↓/←/→決定ボタンでも行えます。←/→で入力するケタを選び、↑/↓で0〜9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次のケタに移動します。7ケタすべての数字を入力したら、最後に真ん中の決定ボタンを押します。

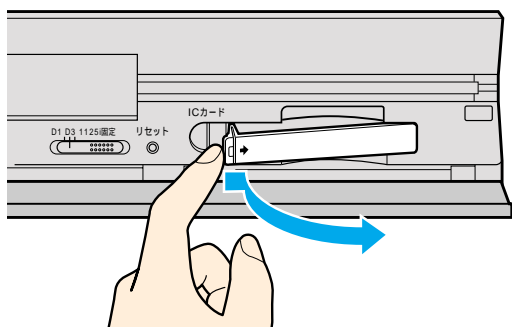
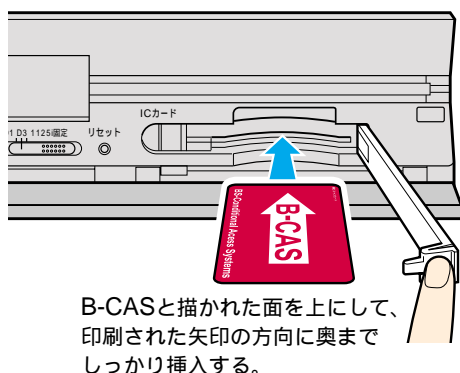
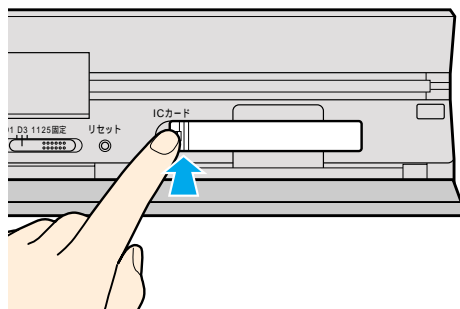
## 準備8：BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を入れて登録する

BSデジタル用ICカード（B-CAS*カード）はお客様とBS放送局をつなぐカードで、個々のお客様独自の番号などが記録されています。
BSデジタルでは、このカードを利用してCAS（限定受信システム）が採用されています。
ご登録いただくと双方向サービスが利用できるようになり、放送局からのメッセージを受信できます。
B-CASカードを本機に入れた後、必ずユーザー登録はがきを記入し、投函してください。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

**ご注意**
ユーザー登録をしないと、ペイ・パー・ビュー（ＰＰＶ）（☞54ページ）が視聴できなかったり、BSデータ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

**1** **本機前面のパネルを開ける。**

**2** **B-CAS用ユーザー登録はがき台紙からB-CASカードをはがす。**

## 3 ICカード挿入ふたのつまみを右へ押し、指で押したまま手前に開ける。

## 4 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと描かれた面を上にして、印刷された矢印の方向に奥までしっかり挿入する。

## 5 ICカード挿入ふたを閉める。

## 6 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

**ご注意**

- B-CASユーザー用登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込む（☞31ページ）ときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されていたりするためです。
- 転居などの際には、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

**ソニー用お客様ご登録カードも必ずご返送ください。**

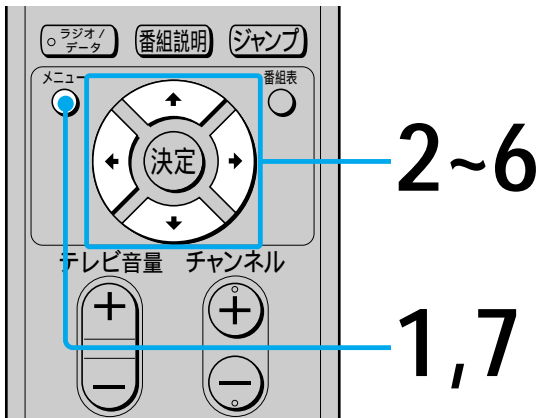
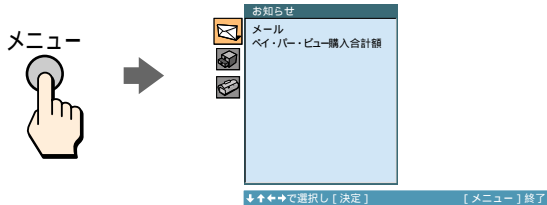
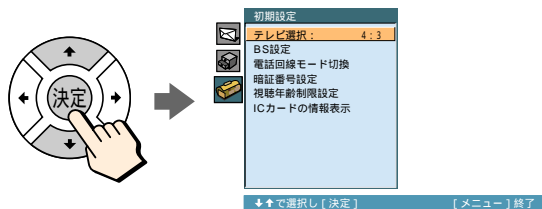
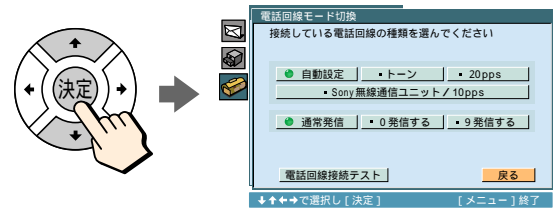
同梱のソニー用お客様ご登録カードに必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。BSデジタル放送の環境の変化に対応して、本機ソフトウェアを書き換えるサービスのご連絡を差し上げる際に、必要となるためです。

**ちょっと一言**

**こんなメッセージが表示されたら...**
（ICカードはB-CASカードのことです。）

- 「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが表裏逆向きに入っている。
  → B-CASカードが破損している。
  → B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  → ご覧になっている各放送局のカスタマーセンター（☞31ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードの挿入口のふたを閉めてください」
  → ICカード挿入ふたが開いている。
- 「ICカードを入れてください」
  → B-CASカードを正しく入れてください。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
- 「このICカードは使用できません」「ICカードを交換してください」
  → ご覧になりたい放送局のカスタマーセンター（☞31ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

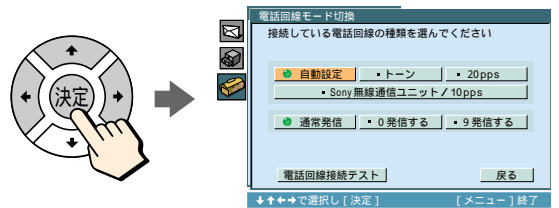
# 準備9：
# 電話回線を設定する

電話回線の設定と、接続テストを行います。
お買い上げ時は、「自動設定」で、「通常発信」の電話回線に設定されています。

## 1 メニューボタンを押す。

## 2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。

## 3 ↑/↓で「電話回線モード切換」を選び、決定ボタンを押す。

## 4 ↑/←/→で、電話回線を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「自動設定」に設定されています。

● **「自動設定」でうまく通信できないときは**
NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、**「トーン」**を選んでください。
請求されていないときは、**「20pps」**を選んでください。

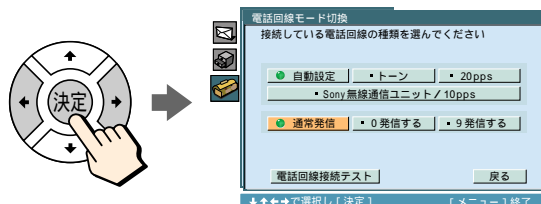
● **ISDN回線などによるターミナルアダプターやダイアルアップルーターを使っているときは（☞20ページ）**
**「トーン」**を選んでください。

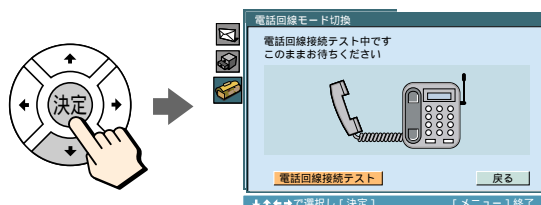
● **別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1を使っているときは（☞20ページ）**
**「Sony無線通信ユニット／10pps」**を選んでください。

## 5 ←/→で、0（ゼロ）発信の設定を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時は「通常発信」（電話番号の頭に、さらに「0」や「9」を付けない通常の発信）に設定されています。

寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信する）、または「9」を付ける（9発信する）場合のみ、次のように設定します。
0発信するとき →「0発信する」を選ぶ。
9発信するとき →「9発信する」を選ぶ。

**ご注意**

会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話を管理している担当の方に「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。

## 6 ↓で「電話回線接続テスト」を選び、決定ボタンを押す。

正しい接続であれば、「電話回線は正しく接続されています」と表示されます。

**「電話回線を他の機器で使用中か、正しく接続されていません　接続を確認してください」と表示されたときは**

接続を確認し、また電話回線を他の機器で使っていないか確認してください（☞18～20ページ）。

**ご注意**

「電話回線接続テスト」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。
そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながらないことがあります。
このときは、再び、手順4で電話回線の種類（「トーン」や「20pps」、「Sony無線通信ユニット／10pps」）を正しく設定し直してください。

## 7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 準備10：各局に視聴を申し込む

### 加入申し込みが必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法は放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞28ページ）。

2000年10月18日現在の電話番号とホームページアドレスです。

| 放送局 | お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス |
|---|---|
| NHK BS1<br>NHK BS2<br>NHK ハイビジョン | 03-3465-1111<br>受付　9:00～23:00（平日）<br>9:00～22:00（土日）<br>http://www.nhk.or.jp/ |
| WOWOW | 0570-008080<br>（携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-8080）<br>受付 9:00～20:00<br>http://www.wowow.co.jp/ |
| スター・チャンネル | 0570-010-110<br>（携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-7890）<br>受付 9:00～20:00<br>http://www.star-ch.co.jp/ |
| セント・ギガ | 0120-336-765<br>受付 10:00～21:00<br>http://www.stgiga.co.jp/ |

**ご注意**

加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、ハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

# BSチャンネルを手動で設定する

## ⑪ボタン、⑫ボタンに好みのBSチャンネルを登録する

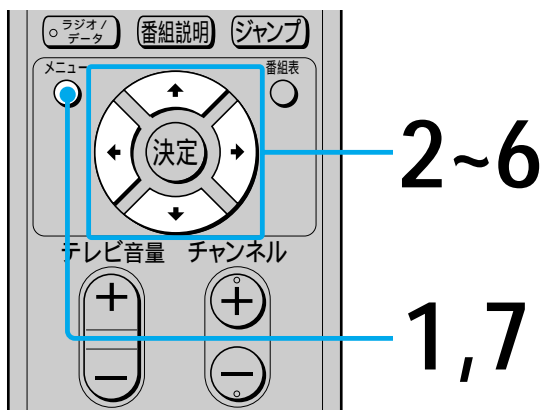
お買い上げ時は、①〜⑩の数字ボタンを押せば、あらかじめ登録されているBSテレビの代表チャンネル（☞45ページ）を選局できます。

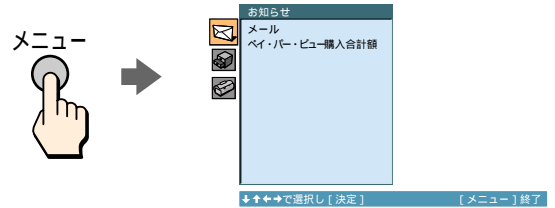
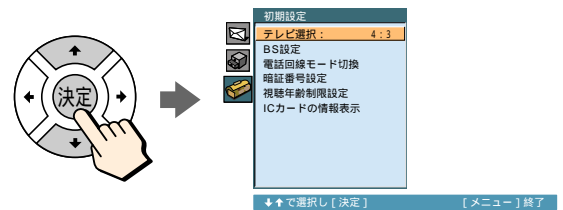
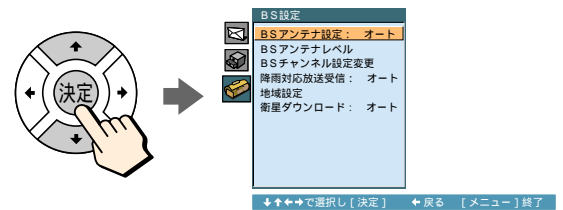
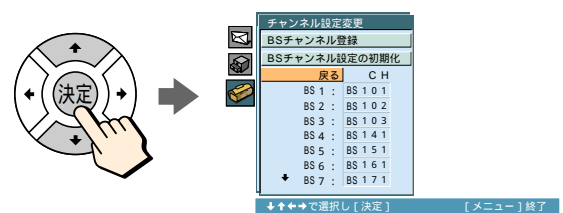
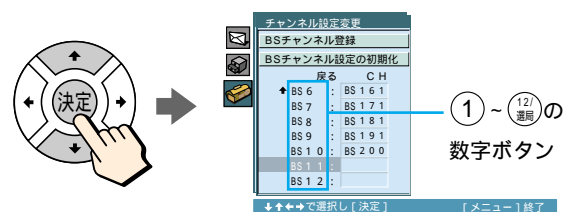
本機は、これに加えて、**⑪ボタンと⑫ボタンにお好きなBSチャンネルを登録して、選局できます。**

また、次のようなときに、①〜⑩ボタンに登録されているBSチャンネルを変更することもできます。

- BSラジオやBS独立データのチャンネルを、①〜⑫の数字ボタンで選びたいとき
- ①〜⑩ボタンに、好みの別のBSチャンネルを登録したいとき。

**ちょっと一言**

BS10キー入力ボタンを使って、3ケタのBSチャンネル番号で選局する方法もあります（☞45ページ）。

ここでは、例として⑪ボタンに新しくBSチャンネルを登録する手順を説明します。

**1** メニューボタンを押す。

**2** ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。

**3** ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

**4** ↑/↓で「BSチャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

**5** ↑/↓で、「BS11」選び、決定ボタンを押す。

**6** **↑/↓で、登録したいチャンネル番号を選び、決定ボタンを押す。**

放送のあるチャンネルから選べます。
リモコンの数字ボタンを押したとき、この操作で選んだチャンネルが選局されます。

**7** **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

### 登録されているBSチャンネルを変更したいときは

**1** **手順5で、変更したい①〜⑫の数字ボタンを選び、決定する。**

**2** **手順6で、変更したいBSチャンネル番号を選び、決定する。**

### お買い上げ時の設定に戻すには

手順4で「BSチャンネル設定の初期化」を選び、決定ボタンを押す。
数字ボタンで選べるBSチャンネルが、お買い上げ時の設定（各BSテレビ局の代表チャンネル）に戻ります。

## チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する

①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルを、チャンネル＋/－ボタンで選んだり、番組表で表示できるように追加できます。
また、「自動登録」に設定するだけで、現在視聴できるBSチャンネルを全て自動登録し、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようにできます。

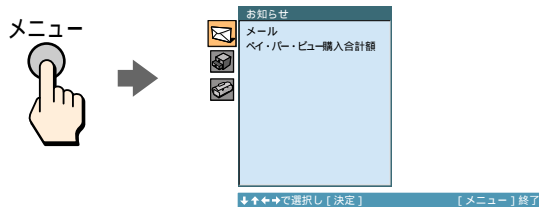
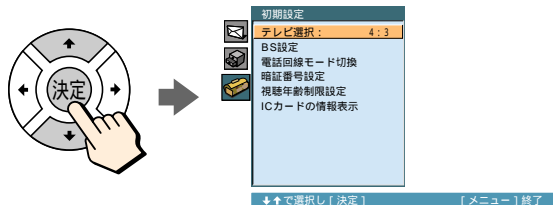
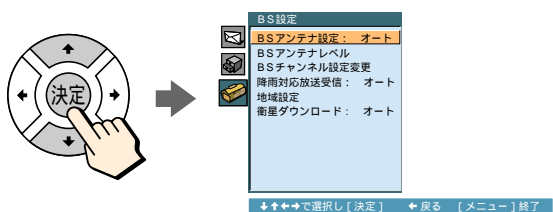
**ご注意**

①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルは、下記の操作で追加しないと番組表に表示されません。

**1** **メニューボタンを押す。**

**2** **↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

**3** **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

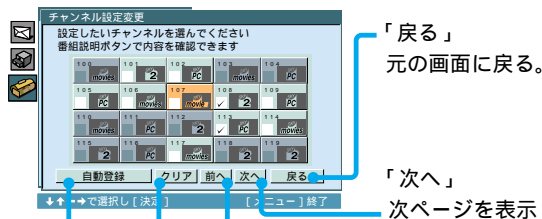
次のページにつづく

# BSチャンネルを手動で設定する（つづき）

## 4 ↑/↓で「BSチャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

## 5 ↑/↓で「BSチャンネル登録」を選び、決定ボタンを押す。

BSのすべてのチャンネルが3ケタのチャンネル番号順に表示されます。

## 6 ↑/↓/←/→で、変更したいチャンネルにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

選んだチャンネルの□に✓が付き、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようになります。

**ちょっと一言**

- ［　　］のように明るく表示されるチャンネルは、契約済みまたは無料のチャンネルです。
- ［　　］のように暗く表示されるチャンネルは、未契約のチャンネルです。
- □の付いているチャンネルにだけ、✓を付けられます。
- 新しくBS局が開設されると、チャンネルが自動で追加されます。

### 現在視聴できるBSチャンネルを全て自動登録するには

「自動登録」を選び、決定する。
現在視聴できる全てのBSチャンネルに✓が付き、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようになります。

### ✓をはずすには

✓の付いているチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

**ご注意**

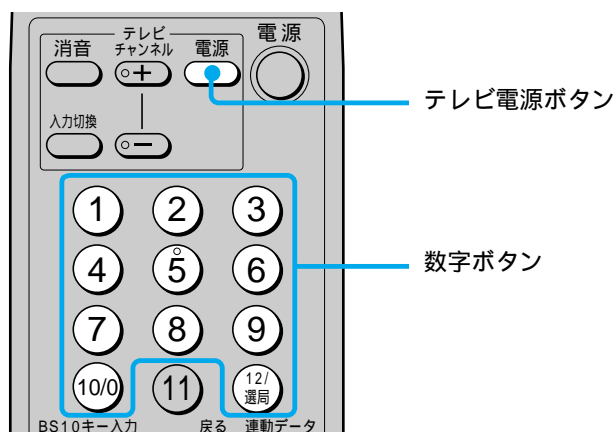
- ①～⑫の数字ボタンに登録されたチャンネルには、あらかじめ□のない✓が付いています。（✓は、はずせません。）
- 臨時チャンネルは選べません。□も表示されません。

## 7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 本機のリモコンでテレビも操作する

本機のリモコンを使ってテレビも操作できます。

## メーカー登録番号を設定する

お買い上げ時は、ソニー製テレビを操作できる設定になっています。他社製テレビを操作するときは、メーカー登録番号を設定してください。

**テレビ電源ボタンを押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号を2ケタ続けて押す。**

登録番号が複数あるメーカーは、お手持ちのテレビが操作できるまで、設定し直してください。

**例）：東芝製テレビ（登録番号31）の場合**

**メーカー登録番号表**

| メーカー | 登録番号 |
|---|---|
| ソニー | 11　12　13 |
| 松下 | 21　22 |
| 東芝 | 31 |
| 日立 | 41　42 |
| 三菱 | 51　52　53 |
| 日本ビクター | 61　62　63 |
| サンヨー | 71　72　73 |
| アイワ | 77　78　79 |
| シャープ | 81　82　83 |
| NEC | 91　92 |
| フナイ | 87　88　89　8+(10/0)　8+(12/選局) |
| パイオニア | (10/0)+1 |

**ご注意**

- リモコンの電池を取り出したり、電池が寿命になると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、テレビのリモコンでテレビを操作してください。
- 本機リモコンのボタンに対応する機能がテレビにない場合は、そのボタンは働きません。

## テレビを操作する

テレビのリモコン受光部に向けて、下記のボタンを使ってください。

**ご注意**

本機チューナーのリモコン受光部に向けても、テレビは操作できません。

**電源ボタン**
テレビの電源を入/切する。

**チャンネル+/−ボタン**
テレビのチャンネルを切り換える。

**消音ボタン**
テレビの音声を消す。

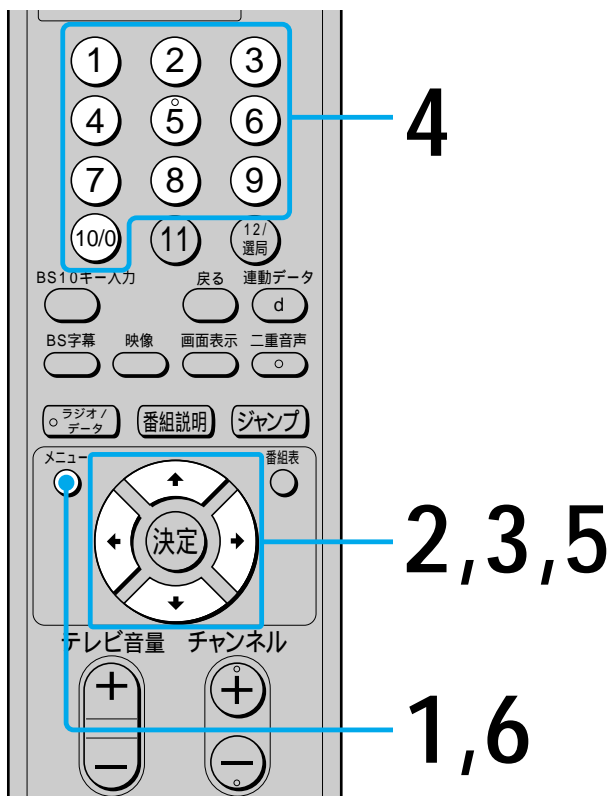
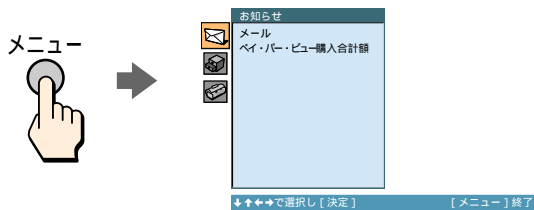
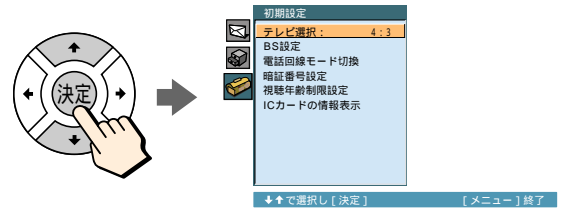
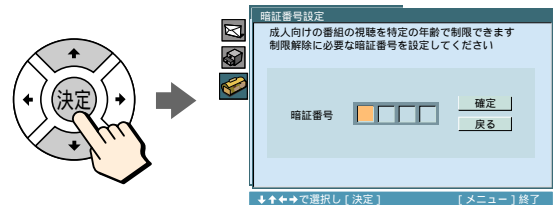
**入力切換ボタン**
テレビの入力が切り換わり、テレビにつないだ機器の映像になる。

**テレビ音量ボタン**
テレビの音量を調節する。

# 暗証番号を設定する

視聴年齢制限のある番組の視聴（☞37ページ）を制限するためには、暗証番号の設定が必要です。

**ご注意**

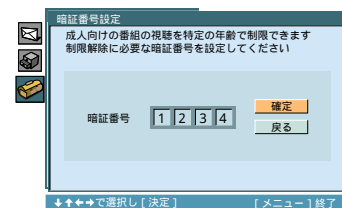
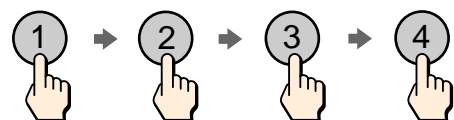
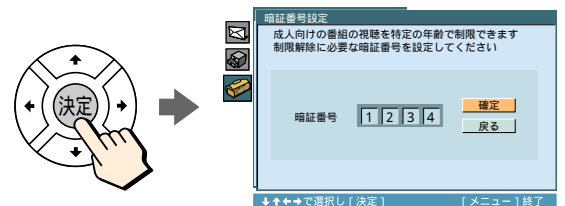
**設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。**
視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

## 1 メニューボタンを押す。

## 2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。

## 3 ↑/↓で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す。

## 4 数字ボタンで4ケタの暗証番号を入力する。

「0」を入力するときは、10/0 ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

**ご注意**

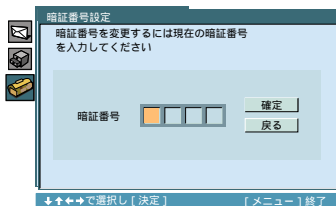
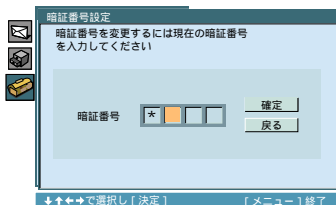
**設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。**
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

**例）暗証番号が1234の場合**

## 5 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

**6** **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

### 暗証番号を変更するには

**1 メニューボタンを押す。**

**2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

**3 ↑/↓で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4 数字ボタンを押して、変更前の暗証番号を入力する。**
変更前の暗証番号は、＊マークで表示されます。

変更前の暗証番号を忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

**5 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

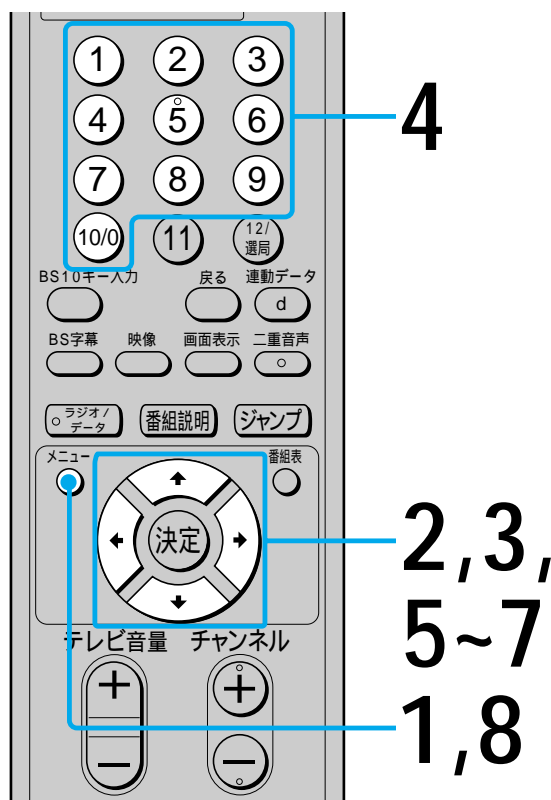
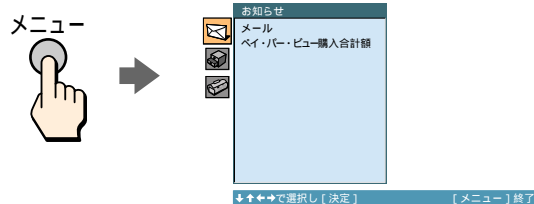
**6 数字ボタンを押して、好みの数字を入力し、↑/↓で「確定」を選んで決定ボタンを押す。**
暗証番号が変更されます。

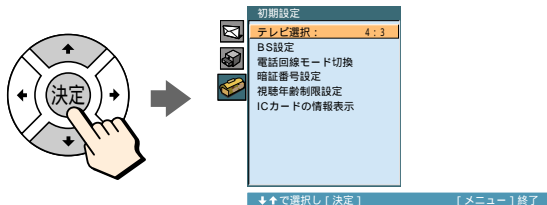
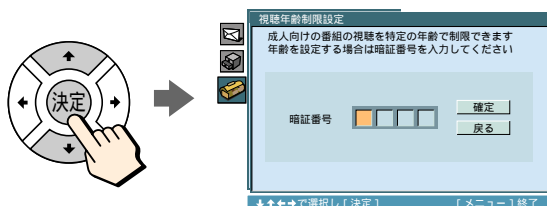
**ちょっと一言**
暗証番号を入力するときは、リモコンと本体の↑/↓/←/→/決定ボタンでも行えます。←/→で入力する桁を選び、↑/↓で0～9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動します。4ケタすべての数字を入力したら、最後に決定ボタンを押します。

# 視聴年齢制限を設定する

視聴年齢制限付き番組（番組表☞57ページや番組説明画面☞46ページでのついている番組）を視聴できる年齢を制限できます。
制限すると、設定した暗証番号（☞36ページ）を入れないと、視聴できなくなります。
お買い上げ時、視聴年齢制限は設定されていません。

**1** **メニューボタンを押す。**

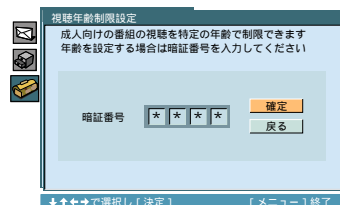
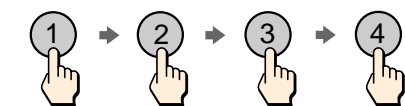
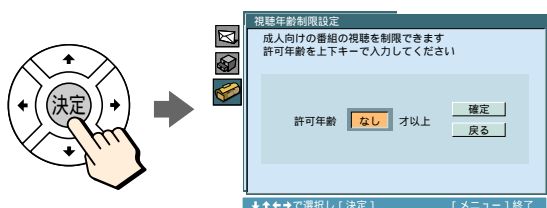
次のページにつづく

## 視聴年齢制限を設定する（つづき）

**2** ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。

**3** ↑/↓で「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す。

**4** 数字ボタンで、設定してある4ケタの暗証番号（☞36ページ）を入力する。

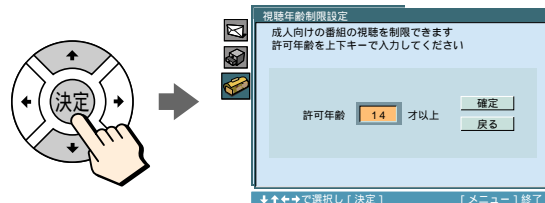
「0」を入力するときは、(10/0) ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

入力された数字は＊マークで表示されます。

**例）暗証番号が1234の場合**

**5** 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

**6** ↑/↓で年齢制限を設定し、決定ボタンを押す。

4歳〜19歳で設定できます。

例えば「14歳以上」に設定すると、15歳から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。15歳から視聴可能な番組は、番組表（☞57ページ）や番組説明画面（☞46ページ）では「15才〜（15歳以上視聴可能）」と表示されます。

**すべての成人向け番組の視聴を制限するときは**

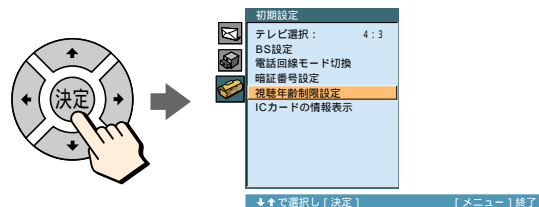
「4歳以上」などの低い年齢に設定する。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

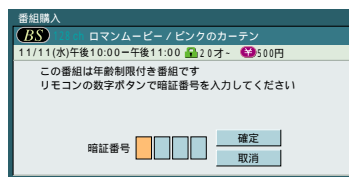
**視聴制限をしないときは**

許可年齢を「なし」に設定する。

視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

**7** ↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

**8** メニューボタンを押して、メニューを消す。

### 視聴年齢制限付き番組を選ぶと

暗証入力画面が表示されます。設定した暗証番号を入力すると、番組を見ることができます。

# オーディオ機器をつなぐ

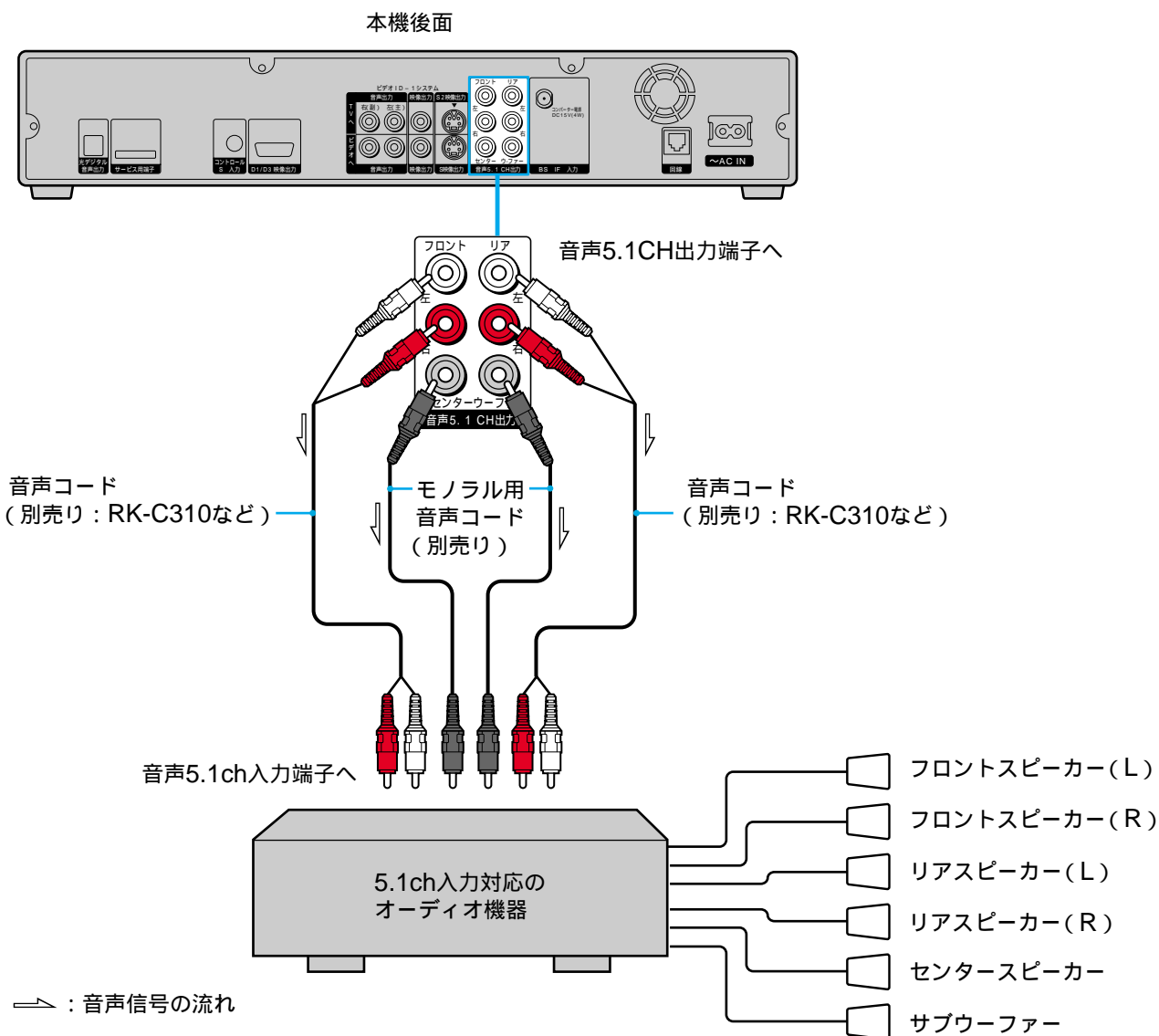
## 5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐ

本機の音声5.1CH出力端子に5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドステレオの音声を楽しめます。
サラウンドステレオを充分に楽しむためには、5.1ch入力対応のオーディオ機器に加えて、5本のスピーカーとサブウーファーが必要です。詳しくは、5.1ch入力対応のオーディオ機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

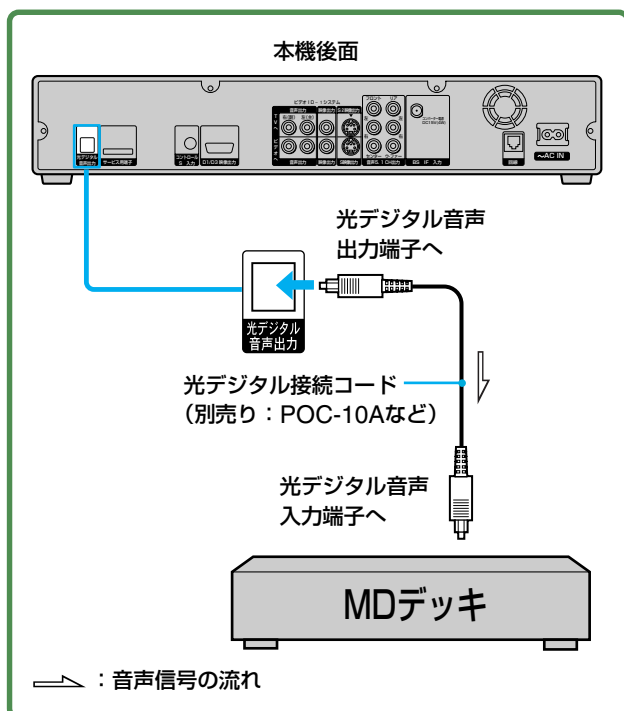
**ご注意**

「（各種切換）」メニューで、「5.1ch→2ch切換」が「5.1ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。

**ちょっと一言**

本機と5.1ch入力対応のオーディオ機器のセンター端子やウーファー端子をつなぐためのモノラル用音声コードがないときは、音声コード（別売り:RK-C310など）の同じ色のプラグどうしでつないでください。

次のページにつづく

## MDデッキをつなぐ

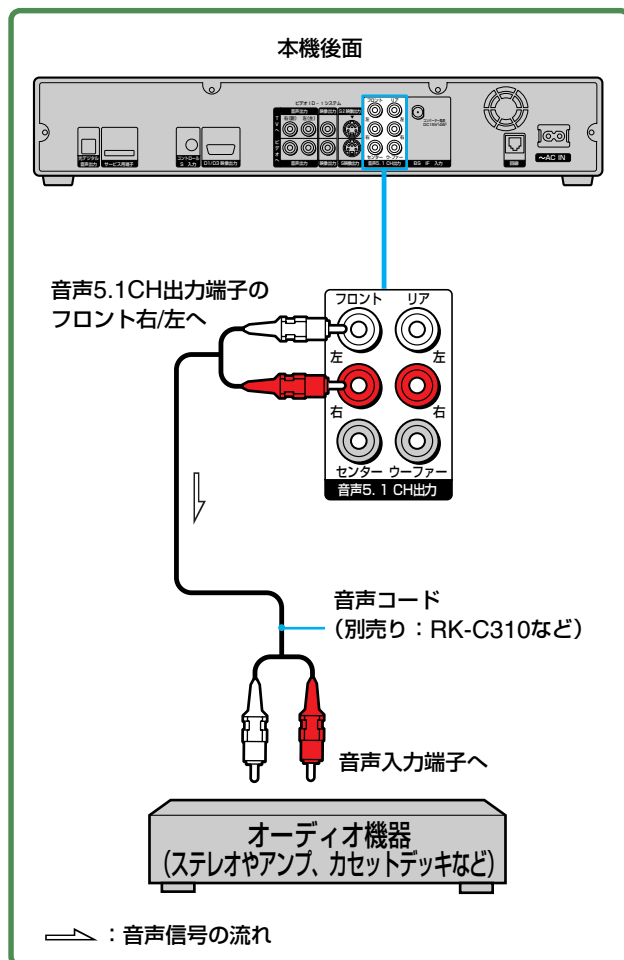
光デジタル音声入力端子を持つ**サンプリングレートコンバーター内蔵の**MDデッキにつなげます。MDデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機の光デジタル音声出力端子からはPCM（2ch）音声が出力されます。

**アナログ接続する場合（音声5.1CH出力端子につなぐときは）**
光デジタル音声出力端子の代わりに、本機の音声5.1CH出力端子のフロント（左/右）端子にも別売りの音声コード：RK-C310などでつなげます。ただし、アナログ信号になります。このときは、「（各種切換）」メニューで、音声5.1CH出力端子から出る音声を「2ch」に切り換えてください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 ↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で「5.1ch→2ch切換」を選び、決定ボタンを押す。
4 ↑/↓で「2ch」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

**ご注意**

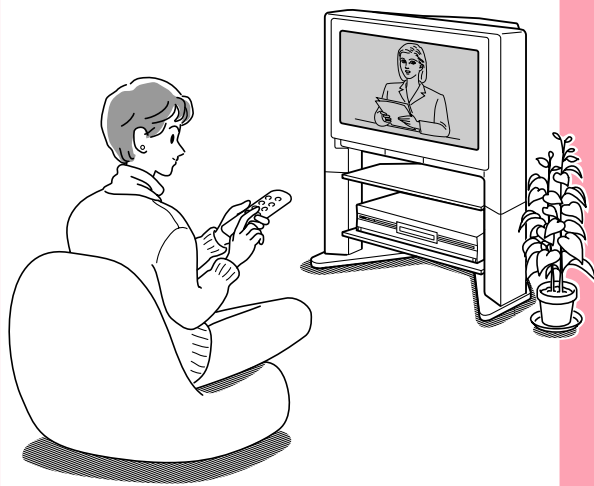
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。
- 光デジタル音声出力端子からは、文字スーパーやBSデータでの効果音（ピンポンとかブーなど）は出力されません。
- 二か国語放送など二重音声番組（☞59ページ）のときは、つねに主音声と副音声の両方が出力されます。

## その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐ

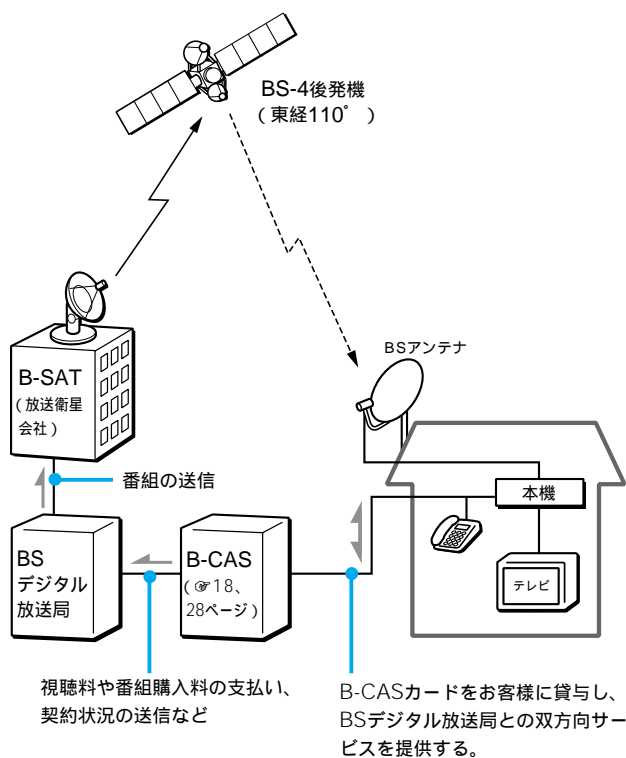
つないだオーディオ機器で本機の音量を調節したり、つないだスピーカーから本機の音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

**「（各種切換）」メニューで、音声5.1CH出力端子から出る音声を「2ch」に切り換えてください。**

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 ↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で「5.1ch→2ch切換」を選び、決定ボタンを押す。
4 ↑/↓で「2ch」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 番組を見る／聞く

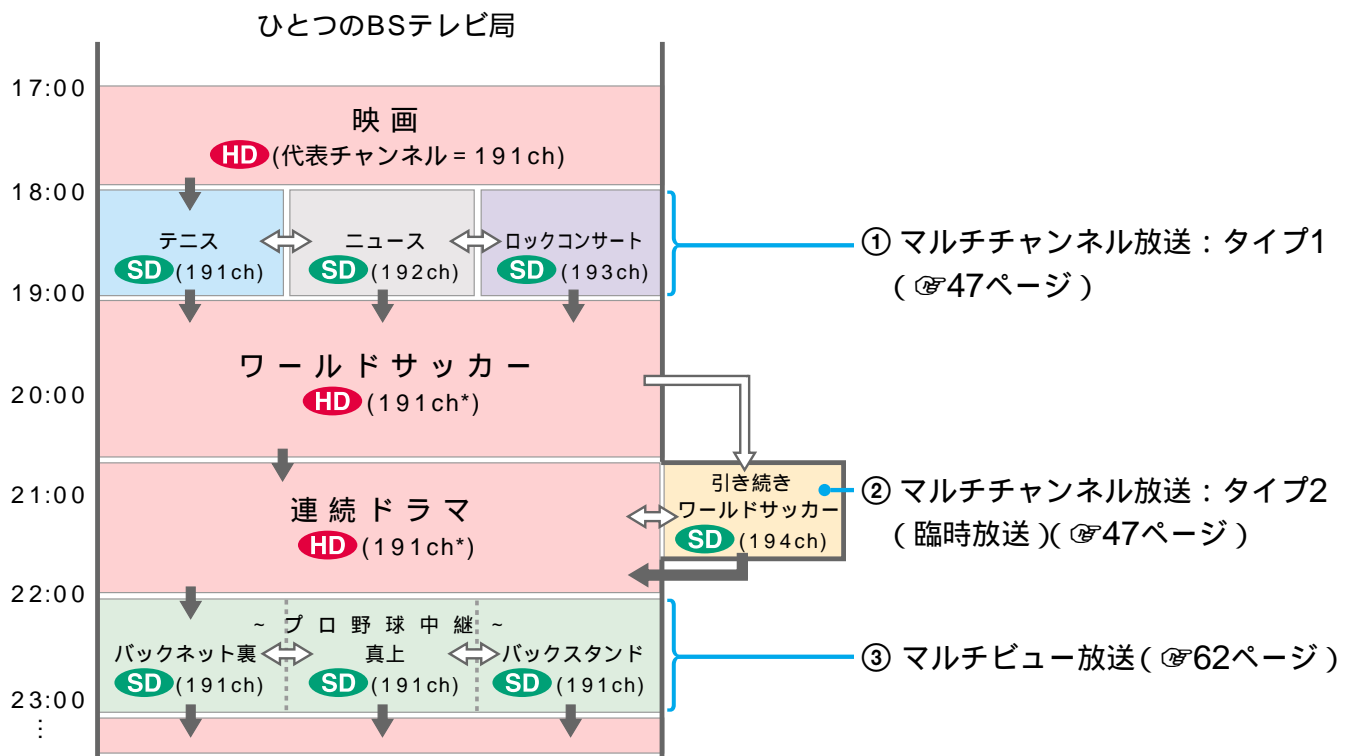
ここでは、BSデジタルの特長や、BSテレビを見たり、BSラジオを聞いたりするときの操作について説明しています。
また、番組表から見たい番組を探したり、音声を切り換えたり、マルチビュー放送や字幕放送を見たりするなど、多彩な機能の操作についても説明しています。

## BSデジタル放送って何？

放送衛星BS-4後発機を利用したデジタル衛星放送（BS*）です。従来のテレビ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン放送HDを中心に、ラジオ放送、データ放送（双方向サービス）が楽しめます。
特に**「デジタルハイビジョン放送HD」**では1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます**。

* BSはBroadcasting Satellite（放送衛星）の略です。
**BSデジタルの画質や画像方式、走査線についての詳しい説明は、9ページをご覧ください。

次のページにつづく

## BSデジタル独自の多チャンネル放送って何？

BSデジタル放送では、ひとつの放送局が、デジタルハイビジョン放送HDの1チャンネル放送と、標準テレビ放送SDの多チャンネル（2～5チャンネル）放送を、下のイラストのように時間帯によって切り換えながら放送する場合があります。

また、下のイラストのように、標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用したサービスには、①**マルチチャンネル放送：タイプ**1、②**マルチチャンネル放送：タイプ**2、③**マルチビュー放送**があります。

* 18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組をご覧いただけることもあります。

### ① マルチチャンネル放送：タイプ1

同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。

例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する。

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは[マルチチャンネル]」**（☞47ページ）**をご覧ください。**

### ② マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）

同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは[マルチチャンネル]」**（☞47ページ）**をご覧ください。**

HD＝デジタルハイビジョン放送
SD＝標準テレビ放送

➡＝自動的に切り換わる
⇨＝リモコンで手動で切り換える

### ③ マルチビュー放送

生中継の番組などで、最多で3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。
例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

→ **詳しくは、「マルチビュー放送を見る［映像ボタン］」（☞62ページ）をご覧ください。**

この他にも、緊急時に同じ放送局の別チャンネルで行われる**緊急放送**があります。
例：地震などの災害時に、緊急ニュース番組を放送する

→ **詳しくは、「緊急放送のお知らせが出たときは」（☞48ページ）をご覧ください。**

### BSデジタルでは、テレビ以外にもサービスがあるの？

BSラジオとBSデータがあります。
本機では、すべての放送を楽しめます。

**BSラジオ**
通常のテレビと同じ音質の放送と、音楽CD並み（BSアナログ・Bモード並み）の高音質放送が予定されています。
→「BSラジオを聞く」（☞50ページ）

**BSデータ**
テレビ放送を、従来の「見るもの」から「参加するもの／使うもの」へと変化させようと、双方向的な番組の実現などが予定されています。
BSテレビやBSラジオの番組と**連動して放送されるBSデータ**（☞49ページ）と、BSデータだけを専門に放送する**BS独立データ**（☞52ページ）があります。

### たくさんのBSチャンネルから、どうやって見たい番組を探すの？

見たい番組を簡単に探し出せるように、**番組表**（EPG: Electronic Program Guide）があります。
番組表では、テレビ画面上でそのチャンネルの番組表を見ることができます。
→「番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞57ページ）

### BSデジタルは有料なの？

2000年末から新たに放送開始する民放系BS新会社5局は無料放送を行う予定です。
ただし、NHK（BS1/BS2/ハイビジョン）やWOWOW、スター・チャンネル、セント・ギガなどは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局への加入申し込みと契約が必要です（次ページの表参照）。

### BSデジタルは、ビデオに録画できるの？

現行のテレビ放送と同じ画質のアナログ信号に変換し録画できます。ただし、有料BS局などでは、著作権上の問題から、番組によっては録画できない番組もあります。
本機では、見ているチャンネルをビデオに録画できます。
→「準備3：ビデオをつなぐ」（☞8ページ）

### BSアナログはなくなるの？

NHK（BS1・BS2）、ハイビジョンの3チャンネルは、デジタルとアナログの同時放送（サイマル放送）が行われるため、お持ちのBSアナログチューナー内蔵のテレビやビデオで引き続き見ることができます。ただし、2007年以降にBSアナログは終わり、BSデジタルに1本化される予定です。

## BSデジタル放送って何？（つづき）

### 加入申し込み（☞31ページ）が必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法は放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞28ページ）。

2000年10月18日現在の電話番号とホームページアドレスです。

| 放送局 | お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス |
|---|---|
| NHK BS1<br>NHK BS2<br>NHK ハイビジョン | 03-3465-1111<br>受付　9:00～23:00（平日）<br>9:00～22:00（土日）<br>http://www.nhk.or.jp/ |
| WOWOW | 0570-008080<br>（携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-8080）<br>受付 9:00～20:00<br>http://www.wowow.co.jp/ |
| スター・チャンネル | 0570-010-110<br>（携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-7890）<br>受付 9:00～20:00<br>http://www.star-ch.co.jp/ |
| セント・ギガ | 0120-336-765<br>受付 10:00～21:00<br>http://www.stgiga.co.jp/ |

**ご注意**

加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、ハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

# BSテレビを見る

テレビ

**テレビ電源ボタン**

**テレビ入力切換ボタン**

**ⓓ（連動データ）ボタン**
BSテレビに連動しているBSデータを見るときに押します。（☞49ページ）

**画面表示ボタン**
番組タイトル/チャンネルが表示されます。もう1度押すと、消えます。（番組によっては表示されません。）

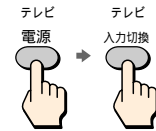
**ラジオ/データボタン**
BSテレビに切り換えます。チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルが、押すたびに、次のように切り換ります。

BSテレビチャンネル
↓
BSラジオチャンネル
↓
BS独立データチャンネル

**ジャンプボタン**
押すたびに、
**一つ前に見ていたチャンネル**
（ただし、チャンネル+/−ボタンで選んだチャンネルは除く。）
↕
**今見ているチャンネル**
と切り換わります。

## 1 テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

**ちょっと一言**

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。(☞35ページ)

## 2 本機の電源を入れる。

本体

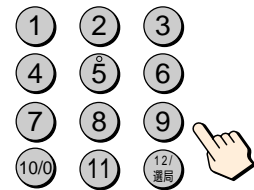
または

リモコン

## 3 リモコンを本機に向けて数字ボタンを押し、BSテレビ局の代表チャンネルを選ぶ。

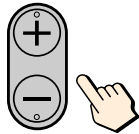
代表チャンネル以外のチャンネルを選ぶときは、下にある方法で選んでください。

* の付いたBS放送局は有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。（左表参照）

⑪、⑫ボタンに、お好きなBSチャンネルを登録できます。（☞32ページ）

| 数字ボタン | 放送局（代表チャンネル） |
|---|---|
| 1 | NHK BS1（101）* |
| 2 | NHK BS2（102）* |
| 3 | NHK ハイビジョン（103）* |
| 4 | BS日テレ（141） |
| 5 | BS朝日（151） |
| 6 | BS-i（161） |
| 7 | BSジャパン（171） |
| 8 | BSフジ（181） |
| 9 | WOWOW（191）* |
| 10/0 | スターチャンネル（200）* |

（2000年10月18日現在）

次の方法でも、チャンネルを選べます。

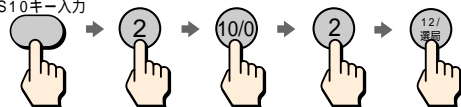
### チャンネル+/−ボタンで選ぶには

**押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。**

**ご注意**

BSラジオになっているときは、ラジオ/データボタンを押して、BSテレビに切り換えてから選んでください。
BSラジオのときに、チャンネル+/−ボタンを押しても、BSラジオのチャンネルしか切り換えられません。

### 3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① BS10キー入力ボタンを押す。
② ①〜⑩までの数字ボタンで、3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ ⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

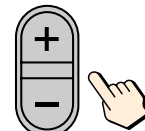
**例）202chを見るとき**

### 番組ガイドから番組を選ぶには

「番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞57ページ）をご覧ください。

BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

## 4 テレビの音量を調節する。

**ちょっと一言**

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。(☞35ページ)

**ちょっと一言**

- BSテレビを見ているときに、画面上に臨時ニュースなどの文字スーパーが表示されることがあります。文字スーパー放送は、終了するまで消すことはできません。
- 数字ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「⑪ボタン、⑫ボタンに好みのBSチャンネルを登録する」☞32ページ）
- チャンネル＋/－ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する」☞33ページ）

## ペイ・パー・ビューなどの有料番組を選んだときは

あらかじめ、「準備8：BSデジタル用ICカード（B-CASカード）を入れて登録する」を行ってください（☞28ページ）。その後、「BSのペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」（☞54ページ）の手順に従って、操作してください。

## 「降雨対応放送に切り替わりました」と表示されたときは

降雨対応放送を受信しています。
お買い上げ時は、降雨時に受信状態が悪くなると、降雨対応放送に自動的に切り替わるように設定されています（対応していない番組もあります）。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

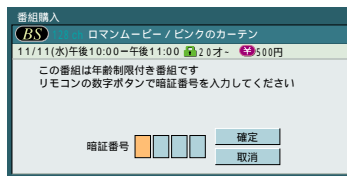
**ご注意**

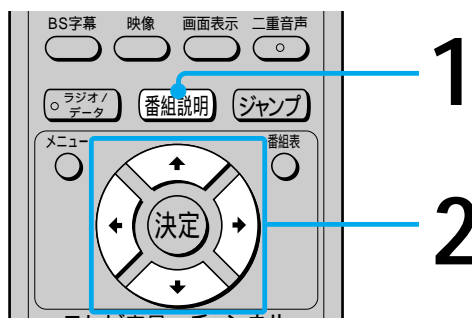
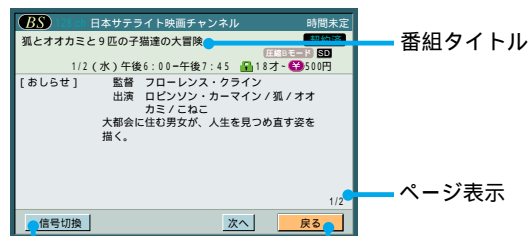
- 降雨対応放送のときは、番組表や番組説明は表示されません。
- 降雨時「受信できません　大雨・大雪やアンテナの調整ズレ等の場合もあります」と表示されて、映像や音声が出なくなる場合は、受信中の放送が降雨対応でないためか、降雨対応放送で対応できない気象状況となっているためです。

**降雨対応放送についてのちょっと一言**

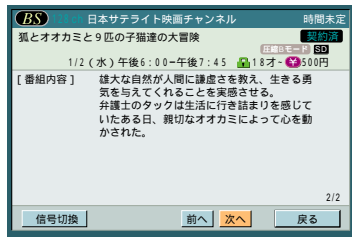
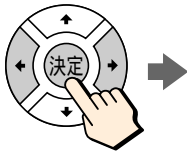
- お買い上げ時は、天候回復後、自動的に通常の放送に戻るように設定されています。
- 「（初期設定）」メニューの「BS設定」で、「降雨対応放送受信」を「切」にすると、降雨対応放送に自動的には切り替わりません。リモコンの映像ボタンを押して切り替えてください。天候回復後も、映像ボタンをもう1度押して、通常の放送に戻してください。

## 視聴年齢制限付き番組を選んだときは

暗証番号入力画面が表示されます。数字ボタンで4桁の暗証番号（☞36ページ）を入力すると見ることができます。

## 番組説明を見る［番組説明ボタン］

番組の出演者やあらすじなどを見ることができます。また、番組表（☞57ページ）で放送中/今後放送予定の見たい番組の説明を見ることができます。

### 1 番組を見ているときに、番組説明ボタンを押す。

**「信号切換」**
信号切換画面（☞59ページ）を表示する。

**「戻る」**
番組説明を消す。

## 2 番組説明が2ページ以上あるときは、←/→で「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

### 番組説明を消すときは

もう1度、番組説明ボタンを押す。

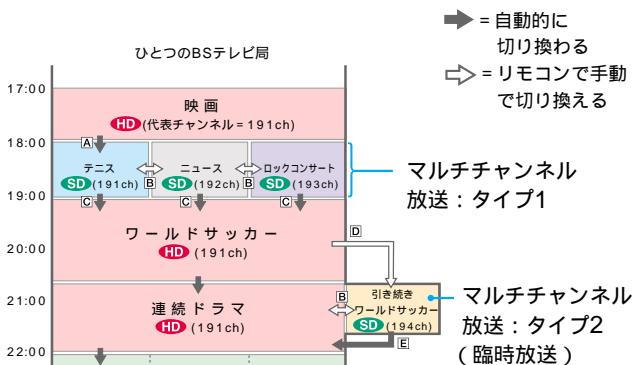
**ご注意**

降雨対応放送視聴中は、番組説明は開きません。

## 画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］

標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した、マルチチャンネル放送が行われています。

マルチチャンネル放送には2タイプあります。

- **マルチチャンネル放送：タイプ1**
  同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。
  例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する。
- **マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）**
  同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。
  例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する。

A マルチチャンネル放送（タイプ1）開始
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

B マルチチャンネル放送中の選局
…BS10キー入力ボタンと数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力して切り換えます。

C マルチチャンネル放送（タイプ1）終了
…18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組（ワールドサッカーや連続ドラマ）をご覧いただけることもあります。

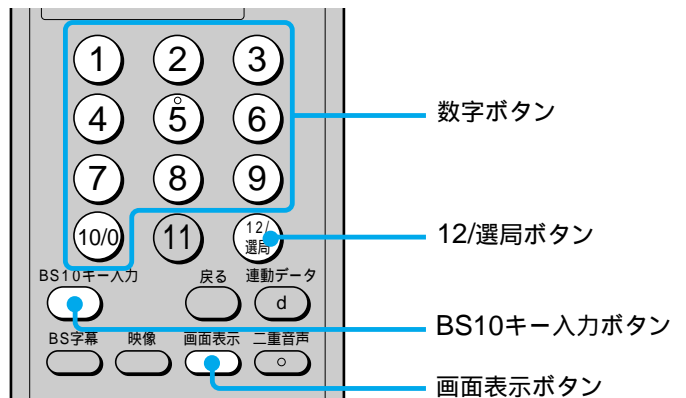
D 臨時放送開始
…中継延長になりHDからSDに変わり、引き続き放送します。ご覧になるときは、BS10キー入力ボタンと数字ボタンで3ケタの新しいチャンネル番号（左下の例では194ch）を入力して切り換えます。

E 臨時放送終了
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

### 現在視聴中の放送局でマルチチャンネル放送が始まると

画面右端にマルチチャンネル放送のチャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞33ページ）は表示されません。

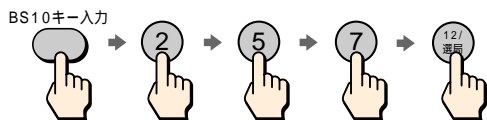
### マルチチャンネル放送を見るときは

**1 BS10キー入力ボタンを押す。**

**2 数字ボタンで、マルチチャンネル放送を行っている3ケタのチャンネル番号を、百の位から順に押す。**

次のページにつづく

**3 ⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）**

マルチチャンネル放送を見ることができます。

**例）257chで行われているマルチチャンネルを見るとき**

### マルチチャンネル放送を行っているか確認するときは

**画面表示ボタンを押す。**

マルチチャンネル放送を行っているときは、チャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞33ページ）は表示されません。

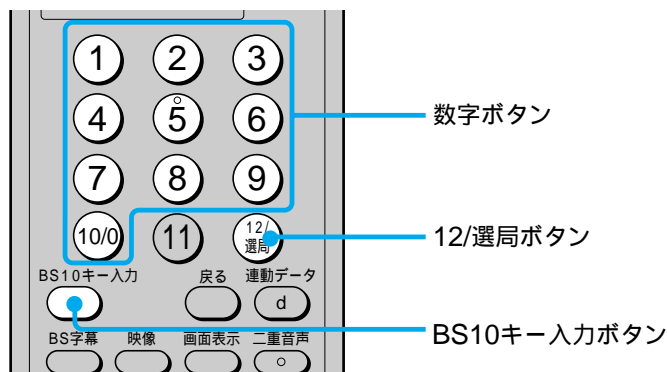
## 緊急放送のお知らせが出たときは

標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した緊急放送が行われています。
緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

### 緊急放送が始まると

放送局から緊急放送のお知らせが表示され、緊急放送を行っているチャンネル番号が表示されます。

**ご注意**

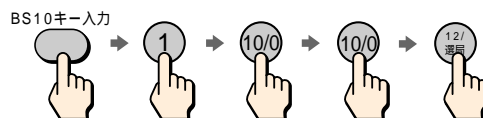
緊急放送のお知らせは約30秒間表示されます。

### 緊急放送を見るときは

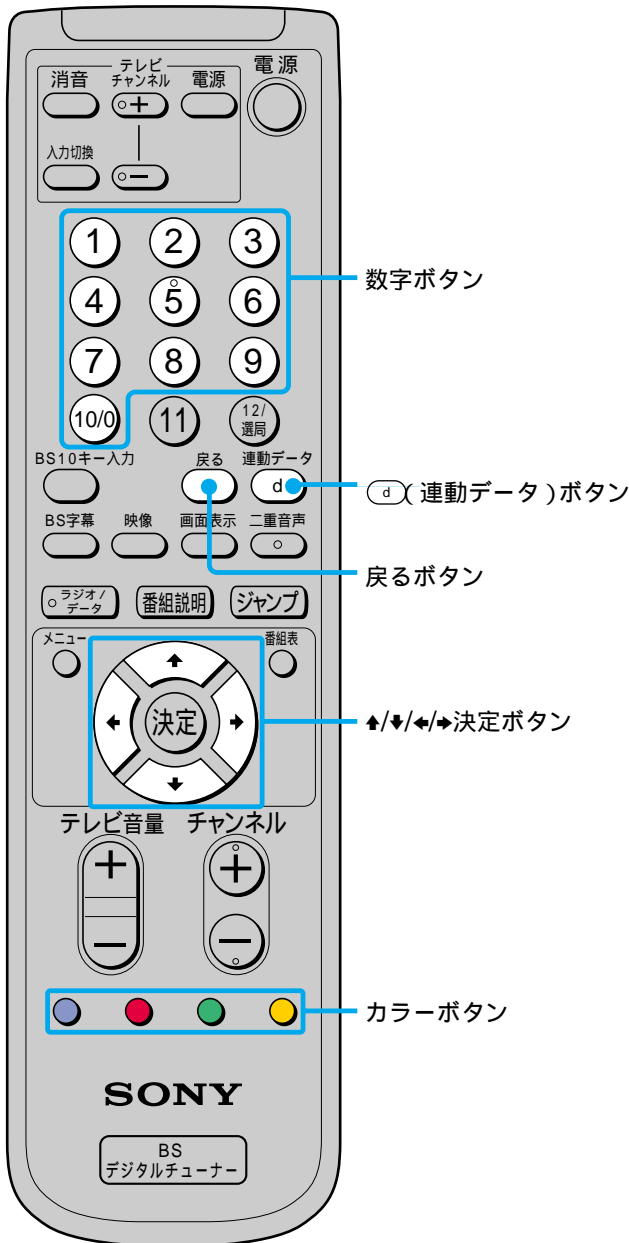
**1 BS10キー入力ボタンを押す。**

**2 数字ボタンで、緊急放送を行っている3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。**

**3 ⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）**

緊急放送を見ることができます。

**例）100chで行われている緊急放送を見るとき**

# BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見る［ d (連動データ) ボタン］

BSテレビ（☞44ページ）やBSラジオ（☞50ページ）を視聴しているときに、番組に連動しているBSデータを見ることができます。
視聴するだけではなく、視聴者がリモコンのボタンを使って番組に参加できる番組もあります。
番組と連動してBSデータを行っているかどうかの案内は、各BS局によって異なります。

**ご注意**

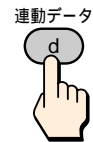
- あらかじめ電話回線の接続（☞18ページ）と設定（☞30ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータでは、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。
- 番組によっては、BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータが自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本機の表示窓に「通話」と表示）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

**ちょっと一言**

BSには、BSデータだけを専門に放送するBS独立データがあります。（☞52ページ）

## 1 BSテレビやBSラジオを視聴中、d (連動データ) ボタンを押して、番組と連動しているBSデータが行われているか確認する。

番組と連動しているBSデータの放送が行われているときは、そのBSデータの画面が表示されます。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

## 2 BS番組と連動しているBSデータがあるときは、画面の指示に従って、リモコンを操作する。

BSデータ番組の指示にしたがって、次のボタンを使ってください。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- ↑/↓/←/→決定ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- (1)～(10/0) までの数字ボタン（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

**ちょっと一言**

終了する場合も、画面の指示に従って操作してください。指示が無い場合は、d (連動データ) ボタンや戻るボタンで終了できる場合もあります。

番組を見る／聞く

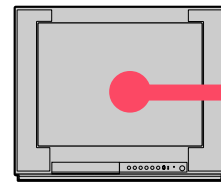
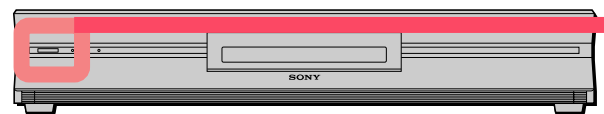
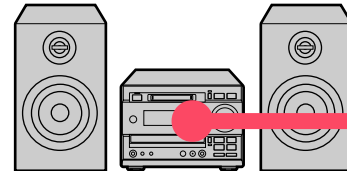
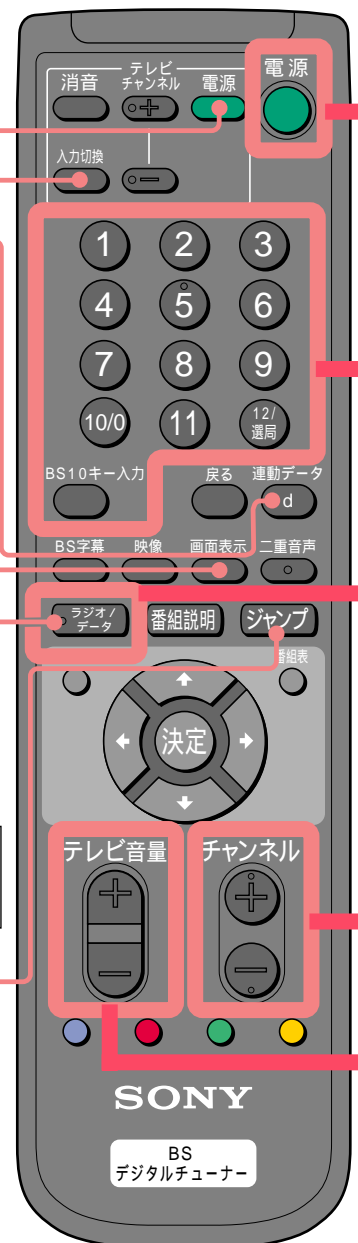
# BSラジオを聞く

BSラジオでは、静止画映像や連動したデータ（☞49ページ）を楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。また、テレビ番組と同じように、番組表（☞57ページ）からもラジオ番組を選べます。

次の放送局が放送を予定しています。
（2000年10月18日現在）

| 放送局 | チャンネル |
|---|---|
| BSC | 300, 301 |
| ミュージックバード | 310〜319 |
| JFNサテライト | 320〜329 |
| セント・ギガ* | 330〜339 |
| BS日テレ | 440〜449 |
| BS朝日 | 450〜459 |
| BS-i | 460〜469 |
| BSジャパン | 470〜479 |
| BSフジ | 488, 489 |
| WOWOW* | 491, 492 |

* 有料放送のため、視聴するには加入申し込みをして契約する必要があります。（☞31ページ）

**ちょっと一言**
本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。（☞35ページ）

**テレビ**：テレビのスピーカーで、デジタルラジオ放送を聞く場合

**オーディオ**：本機につないだオーディオ機器などのスピーカーで、デジタルラジオ放送を聞く場合

## 1

**テレビ**
**テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。**

**オーディオ**
**オーディオ機器の電源を入れ、オーディオ側で本機をつないだ入力に切り換える。**

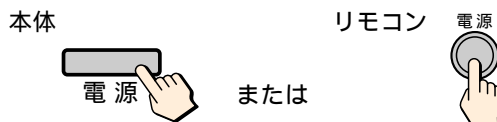
## 2

**本機の電源を入れる。**

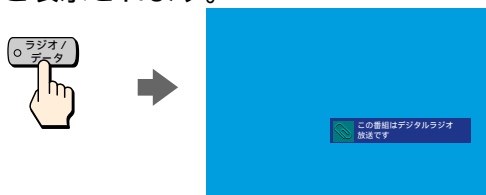
本体

または

リモコン

## 3

**ラジオ/データボタンを繰り返し押して、ラジオに切り換える。**

**テレビ**
ラジオに切り換わるとテレビ画面に「この番組はデジタルラジオ放送です」と表示されます。

テレビ画面

**オーディオ**
ラジオに切り換わると本機の表示窓に「ラジオ」と表示されます。

表示窓

500 CH ラジオ

## 4

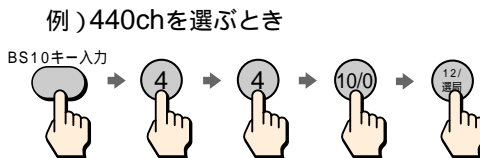
**リモコンを本機に向けてチャンネル+/−ボタンを押し、ラジオチャンネルを選ぶ。**

押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。

**ご注意**
BSテレビになっているときは、ラジオ/データボタンを押して、BSラジオに切り換えてから選んでください。
BSテレビのときに、チャンネル+/−ボタンを押しても、BSテレビのチャンネルしか切り換えられません。

### 3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① BS10キー入力ボタンを押す。
② ①〜⑩までの数字ボタンで、3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ (12/選局)ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）440chを選ぶとき

### 番組ガイドから番組を選ぶには

「番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」(☞57ページ）をご覧ください。
BSラジオを聞いているときは、BSラジオのチャンネルのみの番組表が表示されます。

## 5

**テレビ**
**テレビの+/−ボタンで音量を調節する。**

テレビ音量

**ちょっと一言**
音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

**オーディオ**
**オーディオ機器の音量を調節する。**

# BS独立データを見る

BSテレビやBSラジオの番組に連動して見ることができるBSデータ（☞49ページ）とは別に、BSデータのみを専門に放送するBS独立データがあります。
画面に表示される目次の中から欲しい情報を選んだり、お住まいの地域を設定し（☞26ページ）、地域ごとに特有のニュースなどを受信できます。また、クイズやゲームなど視聴者が参加して楽しめる番組などもあります。

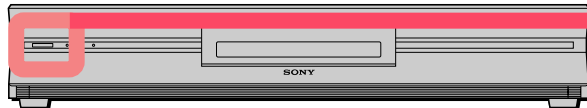
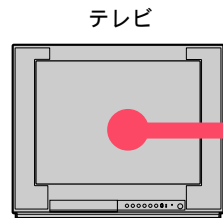
次の放送局が放送を予定しています。
（2000年10月18日現在）

| 放送局 | チャンネル |
|---|---|
| MEGA（メガポート放送） | 900〜909 |
| WNI（ウェザーニュース） | 910〜919 |
| デジキャス（デジタル・キャスト・インターナショナル） | 930〜939 |
| NDB（日本データ放送） | 940〜949 |
| BS955（メディアサーブ） | 950〜959 |
| ARK（日本メディアーク） | 960〜969 |
| BSS（日本BS放送） | 990〜999 |

双方向サービスを受けるためには、登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

**ご注意**

- あらかじめ電話回線の接続（☞18ページ）と設定（☞30ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BS独立データ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。
- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本機の表示窓に「通話」と表示）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

テレビ

**ⓓ（連動データ）ボタン**
BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータを見るときに押します。
（☞49ページ）

**戻るボタン**

**画面表示ボタン**
番組タイトル/チャンネルが表示されます。もう1度押すと、消えます。（番組によっては表示されません。）

**ジャンプボタン**
押すたびに、
**一つ前に見ていたチャンネル**
（ただし、チャンネル＋/－ボタンで選んだチャンネルは除く。）
↕
**今見ているチャンネル**
と切り換わります。

**ラジオ/データボタン**
独立データに切り換えます。
チャンネル＋/－ボタンで選べるチャンネルが、押すたびに、次のように切り換ります。
**BSテレビチャンネル**
↓
**BSラジオチャンネル**
↓
**BS独立データチャンネル**

**↑/↓/←/→決定ボタン**

**カラーボタン**

## 1 テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

**ちょっと一言**
本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。（☞35ページ）

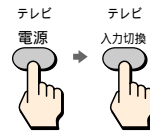
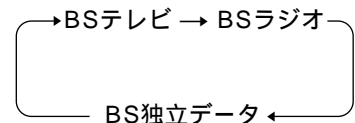
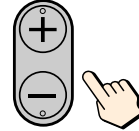
## 2 本機の電源を入れる。

本体

または

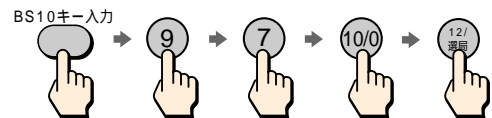
リモコン

## 3 ラジオ／データボタンを繰り返し押して、BS独立データに切り換える。

BSテレビ → BSラジオ → BS独立データ →

## 4 チャンネル＋/－ボタンを押して、BS独立データチャンネルを選ぶ。

押し続けると
チャンネル番号のみ
早く切り換わり、
離すとそのチャンネル
が映ります。

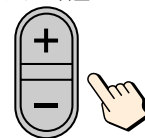
### 3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① BS10キー入力ボタンを押す。
② ①～⑩⑩までの数字ボタンで、BS独立データの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ ⑫選局ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）970chを選ぶとき

### 番組表からBS独立データを選ぶには

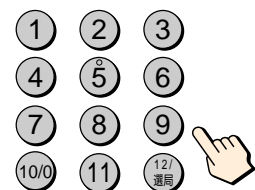
「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞57ページ）をご覧ください。
BS独立データを見ているときは、BS独立データのチャンネルのみ番組表が表示されます。

## 5 音量＋/－ボタンで音量を調節する。

**ちょっと一言**
本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。（☞35ページ）

## 6 画面の指示に従ってリモコンを操作する。

BSデータ番組の指示にしたがって、次のボタンを使ってください。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- ↑/↓/←/→決定ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- ①～⑩ までの数字ボタン（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

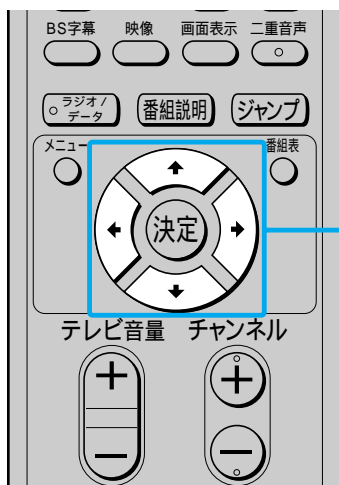
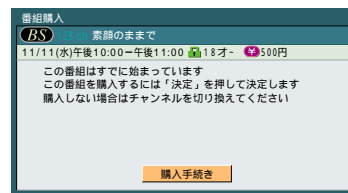
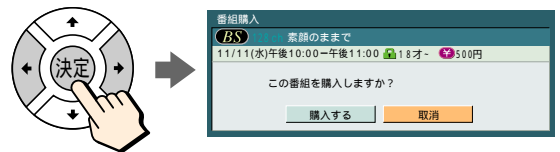
番組を見る／聞く

# ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る

ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。また、一日ずつ契約できるペイ・パー・デイ（PPD）もあります。
ペイ・パー・ビュー（PPV）には、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

**プレビューについて**

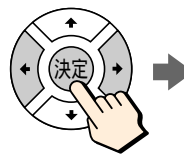
- PPV番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。

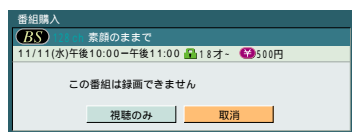
## ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る前に

- 必ず電話回線をつないでください（☞18ページ）。
- BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞28ページ）。
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります（☞31ページ）。

**1** **ペイ・パー・ビューなどの有料番組を選ぶ。**

**2** **←/→で「購入手続き」を選び、決定ボタンを押す。**

**3** **←/→で「購入する」を選び、決定ボタンを押す。**

購入したPPV番組が映ります。

**購入をやめるときは**

←/→で「取消」を選び、決定ボタンを押す。

## こんなメッセージが表示されたら

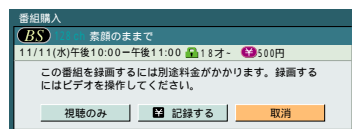
### 「この番組は録画できません」

**購入するときは**

「視聴のみ」を選び、決定ボタンを押す。

**購入をやめるときは**

「取消」を選び、決定ボタンを押す。

### 「この番組を録画するには別途料金がかかります」

録画有料番組となります。「録画する」の前に「¥」マークが付きます。

**見るだけのときは**

←/→で「視聴のみ」を選び、決定ボタンを押す。

**録画するときは**

←/→で「録画する」を選び、決定ボタンを押す。
録画防止信号が解除され、接続したビデオで録画できるようになります。

**購入をやめるときは**

←/→で「取消」を選び、決定ボタンを押す。

### 「ICカードのデータが一杯になったので購入できません 電話線をつなぐと自動的にデータが送られて購入できるようになります」

購入額がカードの上限金額を超えています。
電話回線をつないでください。

### 「購入時間が過ぎているため購入できません」

番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。また、番組の購入可能件数を超えたときにもこの表示が出ます。

### 「光デジタル音声では録音できません」

本機で受信したデジタル音声に、デジタルコピープロテクトがかかっています。本機の光デジタル音声出力端子とつないだMDデッキなどでデジタル録音できません。

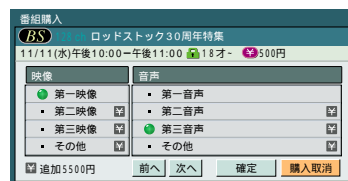
### 「この番組は視聴できません」

番組に視聴不可の制御情報が送られているため、視聴できません。「了解」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押してください。

### 録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

### 追加信号について

PPV番組によっては、最大4種類の映像、最大8種類の音声から切り換えられます。映像/音声を選ぶ画面で、追加したい情報を選んで番組を楽しめます。
なお、「¥」マークの付いた映像、音声などを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

これらの情報は、番組説明画面から信号切換ボタンでも切り換えられます。（☞59ページ）

**ご注意**

購入操作の途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、番組を選び直してからもう一度、「ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」（☞54ページ）の操作を行ってください。



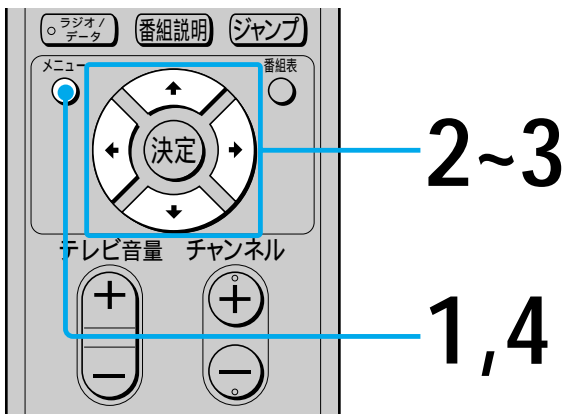
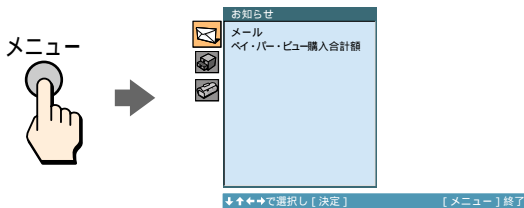
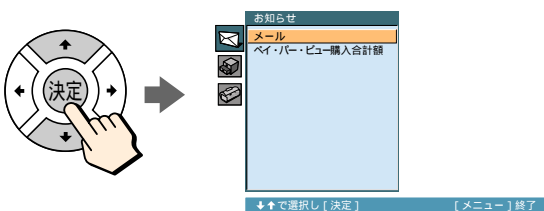
次のページにつづく

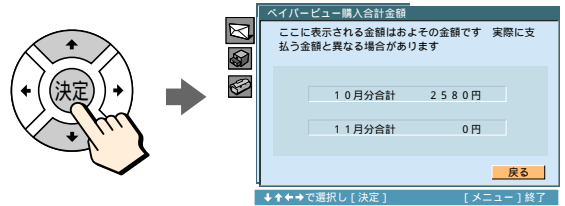
ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る（つづき）

## ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入概算額を見る

先月分と今月分の購入概算額を確認できます。正確な購入合計額については、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。（☞31ページ）

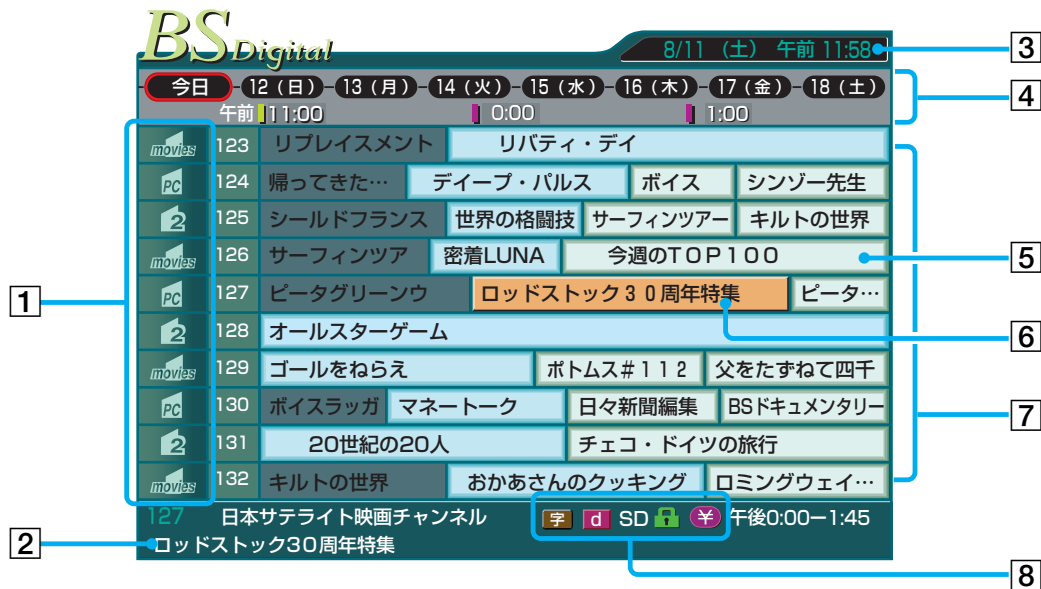
**ご注意**

- 「ペイ・パー・ビュー購入合計金額」にはペイ・パー・シリーズなどの購入金額は含まれません。
- ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。

### 1 メニューボタンを押す。

### 2 ↑/↓で「✉（お知らせ）」を選び、決定ボタンを押す。

### 3 ↑/↓で「ペイ・パー・ビュー購入合計額」を選び、決定ボタンを押す。

購入したペイ・パー・ビュー番組の前月分と今月分の概算額が表示されます。

### 4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］

約1週間先までの番組表（EPG）を見ることができます。
視聴しているBSの番組表が表示されます。例えば、BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

**ちょっと一言**
番組表の情報はBS局から送信する信号に含まれています。



1 **チャンネルロゴ欄**
各BS局のチャンネルのロゴ（マーク）が表示されます。

2 **番組情報欄**
カーソルで選んでいる番組の情報です。

3 **現在時刻**
現在時刻は、放送局からの信号を受けて自動表示されるため、時計合わせは不要です。万一、正しく時刻が表示されていないときは、「リセットボタンについて」（☞68ページ）をご覧ください。

4 **日付・時刻欄**

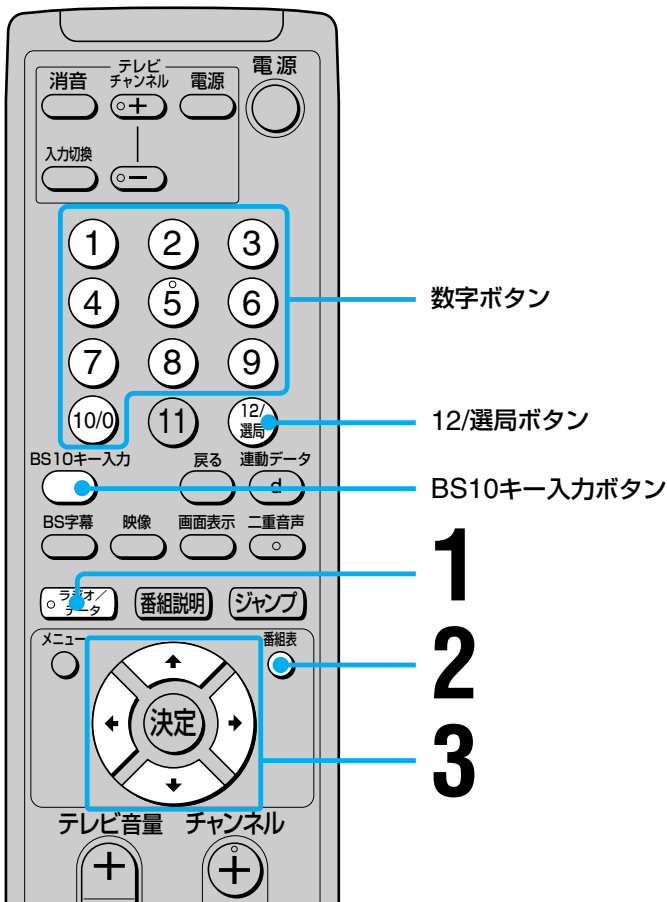
5 **番組の表示のしかた**
1ページ内に、3時間分の番組が表示されます。
- ：現在放送中の番組
- ：すでに終了した番組
- ：まだ始まっていない番組

6 **カーソル**
黄色で表示されている部分がカーソルです。リモコンの↑/↓/←/→で移動します。

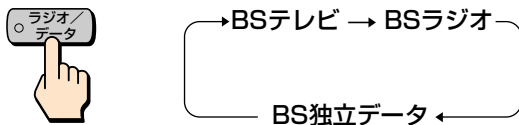
7 **番組タイトル欄**
各番組のチャンネルロゴ、チャンネル番号、タイトルを表示します。また、放送局から、二カ国語放送やニュースなど番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下は、その一例です。
- 二：二か国語放送（☞59ページ）
- S：ステレオ放送（☞61ページ）
- 字：字幕放送（☞63ページ）
- B：圧縮Bモードステレオ放送（☞61ページ）
- N：ニュース番組

8 **マーク表示欄**
- ：マルチチャンネル放送（同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送☞47ページ）です。
- 字：字幕のある放送（☞63ページ）です。
- d：BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータ放送（☞49ページ）です。
- MV：マルチビュー放送（☞62ページ）です。
- SD：標準テレビ放送SD（☞9ページ）です。
- ：視聴が制限されている番組です。（☞46ページ）
- ￥：ペイ・パー・ビュー（PPV）など有料番組です。

**ちょっと一言**
、MV、SDが重なる場合は、、MV、SDの順に表示が優先されます。

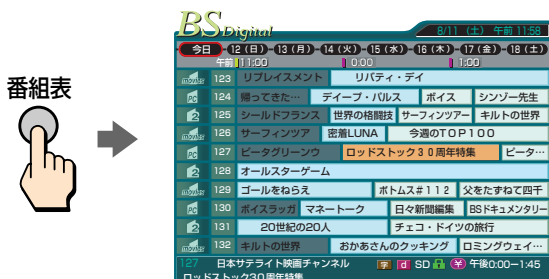
## 番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］（つづき）

### 1 見たい番組表のBSを、ラジオ/データボタンを繰り返し押して選ぶ。

ラジオ/データボタンを押すごとに、選んだ放送に切り換わります。

→BSテレビ → BSラジオ→BS独立データ→（BSテレビへ戻る）

### 2 番組表ボタンを押す。

選んだBSの番組表のみが表示されます。例えば、BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

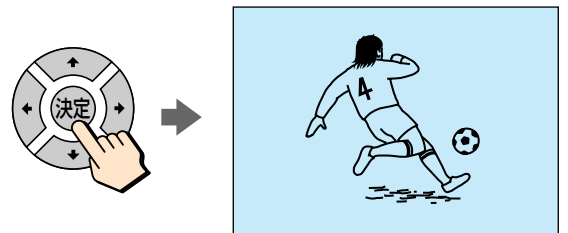
番組表

### 3 ↑/↓/←/→で見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、番組説明画面*が表示されます。

#### ←/→を押し続けると

時刻欄が高速で切り換わり、時間帯を素早く探せます（高速スクロール）。ボタンを離すと、選んだ時間帯の番組表が表示されます。
高速スクロール中は、番組タイトル欄の表示が消えます。

| 選んだ番組 | 決定ボタンを押して表示される画面 |
|---|---|
| 放送中の番組 | 選んだ番組 |
| 終了した番組 | 「すでに終了しました」のメッセージ* |
| まだ始まっていない番組 | 番組説明画面* |

* 受信中の番組は消えるため、本機のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からは、映像信号は出力されなくなります。

#### 特定のチャンネルを中心に番組表を表示したいときは

1 番組表に表示したいチャンネルの3ケタの番号を、①〜⑩/⓪までの数字ボタンで百の位から順に押す。
2 12/選局ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

## 番組表を消すには

もう一度、番組表ボタンを押す。

**ご注意**

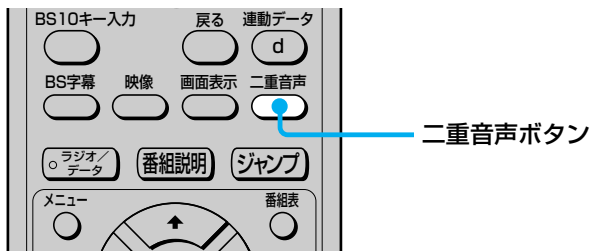
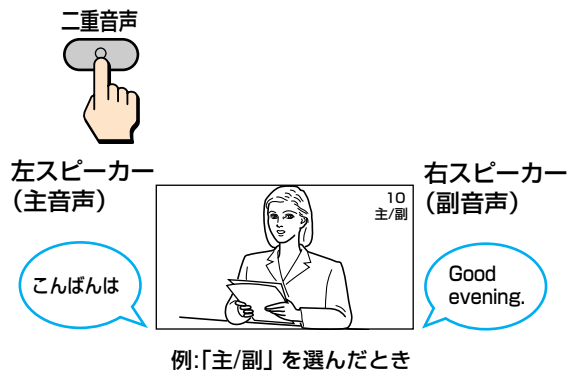
降雨対応放送のときは、番組表は表示されません。

# 音声や映像、データを切り換える

## 二重音声を選ぶ［二重音声ボタン］

二か国語番組など二重音声番組のときに、聞きたい音声を選べます。

### 二重音声ボタンを繰り返し押して選ぶ。

例:「主/副」を選んだとき

| 画面表示 | テレビの左スピーカーの音声 | テレビの右スピーカーの音声 |
|---|---|---|
| 主 | 主音声 | 主音声 |
| 副 | 副音声 | 副音声 |
| 主／副 | 主音声 | 副音声 |

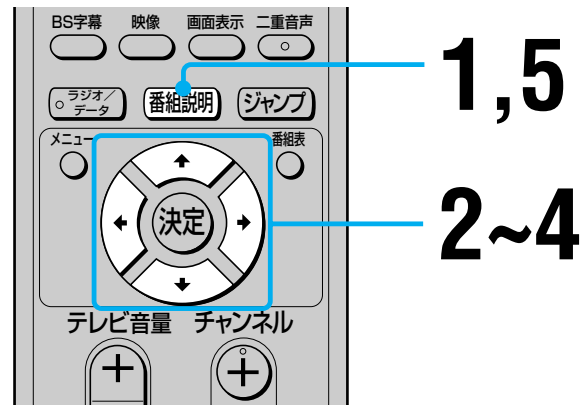
**ご注意**

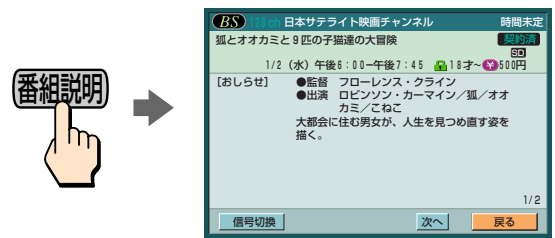
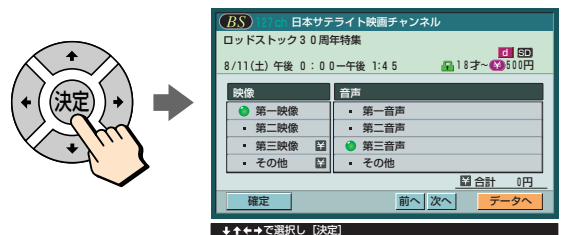
- 二重音声放送がないときは切り換わりません。
- テレビは、本機裏面の音声出力端子（**TVへ**）につないでください。二重音声ボタンで音声を切り換えると、出力される音声（テレビのスピーカーから聞こえる音声）も上の表のように一緒に切り換わるためです。
- 逆に、ビデオは、音声出力端子（**ビデオへ**）につないでください。二重音声ボタンで音声を切り換えても、つねに、左（主）から主音声、右（副）から副音声が出力されます。ビデオで二重音声番組を記録したときは、再生時にビデオのリモコンで聞きたい音声を選ぶことができます。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機裏面の光デジタル音声出力端子からは、つねに主音声と副音声の両方が出力されます。

## 第二音声や第二映像、第二データなどを選ぶ［信号切換］

第二音声がある番組など、番組によっては、映像・音声・データなどの信号を切り換えられます。

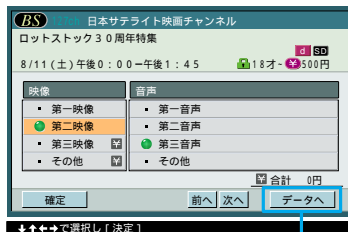
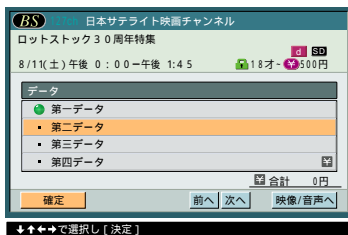
**ご注意**

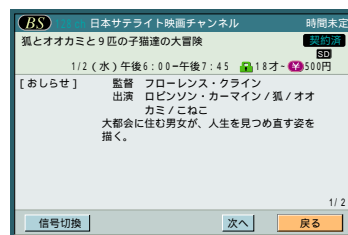
- 切り換えられる信号（第二音声や第二映像、第二データなど）がないときは切り換わりません。
- ビデオへ録画中に信号を切り換えないでください。選んだ信号だけが本機のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）から出力されるためです。

ここでは、例として、第二音声を選びます。第二映像や第二データなどについても、同じように切り換えられます。

### 1 番組説明ボタンを押す。

### 2 ↑/↓/←/→で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

## 音声や映像を切り換える（つづき）

### 3 ↑/↓/←/→で切り換えたい信号を選び、決定ボタンを押す。

選んだ信号（第二映像や第二音声、第二データなど）に切り換わります。

**「データ」へ**
データの信号切換の画面を表示する。（選んで決定したときは、下の画面が出る）

### 4 ↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

番組説明画面に戻ります。

### 5 番組説明ボタンを押す。

視聴中のBS番組に戻ります。

**ご注意**

- チャンネルを切り換えたとき（例：第二音声に設定中）は、お買い上げ時の設定（第一音声）に切り換わります。
- 切り換えた信号（例：第二音声に設定したとき）の番組が終了し、次の番組にも同じ信号（この例では第二音声）があるときは引き続き、その信号を受信します。次の番組では第二音声が購入対象（¥マークが表示される）になる場合があります。このときは、59ページの手順1に沿って、他の購入対象でない信号（例えば第一音声）を選んでください（もちろん、第二音声を購入して引き続き視聴することもできます）。
  ただし、次の番組に切り換えた信号がないときには、お買い上げ時の設定（第一音声）に切り換ります。
- 信号を切り換えることにより、購入（¥マークが表示される）が必要になることがあります（☞54ページ）。

## BSデジタル放送の音声について

BSデジタル放送には、次のような音声モード
があります。

**モノラルモード**

通常のニュース放送などに使われています。

**ステレオモード**

音楽番組などに使われています。

- ステレオ
- ステレオ（高音質モード：番組説明画面（☞46ページ）で、圧縮Bモードが右上の番組タイトル欄に表示されます。）

**サラウンドステレオ**

映画などに使われています。

- サラウンドステレオ
  （表示窓に「5.1CH」と表示されていないとき）
- 5.1chサラウンドステレオ
  （表示窓に「5.1CH」と表示されているとき）

### テレビ（モノラルテレビは除く）のスピーカーで音声を聞くとき

5.1ch（チャンネル）サラウンドステレオなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

（L：左フロント、R：右フロント、RL：左リア、RR：右リア、C：センター）

| 画面表示（右上） | テレビの左スピーカーの音声 | テレビの右スピーカーの音声 |
|---|---|---|
| 表示なし | モノラル | モノラル |
| ステレオ | ステレオ（L） | ステレオ（R） |
| ステレオ（高音質） | ステレオ（L） | ステレオ（R） |
| サラウンドステレオ（表示窓に「5.1CH」と表示されていないとき）* | ステレオ（L+RL+C） | ステレオ（R+RR+C） |
| サラウンドステレオ（表示窓に「5.1CH」と表示されているとき）* | ステレオ（L+RL+C） | ステレオ（R+RR+C） |

* サラウンドステレオと5.1chサラウンドステレオは、テレビから聞こえる音声は同じです。

### 本機の音声5.1CH出力端子につないだオーディオ機器（☞39ページ）を通して音声を聞くとき（サラウンドステレオ）

「（各種切換）」メニューで、「5.1ch→2ch切換」を選び、本機の音声5.1CH出力端子から出る音声を「5.1ch」（お買い上げ時の設定）と「2ch」に切り換えられます。

### 「5.1ch」（お買い上げ時の設定）を選んだときは

| 画面表示（右上） | 本機5.1ch出力端子からの音声信号の有無 左フロント | センター | 右フロント | 左リア | 右リア | ウーファー |
|---|---|---|---|---|---|---|
| モノラル | ○ | × | ○ | × | × | × |
| ステレオ | ○ | × | ○ | × | × | × |
| ステレオ（高音質） | ○ | × | ○ | × | × | × |
| サラウンドステレオ（表示窓に「5.1CH」と表示されていないとき） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| サラウンドステレオ（表示窓に「5.1CH」と表示されているとき） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：音声が出力されている
×：音声が出力されていない

### 「2ch」を選んでいるときは

すべての音声を通常のステレオ音声（2ch）に変換し、本機後面の音声5.1CH出力端子の左フロント端子と右フロント端子からのみ出力します。音声5.1CH出力端子センター/左リア/右リア/ウーファー端子からは、音声が出力されません。

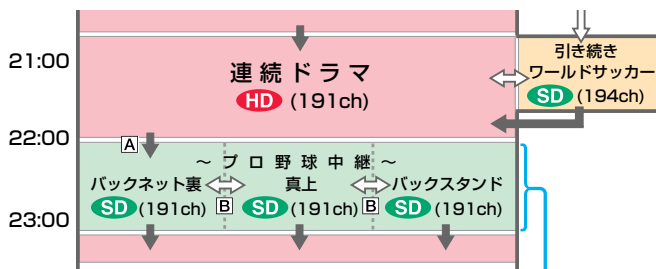
番組を見る／聞く

# マルチビュー放送を見る [映像ボタン]

標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用したマルチビュー放送が行われています。(☞42ページ)

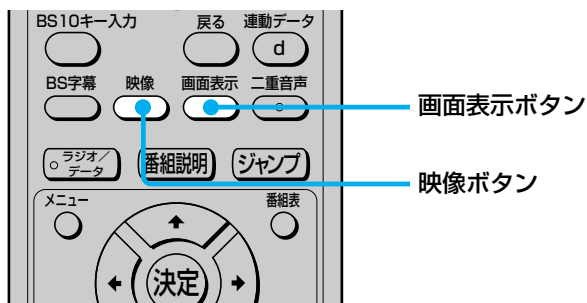
マルチビュー放送とは、生中継の番組などで、最多で3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。

それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。

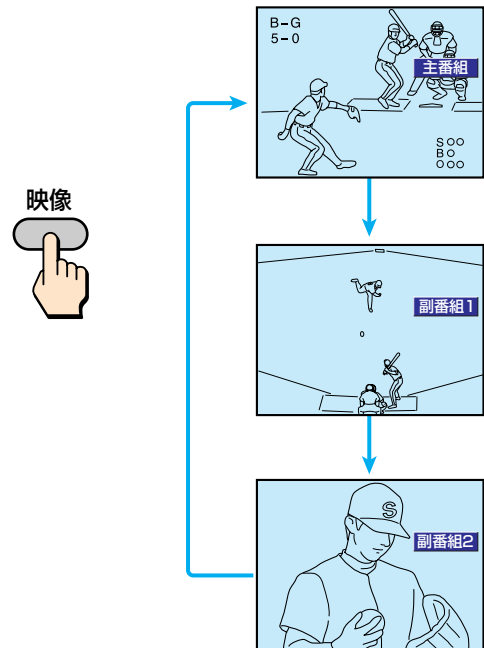
例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

A マルチビュー放送開始
…主画面へ自動的に移行します。

B マルチビュー放送中の選局
…映像ボタンで切り換えます。

### 現在視聴中の放送局でマルチビュー放送が始まると

画面右端に「マルチビュー放送中」が数秒間表示されます。

**1** マルチビュー放送を行っているチャンネルを選ぶ。

**2** 映像ボタンを押す。

押すたびに、映像や音声が切り換わります。

### マルチビュー放送を行っているか確認するときは

**画面表示ボタンを押す。**

マルチビュー放送を行っているときは、「主番組（または、副番組1/副番組2）」と表示されます。

また、以下のときもマルチビュー放送が行われています。

- 「マルチビュー放送中」などと画面に表示されるとき
- 番組表（☞57ページ）で、MVが表示されるとき

**ご注意**

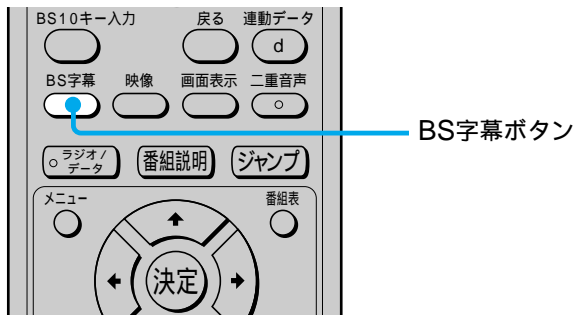
映像ボタンを押して映像が切り換わるときに、降雨対応放送（☞46ページ）に切り換わる場合があります。

# 字幕放送を見る

## [BS字幕ボタン]

字幕放送は最大2言語の放送が行われます。
字幕放送が行われているときに、お買い上げ時は「第1言語」の字幕が自動的に表示されるように設定されています。
字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

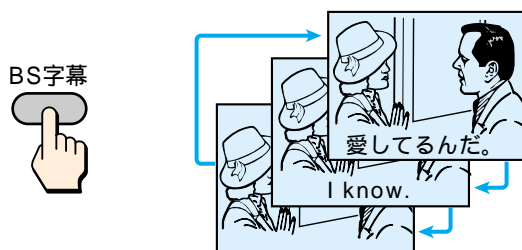
**1** **字幕放送を行っているチャンネルを選ぶ。**

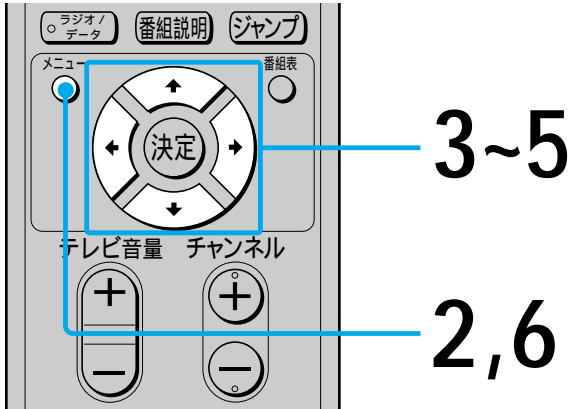
**2** **BS字幕ボタンを押す。**
押すたびに、字幕が切り換わります。

**字幕放送を行っているか確認するときは画面表示ボタンを押す。**
字幕放送を行っているときは、画面右上に「字幕有」と表示されます。

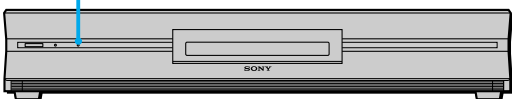
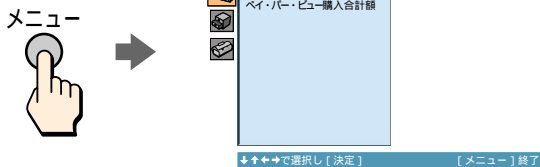
**ご注意**

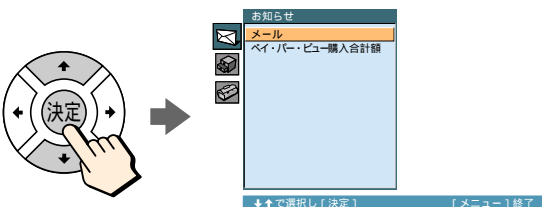
- 本機のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からは、字幕放送の字幕は出力されないため、ビデオへは録画できません。
- BS字幕ボタンを押して消そうとしても、放送局側で字幕を消せない設定にしている番組もあります。

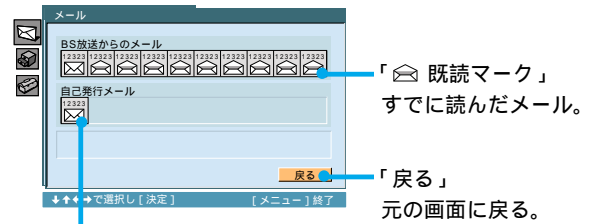
**ちょっと一言**

- 字幕言語が1種類のみ用意されている場合は、BS字幕ボタンを押すたびに、字幕が入/切されます。
- 「(各種切換)」メニュー画面の「BS字幕入切」でも設定できます。

# 放送局などからのお知らせを見る

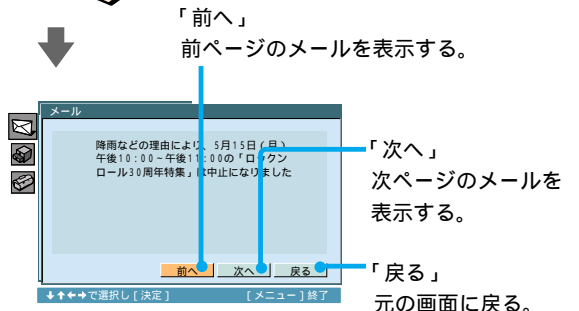
放送局や本機から、お客様宛てのお知らせ（メール）を見られます。

## 1 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

新しいメールや未読のメールがあるときは、本体の「メール」ランプが点灯します。

## 2 メニューボタンを押す。

## 3 ↑/↓で「（お知らせ）」を選び、決定ボタンを押す。

## 4 ↑/↓で「メール」を選び、決定ボタンを押す。

「放送局からのメール」と「自己発行メール」（本機からのメール）がそれぞれ10通まで一覧表示されます。

**ご注意**

- 10通を超えると、未読・既読に関係なく、古いメールから順に削除され、新しいメールが追加されます。
- メールはお客様自身で削除できません。

## 5 ↑/↓/←/→で見たいメールを選び、決定ボタンを押す。

## 6 読み終えたら、メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはDNC（デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター）、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

## BSについて

<table>
<tr><th colspan="2">症状</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="2">映らない／乱れる</td><td>アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。</td><td>• 一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。BSデジタル対応の推奨アンテナを使ってください（☞5ページ）。また、お手持ちのBSアンテナについては、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。<br>• アンテナの前方に障害物がないところに設置してください。<br>• アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。<br>• アンテナの大きさが適切かを確認してください。<br>• アンテナの方向・角度を調整してください（☞25ページ）。<br>• 取付金具は水平な位置に取り付けてください。<br>• 仰角固定ボルトをしっかり固定してください。<br>• 仰角の数値は、お住まいの地域の数値に合っていますか？<br>• アンテナとチューナーは、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（☞5ページ）。<br>• 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。</td></tr>
<tr><td>BSが映らない/画像が乱れている。</td><td>アンテナを直接つないでいる場合<br>• ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。<br>• 「(初期設定)」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ設定」を「入」または「オート」にしてください（☞24ページ）。<br>• アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。<br>• アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。<br>• アンテナの大きさが適切かを確認してください。<br>• アンテナの方向・角度を調整してください（☞25ページ）。<br>マンションなどの共同受信システムの場合<br>• ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。<br>• サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSを分波してください（☞7ページ）。<br>• 「(初期設定)」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ設定」を「切」にしてください（☞7ページ）。<br>複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合<br>• アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。<br>その他<br>• 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。<br>– お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社（☞41ページ）の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき<br>– BSアンテナに雪が付着しているとき<br>– 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞25ページ）<br>• 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。<br>• BS専用のケーブルを使ってください（☞5ページ）。<br>• 加入申し込みが必要なBSチャンネルもあります（☞31ページ）。</td></tr>
</table>



次のページにつづく

| 症状 | | 対処のしかた |
|---|---|---|
| 映らない／乱れる | チャンネルが映らない | • B-CASカードは正しい向きで入っていますか？（☞28ページ）<br>• ICカード挿入ふたは閉まっていますか？（☞28ページ）<br>• 放送日や時間を確認してください。<br>• 受信契約（加入申し込み）をしていますか？（☞31ページ）<br>• 電源コードをしっかりつないでください。<br>• 長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。 |
| | チャンネル＋/－ボタンで選局できない。 | • 本機では、BSテレビとBSラジオ、BS独立データの、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっている放送の種類をご確認ください（☞58ページ）。<br>• ①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないとチャンネル＋/－ボタンで選局できません（☞32ページ）。<br>• マルチチャンネル放送の臨時放送（☞47ページ）や緊急放送（☞48ページ）は選局できません。 |
| | 映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。 | • 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り替わる場合があります。ひんぱんに切り替わるときは、「（初期設定）」メニューの「BS設定」で、「降雨対応放送」を「切」にしてください（☞46ページ）。 |
| | チャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。 | • デジタルハイビジョン放送HDと標準テレビ放送SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。 |
| 番組表に表示されない | 画面の横縦比がおかしい。 | • テレビの横縦比に画像を合わせてください（☞21ページ）。 |
| | 番組表に表示されないチャンネルがある。 | • 本機では、BSテレビとBSラジオ、BS独立データで、それぞれの番組表が表示されます。ご覧になっている番組表をご確認ください（☞57ページ）。<br>• リモコンの▲/▼で、番組表を上下に送って表示したいチャンネルを選んでください。<br>• ①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないと番組表に表示されません（☞32ページ）。 |
| 音声が乱れる | 通常のテレビ放送を見ているときに画面にビート（縞状のノイズ）が出る。 | • テレビのアンテナの接続には75Ω同軸アンテナケーブルをお使いください。<br>• チューナーやケーブルを、テレビのアンテナケーブルからできるだけ離してください。 |
| | 音声が出ない/音声がおかしい。 | • 音量の調節は、リモコンをテレビに向けて操作してください。<br>• 二か国語放送など二重音声番組で、副音声になっていませんか？（☞59ページ）<br>• 第二音声が選ばれていませんか？（☞59ページ） |
| 番組の購入などができない | ペイ・パー・ビュー（PPV）が購入できない。 | • 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください（☞18〜20ページ）。<br>• 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください（☞30〜31ページ）。<br>• 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。<br>• 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。 |

## メニューやリモコンについて

| 症状 | | 対処のしかた |
|---|---|---|
| メニューが選べない／表示が消えない | **メニューで選べない項目がある。** | • 黒く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。 |
| | **「ICカードとのアクセスが成立しません」「ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。** | • B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください（☞28ページ）。<br>入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞31ページ）。<br>• B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンター（☞31ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。<br>• 付属のB-CASカード以外は使えません（☞28ページ）。 |
| | **電源ランプが点滅する。または、「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」と表示される。** | **BSアンテナをつないでいるときは**<br>①6ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。<br>②表示が消えたときは、もう一度、受信設定してください（☞25ページ）。そのときに、「（初期設定）」メニューの「BS設定」で、「BSアンテナ設定」を「入」または「オート」にしてから行ってください。<br><br>**マンションなど共同受信システムのときは**<br>①7ページ下の手順にしたがって操作してください。<br>②それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。 |
| リモコンが働かない | **リモコンのボタンを押してもチューナーやテレビが動作しない。** | • リモコン用の乾電池が古くなっていませんか？新しいものと取り換えてください。テレビが動作してもチューナーが動作しないときも、乾電池が古くなってきています。<br>• 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。<br>• チューナーを操作するには、リモコン発光部をチューナーの受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビの受光部に向けてください。<br>• リモコン受光部（☞74ページ）に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはチューナーの位置を調整してください。<br>• リモコンのメーカー登録番号を、操作するテレビのメーカー登録番号と合わせてください（☞35ページ）。 |

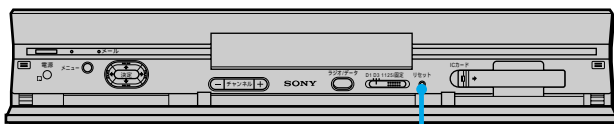
## その他

| 症状 | | 対処のしかた |
|---|---|---|
| その他 | **電源スタンバイ時に本体があたたかく感じられる。** | • 故障ではありません。これは衛星からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためです。（このとき表示窓には「データ取得中」と表示されます。）<br>本機は風通しの良い場所で使用し、ビデオなど他の機器を直接重ねて置かないことをおすすめします。 |
| | **本体の通風孔から音が出る。** | • 使用中、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回転します。回転音が出ますが、故障ではありません。 |

## リセットボタンについて

過大な静電気や落雷による電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなるときがあります。この場合や以下のような症状が発生した場合は、本体前面のパネルを開けて、リセットボタンをペンの先などで押してください。
**本体がリセットされて、正常に動作するようになります。**

また、リセット後に異常が改善されない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。
- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなった。
- 番組表やチューナーの表示窓の現在時刻が正確でない。

**本機前面**

## 電源スタンバイ時のデータ取得について

電源スタンバイ時に、本機の電源が自動的に入り、ファンが回転する場合があります。
これは衛星からのデータを取得するための動作です。故障ではありません。
データ取得が終わったら、自動的にスタンバイ状態に戻り、ファンの回転も止まります。

# 自動で衛星ダウンロードする機能について

衛星ダウンロードとは、BSから送信されてくるソフトウェア書き換え用のデータ信号を本機が受信し、**電源スタンバイ中（本体の電源ランプが赤く点灯中）に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。**ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、BSデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

**お買い上げ時は、本機が衛星ダウンロードを自動で行う設定（「衛星ダウンロード：オート」）になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、BSデジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。**

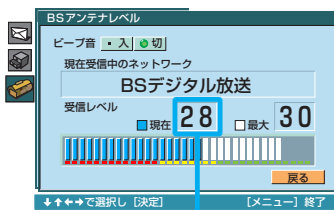
**ご注意**

- 手動では衛星ダウンロードできません。
- 衛星ダウンロードを行わないようには設定できます（☞71ページ）。ただし、BSデジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動で衛星ダウンロードできる設定のまま、お使いいただくよう、強くお勧めします。

## 次の二つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動で衛星ダウンロードが行われます。

● **BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっている。**

20未満のときは、衛星ダウンロードが正しく行われません。アンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。

BSアンテナの「現在の受信レベル」は、「（初期設定）」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナレベル」を選ぶと、画面に表示されます。

20以上であれば、衛星ダウンロードが正しく行われます。

● **「衛星ダウンロード：オート」の設定*になっている。**

「衛星ダウンロード：しない」に設定されていると、衛星ダウンロードが行われません。

なお、「衛星ダウンロード」設定は、「（初期設定）」メニューで「BS設定」を選び、「衛星ダウンロード」を選ぶと、画面に表示されます。

* お買い上げ時の設定です。

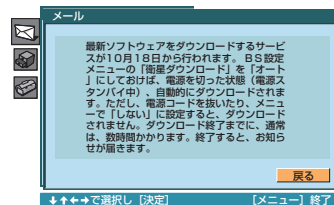
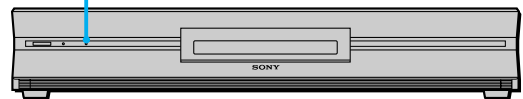
# 衛星ダウンロードの流れについて

## 衛星ダウンロードが行われるときは

放送衛星（BS）からソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信されてきたときは、本体のメールランプが点灯し、次のような**「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが届きます。**

文面は異なる場合があります。

その他

次のページにつづく

## 自動で衛星ダウンロードする機能について（つづき）

### 「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは

**1** 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

**2** メニューボタンを押して、メニューを出す。

**3** ↑/↓で「✉(お知らせ)」を選び、決定ボタンを押す。

**4** ↑/↓で「メール」を選び、決定ボタンを押す。

**5** ↑/↓/←/→で新しいメールを選び、決定ボタンを押す。
「衛星ダウンロードのお知らせ」のときは、☞69ページのような内容のメールが表示されます。

**6** メールを読んだ後、メニューボタンを押して、メニューを消す。

## 衛星ダウンロードの実行中は

**衛星ダウンロードは電源スタンバイ時（本体の電源ランプが赤く点灯しているとき）にのみ、自動的に行われます。**
電源スタンバイ中、数時間ごとに、衛星から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。
また、衛星ダウンロード中は、本体の表示窓に「データ取得中」と表示されます。

本体表示窓　データ取得中

**ご注意**

衛星ダウンロード中は、電源の入/切をしたり、電源コードを抜いたりしないでください。衛星ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

### 衛星ダウンロードについてのQ&A

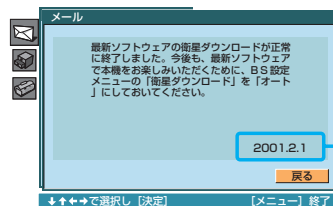
**「衛星ダウンロードには、どれくらい時間がかかるの？」**
ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、数時間ごとに送信されます。そのため、約3時間くらいの余裕をみてください。

**「1回目の信号でうまく衛星ダウンロードできなかったら？」**
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

**「電源コードを抜いておくと衛星ダウンロードされないの？」**
電源コードが抜かれているときは、衛星ダウンロードは行われません。

**「衛星ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」**
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

## 衛星ダウンロードが正常に終了すると

「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、その代わりに、**「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届きます。**

**ちょっと一言**
新しく「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが送られてくると、その代わりに「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールは、自動的に削除されます。

**「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届かないときは**
まず、次のことをご確認ください。
- BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっていますか。
- 電源スタンバイ状態になっていましたか。

それでも、メールが届かないときは、お買い上げ店か、DNC（デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター）へご相談ください。

### 「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールを確認したいときは

『「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは』と同じ手順で行ってください。

**ダウンロードの設定を変えるときは**

お買い上げ時は、本機が衛星ダウンロードを自動で行う設定（「衛星ダウンロード：オート」）になっています。これは、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、BSデジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただくためです。

そのため、**通常は設定を変えることなく、「オート」のままで、お使いいただくことをお勧めします。**

衛星ダウンロードを行わない設定（「衛星ダウンロード：しない」）にすると、BSデジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 ↑/↓で「衛星ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す。
5 ↑/↓で設定し、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

# 主な仕様

| | |
|---|---|
| 受信方式 | BSデジタル放送方式 |
| 受信チャンネル | BSデジタルテレビ、BSラジオ、BS独立データの各チャンネル |
| 対応周波数 | 1022～1336 MHz |
| 対応ローカル周波数 | 10.678 GHz |
| アンテナ入力 | 75 Ω、F型コネクター（コンバータ電源出力DC15 V、最大 4 W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り替え） |
| 映像出力（テレビ用） | ピンジャック 1Vp-p 75 Ω |
| S2映像出力（テレビ用） | ミニDIN 4ピン<br>Y：1 Vp-p 75 Ω、C：0.286 Vp-p 75 Ω |
| 映像出力（ビデオ用） | ピンジャック 1Vp-p 75Ω |
| S映像出力（ビデオ用） | ミニDIN 4ピン<br>Y：1 Vp-p 75 Ω、C：0.286 Vp-p 75 Ω |
| D1/D3/1125i固定映像出力 | 14ピンマルチコネクター<br>Y：1 Vp-p（0.3 V 負同期付き）<br>Cb/Cr：± 350 mVp-p 出力インピーダンス 75 Ω |
| 音声出力 | ステレオ、ピンジャック<br>（テレビ用、ビデオ用各1系統）<br>5.1ch出力、ピンジャック<br>最大出力レベル 2.0 Vrms<br>出力インピーダンス 1 kΩ以下 |
| モデム通信速度 | 2400 bps |
| 使用温度 | 0～40 ℃ |
| 電源 | AC100 V，50/60 Hz |
| 消費電力 | 約27 W（スタンバイ時消費電力1 W以下*）<br>*メニュー表示窓設定で「省電力」に設定時 |
| 最大外形寸法 | 430 × 77 × 304.5 mm<br>（幅×高さ×奥行き）（最大突起部含む） |
| 本体質量 | 約 4.0 kg |

**付属品**

- 電源コード（1）
- 映像/音声コード（1）
- テレホンコード（10m）（1）
- モジュラーテレホンコードカプラー（1）
- リモコン RM-J324D（1）
- 単3型乾電池（2）
- BSデジタル用ICカード（B-CASカード）（1）とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）
- 取扱説明書（1）
- 安全のために（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- ソニー用お客様ご登録カード（1）
- 保証書（1）

- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- このBSデジタルチューナーは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますがご了承ください。
- 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名　DST-BX100
認証番号　A00-0502JP
　　　　　L00-0130

# 保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
ご不明な点については、DNC（デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター）にお問い合わせください。
電話：(03) 3762-1109（年中無休）

**それでも具合の悪いときはサービスへ**

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
各BS局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターやB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

**部品の交換について**

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社はBSデジタルチューナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

**ご相談になるときは、次のことをお知らせください。**
**型名：** BSデジタルチューナー DST-BX100
**故障の状態：できるだけくわしく**
**お買い上げ年月日：**

| **お買い上げ店**<br>**TEL.** |
|---|
| **お近くのサービスステーション**<br>**TEL.** |

This BS digital tuner is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# 用語集

## 五十音順

**ア行**

**アンテナレベル**（☞25ページ）
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、アンテナの向きや角度、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

**インターレース（飛び越し走査）**（☞9ページ）
例えば標準テレビ放送SDでは、有効走査線480本のうち、まず奇数番目の走査線（240本）を1/60秒かけて描き、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（240本）を描き、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

**カ行**

**緊急放送**（☞48ページ）
標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

**降雨対応放送**（☞46ページ）
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り替わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

**サ行**

**字幕放送**（☞63ページ）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

**走査線**（☞9ページ）
テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

**タ行**

**デジタルハイビジョン放送HD**（☞9ページ）
1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

**ハ行**

**ハイビジョン放送（☞2ページ）**
BSアナログでのBS9チャンネル（NHKハイビジョン）の放送です。BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送HDではありません。

**標準テレビ放送SD（☞9ページ）**
525pと525iの画像方式があり、525iは現行テレビ放送と同等の画質です。

**プログレッシブ（順次走査）（☞9ページ）**
例えば標準テレビ放送SDでは、飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1コマ目で480本全部の有効走査線を順番どおりに描き、次のコマも同じ場所を480本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

**マ行**

**マルチチャンネル放送（☞47ページ）**
標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する「タイプ1」と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う「タイプ2（臨時放送）」があります。

**マルチビュー放送（☞62ページ）**
標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。生中継の番組などで、3台のカメラからの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。

**ヤ行**

**有効走査線数（☞9ページ）**
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBSアナログ放送および標準テレビ放送SDでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。現行のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン放送HDでは、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

**ラ行**

**臨時放送（☞47ページ）**
標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

## アルファベット・数字順

**B**

**BSアナログ放送（☞2ページ）**
従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル（NHK衛星第一/第二、NHKハイビジョン、WOWOW ）と、独立音声ラジオ放送1チャンネル（St. GIGA）です。

**BSデジタル放送（☞41ページ）**
2000年12月に本放送開始の放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。
くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

**D**

**D端子（☞10ページ）**
BSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。D映像入力端子付きのテレビなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号をやりとりできます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
**本機にはD1/D3映像出力端子が付いています。**
- D1端子:525i（480i）の信号に対応
- D2端子:525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子:525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
  本機では 750p の画像方式を 1125i の画像方式に変換して表示します。

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。
本機では750pの画像方式を1125iの画像方式に変換して出力します。

**E**

**EPG（☞57ページ）**
「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、放送局から送信される電子番組案内（タイトルや番組説明、放映時間など）のことです。

**I**

**ICカード（B-CASカード）（☞28ページ）**
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。
チューナー本体のID番号やチャンネルの契約、購入内容などの情報がICカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

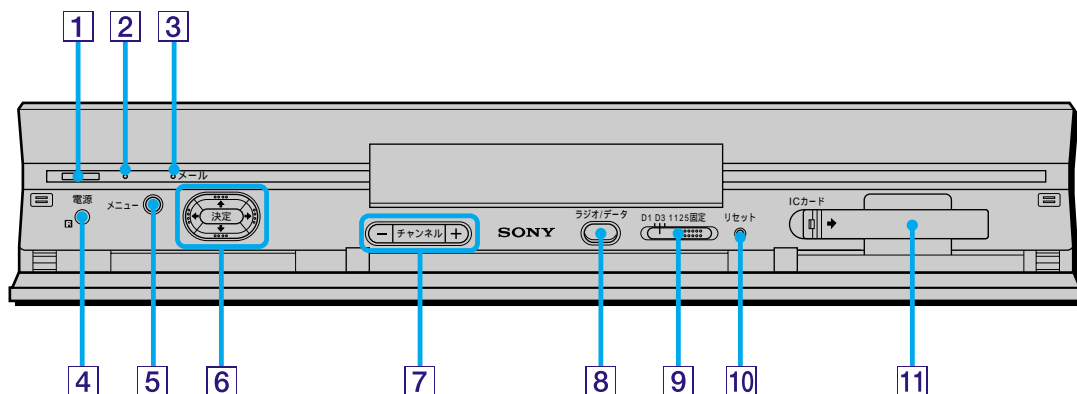
**P**

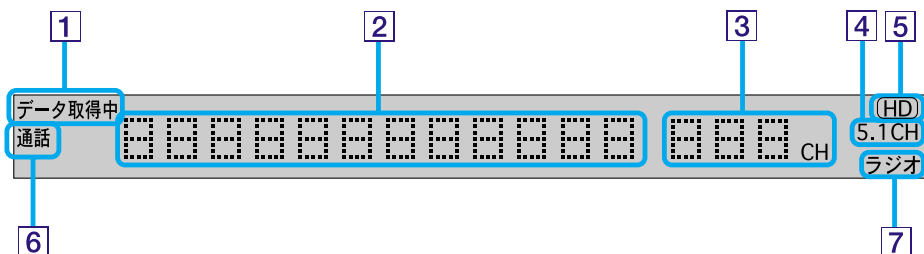
**PPV（ペイ・パー・ビュー）（☞54ページ）**
「見るたびに支払う」という意味で、一回視聴するごとに購入する番組のことです。

**数字**

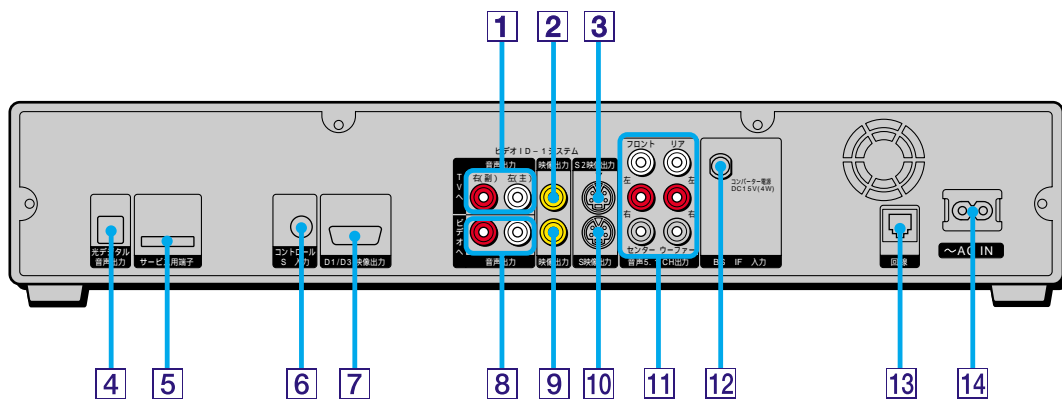
**5.1chサラウンドステレオ（☞61ページ）**
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンドステレオ方式です。
本機の音声5.1CH出力端子に5.1ch入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドステレオの音声を楽しめます。

# 各部の名前

## 本体前面部

1 **電源ボタン（☞21ページ）**
2 **電源ランプ**
3 **メールランプ（☞64ページ）**
4 **リモコン受光部**
5 **メニューボタン（☞21ページ）**
6 **↑/↓/←/→/決定ボタン（☞21ページ）**
7 **チャンネル＋/－ボタン（☞45、51、53ページ）**
8 **ラジオ/データボタン（☞51、53ページ）**
押すたびに、
→BSテレビチャンネル → BSラジオチャンネル → BS独立データチャンネル →
と切り換ります。
9 **映像出力切換（D1/D3/1125i固定）スイッチ（☞10ページ）**
10 **リセットボタン（☞68ページ）**
11 **ICカード挿入口（☞28ページ）**

## 表示窓

1 **データ取得中表示（☞68ページ）**
2 **メッセージ/アンテナレベル表示（☞26ページ）**
3 **チャンネル表示（☞51ページ）**
4 **5.1CH表示（☞61ページ）**
5 **HD表示**
6 **通話表示（☞18ページ）**
7 **ラジオ表示（☞51ページ）**

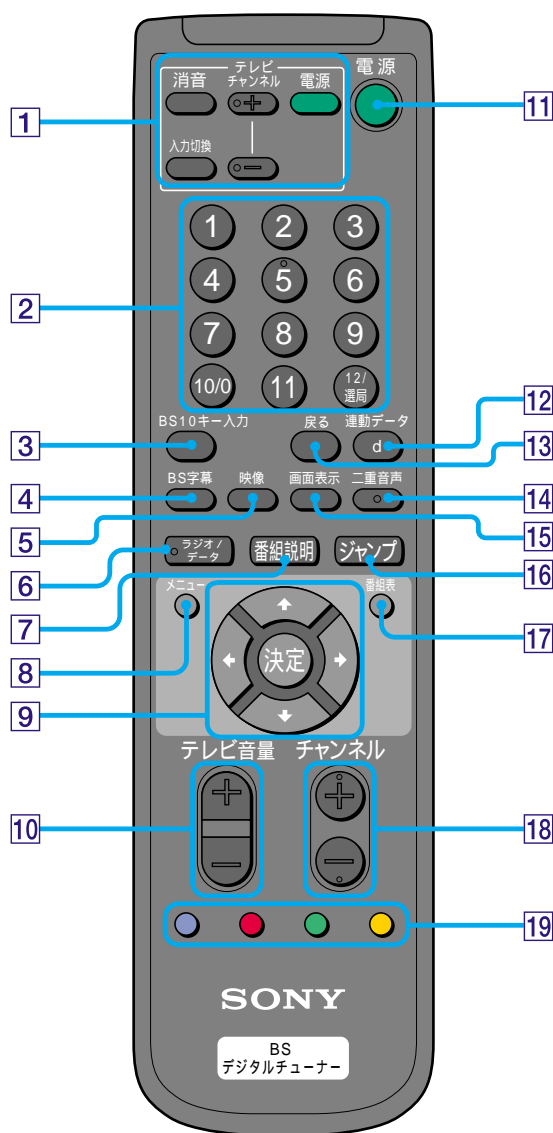
**表示窓の明るさが気になるときは**
「（各種切換）」メニューで、「表示窓の明るさ」を「省電力」にしてください。表示窓が暗くなり、電源を切ると、表示もすべて消えます。
お買い上げ時の「明るい」のときは、電源を切ったときに日付と時刻が表示されます。

# 本体後面部

1 **音声出力端子**（TV**へ**）（☞11**ページ**）
2 **映像出力端子**（TV**へ**）（ID-1**システム**）
（☞17**ページ**）
3 S2**映像出力端子**（TV**へ**）（ID-1**システム**）
（☞14**ページ**）
4 **光デジタル音声出力端子**（☞40**ページ**）
5 **サービス用端子**
6 **コントロール**S**入力端子**（☞11**ページ**）
7 D1/D3**映像出力端子**（☞11**ページ**）

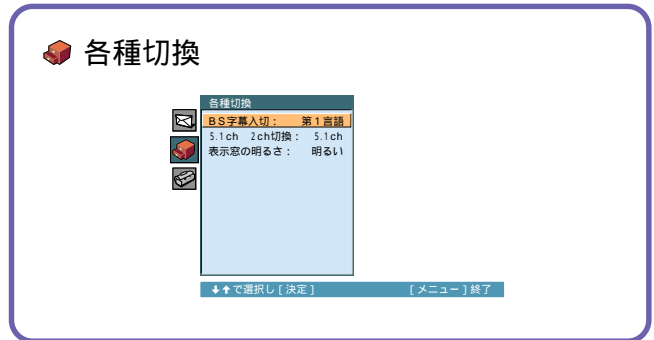
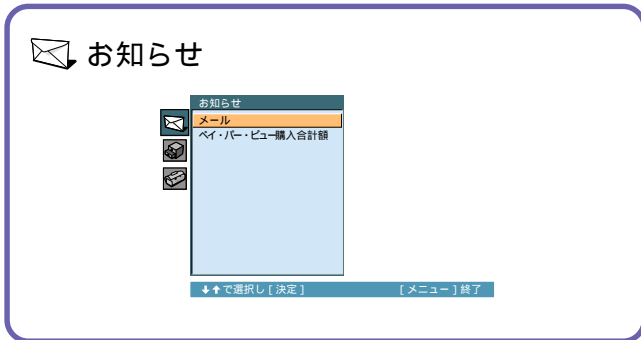
8 **音声出力端子**（**ビデオへ**）（☞8**ページ**）
9 **映像出力端子**（**ビデオへ**）（ID-1**システム**）
（☞8**ページ**）
10 S**映像出力端子**（**ビデオへ**）（ID-1**システム**）
（☞8**ページ**）
11 **音声**5.1CH**出力端子**（☞39**ページ**）
12 BS IF**入力端子**（☞5**ページ**）
13 **回線端子**（**モジュラージャック**）（☞19**ページ**）
14 **〜**AC IN（**電源入力**）**端子**（☞21**ページ**）

ID-1**方式**（**ビデオ**ID-1**システム**）
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のテレビにつなぐと、ID-1方式の画像となります。

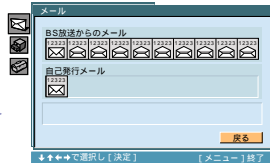
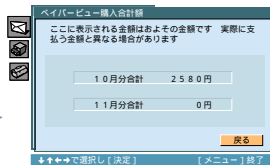
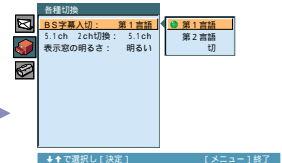
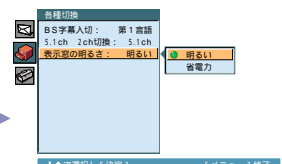
S2**方式**（S2**映像**）
S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。
本機は、S2方式に対応しています。
S2映像入力端子が付いたテレビにつなぐと、S2方式の画像となります。

## リモコン

1 テレビ用ボタン（☞35ページ）
2 数字ボタン（☞44、48、50、52ページ）
3 BS10キー入力ボタン（☞44、48、50、52ページ）
4 BS字幕ボタン（☞63ページ）
5 映像ボタン（☞62ページ）
6 ラジオ/データボタン（☞50、52、58ページ）
7 番組説明ボタン（☞46ページ）
8 メニューボタン（☞21ページ）
9 ↑/↓/←/→/決定ボタン（☞21ページ）
10 テレビ音量＋/－ボタン（☞35、44、50、52ページ）
11 電源ボタン（☞21ページ）
12 ⓓ（連動データ）ボタン（☞49、52ページ）
13 戻るボタン（☞49、52ページ）
14 二重音声ボタン（☞59ページ）
15 画面表示ボタン（☞44、48、50、52ページ）
16 ジャンプボタン（☞44、50、52ページ）
17 番組表ボタン（☞57ページ）
18 チャンネル＋/－ボタン（☞44、50、52ページ）
19 カラーボタン（☞49、52ページ）

# メニュー一覧

メニューは↑/↓/←/→で選んで、決定ボタンを押します。

その他

次のページにつづく

初期設定
テレビ選択
(☞21ページ)
BS設定
(☞24ページ)
電話回線
モード切換
(☞30ページ)
暗証番号設定
(☞36ページ)
視聴年齢
制限設定
(☞38ページ)
ICカードの
情報表示
BSアンテナ設定
(☞24ページ)
BSアンテナレベル
(☞25ページ)
BSチャンネル設定
変更 (☞32ページ)
地域設定
(☞27ページ)
降雨対応放送受信
(☞46ページ)
衛星ダウンロード
(☞71ページ)
県域設定
(☞27ページ)
郵便番号入力
(☞27ページ)

# 索引

**ちょっと一言**
青色の文字は、メニュー中の項目です。

## 五十音順


**ア行**
暗証番号 ........ 36
暗証番号設定 ........ 36
アンテナを設定する ........ 24
アンテナを調整する ........ 25
アンテナレベル ........ 25
衛星ダウンロード ........ 69、78
お知らせ ........ 64
オーディオ機器をつなぐ ........ 39

**カ行**
画質 ........ 9
各種切換 ........ 77
加入申し込み ........ 31
画面表示 ........ 44、48、50、52
共同受信システム ........ 7
緊急放送 ........ 48
県域設定 ........ 26
コードレス通信ユニット ........ 20、30
降雨対応放送 ........ 46
降雨対応放送受信 ........ 46
購入合計額 ........ 56
コピーガード ........ 55
コントロールS端子 ........ 11
コンバーター電源 ........ 6、7

**サ行**
サテライト用同軸ケーブル ........ 5
視聴年齢制限設定 ........ 37
視聴申し込み ........ 31
自動設定 ........ 30
字幕放送 ........ 63
ジャンプ ........ 44、50、52
主音声 ........ 59
初期設定 ........ 78
信号切換 ........ 59

**タ行**
第二音声 ........ 59
地域設定 ........ 26
チャンネル切換 ........ 44、50、52
チャンネル設定 ........ 32
チャンネルの10キー選局 ........ 44、50、52
通常発信 ........ 31
通話表示 ........ 18
データ ........ 49、52
デジタルハイビジョン放送 ........ 9
デジタルラジオ ........ 50
テレビ ........ 44
テレビ選択 ........ 21
テレビをつなぐ ........ 9
電話回線接続テスト ........ 31
電話回線を設定する ........ 30
電話回線をつなぐ ........ 18
電話回線モード切換 ........ 30
トーン ........ 30

**ナ行**
二重音声 ........ 59

**ハ行**
番組説明 ........ 46
番組表 ........ 57
番組を選ぶ ........ 57
ビープ音 ........ 26
ビデオをつなぐ ........ 8
ビデオを録画する ........ 8、55
表示窓 ........ 74
表示窓の明るさ ........ 74
標準テレビ放送 ........ 9
副音声 ........ 59
付属品 ........ 4
プレビュー ........ 54
ペイ・パー・デイ ........ 54
ペイ・パー・ビュー購入合計額 ........ 56
ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る ........ 54

**マ行**
マルチチャンネル ........ 47
マルチビュー ........ 62
メニュー一覧 ........ 77
メール ........ 64
モジュラージャック ........ 18
モジュラーテレホンコードカプラー ........ 19

**ヤ行**
横縦比 ........ 21
郵便番号入力 ........ 27

**ラ行**
ラジオ ........ 50
リセットボタン ........ 68
リモコン ........ 4、76
連動データ ........ 49
録画する ........ 8、55
録画できない番組 ........ 55
録画防止機能 ........ 8、55
録画有料番組 ........ 55

**ワ行**
ワイドモード ........ 22


## 数字・アルファベット順


**数字**
0発信 ........ 30
4:3 ........ 22
4:3ワイドモード ........ 22
5.1ch→2ch切換 ........ 39
5.1chサラウンドステレオ ........ 39、61、73
9発信 ........ 30
10pps ........ 30
20pps ........ 30

**アルファベット**
B-CAS ........ 28
B-CASカード ........ 28
BSアナログ ........ 2、73
BSデジタル ........ 41、73
BSアンテナ設定 ........ 24
BSアンテナレベル ........ 25
BSアンテナをつなぐ ........ 5
BS字幕入切 ........ 63
BS設定 ........ 24
BSチャンネル設定変更 ........ 32
BS独立データ ........ 52
D端子 ........ 10、73
EPG ........ 57、73
HD ........ 9
ICカード ........ 28、73
ICカードの情報表示 ........ 78
ISDN回線 ........ 20
MDデッキをつなぐ ........ 40
PPD（ペイ・パー・デイ） ........ 54
PPV（ペイ・パー・ビュー） ........ 54、73
SD ........ 9
Sony無線通信ユニット ........ 20、30